

j. 「ペルーバルサム」 Perubalsam 及  
蘇合香「バルサム」 Styraubalsam

「ペルーバルサム」 Perubalsam ハ桂皮酸「ベンヂールエステル」 Zimtsäurebenzylester 50—60%, 游離ノ桂皮酸約 10% 及ビ樹脂 Harz ヲ含有ス。

此モノハ疥癬蟲 *Acarus scabiei* ニ對シテ強キ作用ヲ及ボシ、其卵ヲ 1/2 時間内ニ死滅セシム。故ニ最モ有效ナ疥癬藥 Krätzmittel デアル。

「ペルーバルサム」ハ、「テール」・「ナフトール」等ト異ナリ、アマリ皮膚ヲ刺戟セズ且毒性モ尠ナイ。サレドスベテノ芳香性物質ノ如ク、其使用ニ際シテハ腎臟ヲ顧慮シナケレバナラナイ。

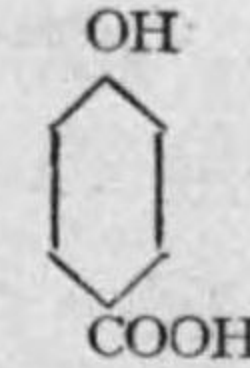
【製劑】「ペルーバルサム」 Balsamum Peruvianum 褐黑色ノ舍利別様ノ香氣ヲ有スル「バルサム」デ、南米ノ太平洋岸ニ産スル Myroxylon Pereirae (蝴蝶花科 Papilionaceae) ヨリ得タル「バルサム」デアル。疥癬 Scabies ニアリテハ、入浴後 2,0—3,0 ヲ一日中ニ 4—6 回塗擦シ 全體トシテ 10,—15,0 ヲ用ヒ、二日ノ後入浴スル。

蘇合香「バルサム」 Styraubalsam ハ、主トシテ桂皮酸ノ各種ノ「エステル」及ビ樹脂ノ混合ヨリ成リ、「ペルーバルサム」ト同様ニ頗ル有效ナ抗寄生蟲劑 Antiparasitikum (疥癬 Scabies, 陰毛虱 *Pediculi pubis*) デアル。

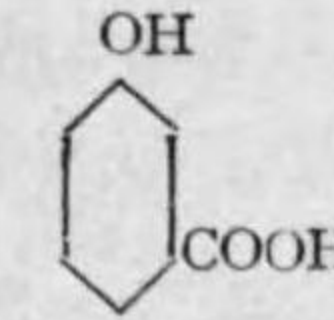
【製劑】流動蘇合香, Styrax, Styrax liquidus, Storax ハ小アジアニ産スル Liquidambar orientalis (金縷梅科 Hamamelidaceae) ノ皮ヨリ得ラル。濃厚ニシテ不透明ナル灰白粘稠ノ物質デ不快ナル酸臭ヲ有ス。外用トシテハ、純粹ノモノ(精製流動蘇合香 Styrax depuratus) ヲ「ペルーバルサム」ト同様ニ疥癬ノ治療ニ用ユ。例ヘバ精製流動蘇合香 30,0 ヲ「オレフ」油 10,0 ト混ジニ部ニ分チテ塗擦スル。

k. 「ザリチル」酸 Salicylsäure

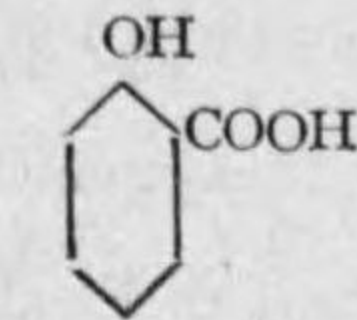
「オキシ」安息香酸 Oxybenzoësäure ニハ三種アル：



「パラオキシ」安息香酸  
Paraoxybenzoësäure



「メタオキシ」安息香酸  
Metaoxybenzoësäure



「オルトオキシ」安息香酸  
Orthoxybenzoësäure  
(「ザリチル」酸)  
(Salicylsäure)

此中「パラ」及ビ「メタ」化合物ハアマリ作用ヲ有シナイ。只「オルトオキシ」安息香酸ハ頗ル有效デ、之ヲ「ザリチル」酸ト稱ス。

【作用】游離ノ「ザリチル」酸ハ消毒性 antiseptisch ノ作用ヲ有ス(特種消毒劑ノ部第 330 頁参照)。

【應用】外用トシテ關節「ロイマチス」其他ノ「ロイマチス」性疼痛ニ對シ 10% 軟膏トシテ局所的ニ用ヒラル。

【用量】「ザリチル」酸 Acidum salicylicum, Salicylsäure,  $C_6H_4 \cdot OH \cdot COOH$ . 甘酸性ノ味ヲ有スル白色ノ針狀體デ、水ニハ殆ソド不溶性ナルモ、「アルコール」及ビ「エーテル」ニハ容易ニ溶解スル。

2. 酸化劑 Oxydationsmittel

空中ノ酸素ハ  $O_2$  ナル式ヲ有スル分子 Molekül ヨリ成リ、此状態ニ於テハ特ニ強キ酸化作用ヲ呈シナイ。サレド他ノ多數化合物ハ容易ニ働性形 aktive Form (原子 Atom) ノ酸素ヲ生ズル。此働性ノ酸素 aktiver Sauerstoff ハ直チニ  $O_2$  ニ移行スルカラ之ヲ集取シ得ナイ。此モノハ發生ノ瞬間ニ於テ所謂發生機酸素トシテ in statu nascendi ノミ存シ、此状態ニ於テハ酸化作用ヲ有ス。次ニ述ブルハ斯クノ如キ化合物、即チ所謂酸化劑 Oxydationsmittel デアル。

a. 過「マンガン」酸加里 Kaliumpermanganat,  
übermangansaures Kalium

過「マンガン」酸加里,  $KMnO_4$  ハ、分子全體トシテハ消毒作用ヲ有シ

ナイ。サレド他ノ有機物ニ遇ヘバ容易ニ酸素ヲ分離スル。此際酸化「マンガン」Manganoxydニ還元セラレ、褐色ノ沈澱トシテ析出スル(皮膚ニ褐色斑 braune Fleckeヲ生ズ)。過「マンガン」酸加里ハ蛋白ニヨリテ直チニ還元セラレルカラ、深部ニ遁入セズ只表面ニ作用スルノミデアル。而シテ不安定ナ有機物、例ヘバ惡臭アル腐敗産物が最初ニ酸化セラレル。故ニ過「マンガン」酸加里ハ往々消毒性 antiseptischヨリモ寧ロ防臭性 desodorierendノ作用ヲ呈スル。

濃厚ナル溶液ハ、上皮ヲ有シナイ部位ニ於テハ腐蝕作用ヲ呈シ(粘膜上ニ於テハ既ニ1%溶液ニテ)、著シキ疼痛ノ下ニ表面的ナ黑色ノ腐蝕痂 Ättschorfヲ形成スル。サレド健康ナ皮膚ハ侵サレナイ。

過「マンガン」酸加里ハ消化管ヨリハ吸収セラレナイ。サレド腐蝕作用 Ätzungヲ呈スルカラ、有毒ナヤウニ見エル。

【應用】過「マンガン」酸加里ハ、不潔ナ惡臭アル創傷 unreine übelriechende Wundeノ防臭及ビ消毒性洗滌 desodorierende und desinfizierende Waschungen、臭鼻症 Ozaenaノ際ノ嗅入粉 Schnupfpulverニ用ヒラレ、又臍汗 Fusschweissニモ用ヒラレ、此他白帶下 Fluor albusノ際ニ洗滌用トシテ用ヒラル。瘰癧 Gonorrhoeノ際ニ稀薄溶液ノ注入ヲ行ヘバ屢々良效ガアル。

又過「マンガン」酸加里ハ解毒藥 Antidotトシテ、磷中毒(酸化)、青酸 Blausäure又ハ「チアン」加里中毒(「チアン」酸加里ノ生成)、並ビニ阿片及ビ「モルヒネ」ニヨル中毒ノ際(酸化)ニ用ヒラル。サレド其有效ナルハ、毒物が尙胃中ニ存スル場合ノミデ、既ニ吸収セラレタル後ニハ作用ヲ呈シナイ。

毒蛇ノ咬傷 Schlangenbissノ際ニハ、速カニ咬傷部ノ周リニ注射スレバ有效デアル。勿論此際ニモ直接酸化劑ニ接觸スル毒物ノミガ影響ヲ受

ケルノデアツテ、既ニ吸収セラレタルモノハ變化ヲ受ケナイ。

【用量】過「マンガン」酸加里 Kalium permanganicum, übermangansaures Kalium, Kaliumpermanganat,  $KMnO_4$ . 暗堇色ノ稜形體デ、16倍ノ水ニ溶解スル。外用トシテ洗滌用 Waschungen又ハ消毒 Desinfektionニハ $1/10$ —1%溶液ヲ用フ。過「マンガン」酸加里ノ爲ニ生ジタル褐色斑ハ稀薄ナル酸、例ヘバ醋 Essigニテ除去シ得。粘膜ニ對シテハ非常ニ稀薄ナル溶液ヲ用ヒル。即チ中毒ノ際ノ胃洗滌ニハ1:1000—1:500、尿道 Urethraニハ1:4000—1:1000、含嗽藥 Mundwasserトシテハ、1%溶液小匙ニ一杯ヲ「コップ」一杯ノ水ニ稀釋シテ用ユ。

處方例	過「マンガン」酸「カリウム」	0,1—0,2
	水	1000,0
	以上洗滌料 (膿漏性結膜炎)	

### b. 過酸化水素 Wasserstoffsperoxyd

過酸化水素  $H_2O_2$ ハ特ニ雷雨 Gewitter後ニ大氣中ニ存ス。又殆ンド常ニ雨及ビ雪中ニ存ス。但シ其量ハ1 kiloノ空氣中ニ僅カニ0,04—1 mgデアル。此他多クノ酸化作用ニ際シテ水ヲ加フル時ニ生ズ。

極メテ容易ニ水ト酸素トニ分解スル。分解作用 Spaltungハ、酵素ノ如キ作用ヲ有スル多數ノ無機體、例ヘバ微細ニ分布セル白金 Platin、金 Gold、銀等ニヨリテ起ル(接觸作用 Katalyse, Kontaktwirkung)。且酵素ヲ含有スル各種ノ有機物(膿・血液・滴蟲類 Infusorien・細菌・酵母 Hefe等)ニヨリテモ分解セラレ、其瞬間ニ過酸化水素ノ水溶液ヲシテ泡沫ヲ發セシム(酸素發生ノ爲)。斯クノ如ク過酸化水素ハ發生機酸素 naszierender Sauerstoffヲ生ズルカラ、其爲メニ殆ンド昇汞 Sublimatト同様ニ消毒作用ヲ呈スル。サレド、其作用ハ動性ノ酸素ヲ生ズル瞬間ノミデアツテ、且其際瓦斯ヲ發生スル。

過酸化水素ヲ實驗動物ノ血液中ニ注射スル時ハ、酸素ヲ發生スル爲ニ瓦斯 栓塞 Gasembolieヲ起シテ忽チ死スル。

膿胸 Empyem 其他閉鎖セラレタル體腔ヲ過酸化水素ニテ洗滌スル際ニ急ニ死シタル例ガアル(腦動脈ノ瓦斯栓塞)。或ル場合ニハ同様ノ原因ニヨリテ半身麻痺 Hemiplegie ヲ起ス。又過酸化水素ハ組織中、例ヘバ皮下ニ注射シテハナラス。コレ盛ニ瓦斯ヲ發生シテ壞疽 Gangrän ヲ起ス故デアル。

【應用】 含嗽水 Mund- und Gurgelwasser トシテ、壞疽性或ハ惡臭性創傷 gangränöse oder stinkende Wunde ノ消毒劑トシテ、又ハ惡臭ヲ發スル流出物 Ausfluss ガアル場合ノ防臭劑 Desodorans, 例ヘバ子宮癌ノ際ノ「タムボン」(綿球) Tampon ニ用ヒラル。又工業上ニ於テハ漂白劑 Bleichmittel トシテ用ヒラル。

此他過酸化水素ハ、尿素 Harnstoff ト固キ結晶性ノ化合物 (35%  $H_2O_2$  ヲ含有ス) ヲ形成シ、此モノハ撒布葉或ハ小桿形 Stäbchenform トナシテ瘻管 Fistel 又ハ創傷 Wunde ノ治療ニ用ヒラル。

【用量】 過酸化水素水 Hydrogenium peroxydatum solutum (「オキシフル」) 過酸化水素ノ3%水溶液デアル。其1容ハ10容ノ酸素ヲ發生スル。内用ニハ胃酸過多症 Hyperacidität 又ハ胃酸酵 Magengärung ノ際ニ一日三回小匙ニ一杯ヲ水ニテ稀釋シテ用ヒル。

外用トシテハ、消毒藥 Antiseptikum トシテ其ママ又ハ水ト混ジテ用ユ。含嗽料トシテハ、口内炎 Stomatitis, 「アンギーナ」 Angina 等ノ際ニ、小匙ニ1—2杯ヲ一杯(約十倍)ノ水ニ入レテ用ヒル。眼科ニ於テハ、通常0.3—0.5%ノ水溶液トシテ用ヒラル(眼瞼炎・外傷性角膜疾患・匍行性角膜潰瘍・涙囊炎ノ洗滌料、又ハ涙囊周圍炎切開後ノ洗滌料トス)。

〔附〕 「クロール」酸「カリウム」 Kalium chloricum

「クロール」酸「カリウム」 chlorsaures Kalium,  $KClO_3$  ハ之ヲ熱スレバ酸素ヲ分離シ、燃燒シ易キ物質、例ヘバ炭素・硫黃・澱粉・糖ノ如キ燃燒シ易キ物質ヲ酸化スル。

治療上ニ應用セラルルハ、體內ニ於テ強力ナル酸化劑 Oxydationsmittel トナリ其爲ニ消毒性ニ作用スルナラントノ考ニ基ヅクノデアアルガ、此考ハ正當デナイ。溶液中、又ハ通常ノ溫度ニテハ殆ンド有機物ヲ酸化セズ、變化ヲ示ス事ナシニ身體ヲ通過シ (90—95%ハ再ビ尿中ニ排出セラル)、又強濃度(1:30)ニテモ細菌ノ發育ヲ妨ゲナイ。

【作用】 「クロール」酸加里ハ弱苦味性デ恰モ硝石 Salpeter ノ如キ冷カナル味ヲ有ス。大量ハ下痢ヲ起シ、腎臟ヨリ排出セラルル際ニ利尿ヲ亢進スル。即チ一般の鹽作用 allgemeine Salzwirkungen ヲ呈ス。

大量ガ吸収セラルル時ハ中毒ヲ起シテ死スル。其原因ハ主トシテ赤血球ニ作用スルニヨル。即チ「ヘモグロビン」ハ「メトヘモグロビン」及ビ「ヘマチン」ニ變化シ、血清中ニ移行シテ、腎臟ヨリ排出セラル。

故ニ「チアノーゼ」ヲ呈シ、内部窒息 innere Erstickung ニテ死スル。コレ「メトヘモグロビン」ハ毫モ組織ニ酸素ヲ供給シ得ナイ故デアル。

急性ニ二三時間ニシテ死スル場合ニハ、胃症狀ガアリ且心臟ニ對スル「カリウム」ノ作用ガ之ニ加ハル。亞急性ノ中毒ニアリテハ「メトヘモグロビン」形成ハ著シクナイガ、二三日ノ經過中ニ各種ノ器官ニ血栓 Thromben 及ビ栓塞 Embolie ヲ生ズル。而シテ遂ニ尿毒症狀 urämische Erscheinungen ノ下ニ死スル。

中毒ハ往々含嗽水ヲ嚥下シタル際、又ハ他ノ鹽ト誤マリテ嚥下シタル際ニ見ラレル。

大人ニアリテハ10gニテ中毒症狀ヲ發シ、15—20gニテ死ス。

【應用】 屢々「アンギーナ」ノ際ニ含嗽水 Gurgelwasser トシテ用ヒラレ、往々著效ヲ呈ス。其如何ナル影響ニヨルカハ不確實デアル。又口内炎 Stomatitis, 特ニ汞毒性口腔傷害 merkurielle Mundaffektion ノ際ニ口腔洗滌水 Mundwasser トシテ賞用セラル。然シ果シテ他ニ優レル効力ガ

アルカ否ヤハ不確實デアル。

【用量】「クロール酸カリウム」(鹽剝) Kalium chloricum, Kaliumchlorat,  $KClO_3$ , 白色ノ光輝アル小板狀結晶デ, 16 倍ノ冷水ニ溶解スル。外用ニハ「アンギーナ」ノ際ニ含嗽料トシテ 3% 液ヲ用フ。

【中毒ノ療法】豫防トシテハ, 含嗽トシテ小兒ニ與ヘナイ事が必要デアル。コレ藥劑ヲ嚥下スル恐レガアルカラデアル。

初メハ胃ノ洗滌ヲ行ヒ腸内容ヲ排出セシメル。後ニハ大量ノ液體及ビ利尿劑ヲ與ヘテ細尿管ノ閉塞ヲ妨ゲル。又瀉血ヲ行ヒ, リンガー氏液ノ注入ヲ行フ。

### 3. 「ハロゲン」 Halogene

游離ノ「ハロゲン」ハ強力ナル消毒劑 Antiseptika デ, スベテノ生活組織ニ作用シテ之ヲ死滅セシメル作用ガアル。

#### a. 「クロール」石灰 Chlorkalk 等

「クロール」石灰ハ, 空中ノ炭酸ノ作用ニヨリ, 或ハ鹽酸ヲ加フル時ハ游離ノ鹽素ヲ生ジ, 消毒藥 Desinfektionsmittel トシテ用ヒラル,

サレド「クロール」ハ布類ヲ破壊シ, 色ヲ褪色 ausbleichen セシメルカラ, 實際上ニ於テハ其應用ハ制限ヲ受ケル。故ニ「クロール」石灰ハ, 例ヘバ不用材料, 排泄物等ノ消毒ニ使用セラル。而シテ常ニ之ヲ過剰ニ用ヒナケレバナラナイ。コレ「クロール」ハ其所ニ存在スルスベテノ有機物ニ結合スル故デアル。

【製劑及用量】「クロール」石灰 (漂白粉又ハ晒粉) Calcaria chlorata, Calcium hypochlorosum, Chlorkalk. (鹽化「カルシウム」 $CaCl_2$  ト混同シテハナラナイ)。白色ノ「クロール」臭ヲ有スル粉末デ, 一部分水ニ溶解スル。此モノハ燬製石灰 Ätzkalk ニ「クロール」ヲ作用セシムル事ニヨリテ製セラレ, 次亞「クロール酸」カルシウム unterchlorsaures Calcium  $Ca(ClO)_2$ , 鹽化「カルシウム」Chlorcalcium  $CaCl_2$  及ビ不變ノ石灰 Kalk  $Ca(OH)_2$  ノ混合ヨリ成ル。

飲料水(井水)ノ消毒ニハ水 1 立方「メートル」即チ 5 石 5 斗ニ付漂白粉約一匁=3.8g ノ割合ニ混ズ。(15g=約 4 匁)。

「クロール」石灰水 (20 倍) 「クロール」石灰 5 分, 水 95 分ヨリ成ル。用ニ臨ミテ新ラシキ「クロール」石灰ニ徐々ニ水ヲ注ギ振リテ混和シテ製ス。之ヲ貯ヘルニハ密閉スルヲ要ス。其應用及ビ用量ハ石灰乳ト同ジ。即チ吐瀉物其他ノ排泄物等ノ消毒ニハ容量  $\frac{1}{4}$  以上ヲ加ヘテ攪拌ス。

次亞「クロール」酸「ナトリウム」液 Solutio Natrii hypochlorosi, Natrium hypochlorosum solutum, Labarraques Bleichwasser. 「クロール」臭ヲ有スル透明ナル液デ, 食鹽 Chlornatrium 及ビ Natriumhypochlorit ( $NaClO$ ) ヲ含有スル。外用トシテハ, 含嗽水トシテ並ビニ白帶下 Fluor albus ノ際ニハ 5% ノ液ヲ用ヒ, 惡臭アル創傷ノ繃帶ニハ 10% ノ溶液ヲ用フ。

現時創傷ノ治療 Wundbehandlung ニ廣ク用ヒラルルダーカン氏液 Dakin-sche Natriumhypochloritlösung ハ, 「クロール」石灰 Calcaria chlorata 200,0, 蒸餾水 10 「リートル」, 結晶炭酸「ナトリウム」 $Na_2CO_3$ , 硼酸 Acid. boric. 適宜 q. s. (中性反應トナル迄 ad react. neutral) デアル。2 週間以上保存シ得ナイ。

「クロールアミン」 Chloraminum, Paratoluolsulfosäurechloraminnatrium,  $CH_3C_6H_4SO_2NaCl$ . 白色無臭ノ粉末デ, 水ニハ容易ニ溶解シテ弱「アルカリ」性反應ヲ呈ス。働性ノ「クロール」aktives Chlor 約 12,5% ヲ含有ス。外用ニハ 1—4% 溶液ヲ用フ。創面ニ用フル濃度ハ 1—2% (戦時ニ廣ク用ヒラレタ), 含嗽水トシテハ  $\frac{1}{2}$ %, 膀胱ニハ  $\frac{1}{4}$ % 迄ノ溶液ヲ用ユ。

【「クロール」中毒ノ療法】水蒸氣及ビ稀薄ナル「アムモニア」ヲ吸入セシメテ氣道中ノ刺戟症狀ヲ緩和スル。氣管中ニ於ケル強度ノ分泌ニ對シテハ「アトロピン」ノ注射ヲ行フ。内服ニヨル中毒ノ際ニハ稀薄ナル「アルカリ」或ハ「マグネシア」ヲ與ヘル。

#### b. 沃度 Jod

【作用】沃度ハ微生物 Mikroorganismen ニ對シテハ強力ナル消毒藥 Antiseptikum デアル。サレド如何ナル稀釋度ニ於テ其發育ヲ妨止シ又ハ死滅セシムルカニ就テハ報告ガ一致シナイ。

**皮膚**ニ強キ沃度溶液例ヘバ局法沃度丁度ヲ塗布スル時ハ、深褐色ニ着色シ、軽度ノ灼熱 Brennen 及ビ刺衝感 Stechen ノ下ニ速カニ丹毒様ノ潮紅ヲ來シ、反覆之ヲ塗布スル時ハ上皮ハ大ナル片トシテ剥離スル。強ク沃度ヲ塗布スル時ハ數時間ニシテ漿液性滲出 seröse Ausschwitzung 及ビ多數白血球ノ游出ヲ見ル。之ハ單ニ皮膚中ノミナラズ、皮下及ビ筋肉内組織并ビニ隣接セル骨膜 Periost 中ニモ起ル。即チ著シク深部ニ迄起ルモノデアアル。二三日後ニナレバ退行變性 regressive Metamorphose ガ初マル。即チ白血球及ビ其所ニ存スル組織ハ變性 Degeneration ニ陥リ、融解 einschmelzen シテ運搬シ去ラル。斯クシテ變化ノ領域内ニアル病的產物ハ吸收セラレル。

**粘膜** Schleimhaut ニ對スル作用ハ一層著ルシイ。沃度ハ最モ不快ナル腐蝕性味 ätzender Geschmack ヲ有シ、齒ヲ侵シ、少量ナレバ疼痛ヲ覺ヘ、大量ナレバ胃腸炎 Gastroenteritis ヲ起ス。

沃度溶液ヲ漿液腔 seröse Höhle 或ハ囊胞 Cysten 中ニ注入スル時ハ、最初内容物ノ増加ヲ來シ、次デ癒着性炎症 adhäsive Entzündung ヲ起シ、液ノ吸收後ニハ往々壁ノ癒着及ビ内腔 Hohlraum ノ閉塞 Obliteration ヲ來ス。

【吸收及排出】沃度ハ皮膚并ビニスベテノ粘膜及ビ創面 Wundfläche 〔ヨリ頗ル容易ニ吸收セラレ、恐ラク蛋白化合物 Eiweissverbindung ノ形チニ於テ血液中ニ移行シ、主トシテ沃度「ナトリウム」トシテ尿中（沃度塗布後一時間ニシテ證明セラル）、胃中、氣管枝中（呼吸ハ沃度ノ臭氣ヲ放ツ）及ビスベテノ他ノ分泌物中ニ排出セラル。吸收セラレタル沃度ノ一部ハ、沃度「チリン」Jodthyrin トシテ甲状腺 Glandula thyreoidea 中ニ蓄積セラル。

【應用】外科ニ於テハ、現今沃度ハ皮膚及ビ小ナル創傷 Wunde ノ

**消毒** Desinfektion ニ盛ニ用ヒラル。一回ノ塗布ニテ表面ノミナラズ上皮ノ深層ヲモ消毒シ得。而シテ其前ニ石鹼ニテ洗滌スル事ハ不用デアアルノミナラズ、石鹼ヲ再ビ除去シナイト却ツテ有害デアアル（コレ作用ナキ沃度加里ヲ生成スル故デアアル）。

**吸收ヲ促進**セシムル爲ニ、沃度丁幾 Jodtinktur ハ屢々皮膚ニ塗布 pinseln セラル。即チ滲出液 Exsudate、炎症 Entzündungen 及ビ各種ノ炎症ノ残りガ存スル際、例ヘバ腺腫脹 Drüsenschwellungen、皮下組織ノ炎症、淋巴管炎 Lymphangitis、靜脈炎 Phlebitis、骨膜炎 Periostitis、腱鞘炎 Tendovaginitis、關節膜炎 Synovitis、漿液腔 seröse Höhle 中ニ於ケル液體集合等ノ場合ニ用ヒラル。炎症又ハ滲出液ガ表面的ニ存スル場合ニハ、沃度ノ塗布ハ往々頗ル有效デアアル。サレド之ガ爲ニ決シテ外科的手術ノ時期ヲ逸シテハナラナイ。

此他沃度丁幾、ルゴール氏液或ハ沃度「グリセリン」ハ、各種ノ粘膜傷害、例ヘバ臭鼻症 Ozaena、慢性咽頭炎及ビ喉頭炎 chronische Pharyngitis und Laryngitis、水銀中毒及ビ壞血病 Skorbut ノ際ノ齒齦炎 Zahnfleischentzündungen、齒槽骨膜炎 Alveolarperiostitis、腔 Vagina 及ビ子宮 Uterus 中ノ慢性「カタル」ノ際ニモ屢々塗布料トシテ局所的ニ用ヒラル。

此他沃度丁幾又ハ沃度沃度加里溶液ハ、漿液腔 seröse Hohlräume 中ニ於ケル液體集合、例ヘバ陰囊水腫 Hydrocele 或ハ囊胞 Cyste ノ際ニ其吸收及ビ癒着ヲ起サシムル目的デ其中ニ注入スル事ガアル。サレド此際ニハ稍々疼痛ヲ伴ヒ、且初メハ却ツテ液體ノ集合ヲ來ス。

【中毒】沃度丁幾ヲ嚥下シタル爲ノ急性中毒ニアリテハ、主トシテ粘膜腐蝕 Schleimhautätzung ノ症狀ガ現ハレル。10—20 g ヲ用ヒタル後ニハ治癒スルモ、30 g ニテハ 1½ 日ノ後ニ死シタ例ガアル。

死シタル中毒例ハ、多クハ大量ヲ漿液腔 seröse Höhle 又ハ囊胞 Cyste、

殊ニ卵巢囊腫 Ovarialcyste 中ニ注入シタ後ニ見ラレタ。

【製劑】 沃度 Jodum, Jod, J. 灰黑色ノ金屬様光澤ヲ有スル小板状結晶デ、水ニハ殆ンド不溶性デア。之ヲ熱スレバ黄色ノ蒸氣ヲ發ス。通常ノ温度ニテハ揮發性 flüchtig デ「クロール」様ノ臭氣ヲ有ス。

沃度「グリセリン」 Jodglyzerin: 沃度 Jodi 0,2, 沃度加里 Kal. jodat. 2,0, 「グリセリン」 Glycerini 20,0 或ハ之ヨリモ強キ溶液ヨリ成ル。咽頭 Rachen 等ニ塗布 pinseln セラル。

沃度丁機 Tinctura Jodi, Jodtinktur. 沃度ノ 10% 「アルコール」 溶液デア。塗布料 zur Pinselung。

ルゴール氏液 Solutio Lugoli: 沃度 Jod 1, 沃度加里 Jodkalium 2, 水 Wasser 97 ヨリ成ル。

【沃度中毒ノ療法】 沃度丁機ノ中毒ニアリテハ、蛋白ヲ與ヘテ沃度ヲ結合セシムルカ、或ハ同ジ目的ニ多量ノ稀薄ナル「アルカリ」ヲ與ヘル。澱粉モ推奨セラレルモ、アマリ效力ハナイ。コレ其結合ガ粗 locker ナ爲デア。

注射後ノ中毒ニ對シテハ、大量ノ重曹ヲ試ミ、又疼痛ガ激甚ナル時ハ「モルヒネ」ヲ與ヘル。

#### 4. 沃度「フォルム」 Jodoform

【作用】 以前ハ廣ク用ヒラレタルモ、現今ハアマリ應用セラレナイ。純粹ナ乾燥沃度「フォルム」ハ長イ間不變ニ止マリ、毫モ消毒作用ヲ有シナイガ、溶液中ニ於テハ之ニ反シテ頗ル不安定 unbeständig デアル。即チ沃度「フォルム」ヲ創面ニ用ユル時ハ漸次ニ分泌物ノ脂肪ニ溶解シテ、絶エズ沃度ヲ游離シ、從ツテ微生體ノ發育ヲ妨ゲルモ、一面ニ於テハ同時ニ創傷ヲ著シク刺戟スル。又沃度「フォルム」及ビ其他ノ類似化合物ハ同時ニ分泌ヲ制限スル作用ガアル。故ニ其繃帯ハ長イ間之ヲ交換シナイデ其儘ニシテヨイ。此他沃度「フォルム」ハ弱キ鎮痛作用ヲ有シ、且小ナル血管ヨリノ出血ニ對シテ止血作用ヲ呈ス。

【應用】 以前ハ手術ノ際ノ乾性消毒藥トシテ、並ビニ創傷及ビ各種ノ

潰瘍ニ廣ク用ヒラレタルモ、現今ハ用ヒラレナクナツタ。コレ主トシテ頑固ナル不快ノ臭氣ヲ有スルガ爲デア。

現今尙屢々用ヒラル、ハ結核性喉頭炎 tuberkulöse Laryngitis, 膿胸 Empyem, 沈降膿瘍 Senkungsabszess, 結核性關節傷害等ノ際デア。後ノ二ツノ場合ニハ注射用トシテ用ヒラル。

【中毒】 以前ハ多量ニ用ヒラレタカラ屢々中毒ヲ起シタ。其最モ重要ナル症状ハ、恐怖及ビ不眠、重篤ナル場合ニハ幻覺 Halluzination, 譫妄 Delirien 及ビ痙攣 Krämpfe ヲ起シ、時トシテハ嗜眠 Sopor 及ビ昏睡 Koma ニ移行スル。又二三日ノ後ニ心臟衰弱及ビ肺水腫 Lungenödem ガ起リ、其爲ニ死スル事ガアル。此等ノ症状ノ外、沃度症状 Jodsymptome トシテ鼻「カタル」 Schnupfen 及ビ瘰癧 Akne 等ガ現ハレル事ガアル。

【製劑】 沃度「フォルム」 Jodoformium,  $\text{CHJ}_3$  光輝アル黄色ノ小結晶或ハ粉末デ、惡臭ヲ放ツ。水ニハ殆ンド不溶性、「アルコール」及ビ脂肪油ニハ難溶性デア。ガ、「エーテル」ニハ容易ニ溶解スル。小ナル創傷ヲ閉塞スル爲ニハ、沃度「フォルム・コロヂウム」 Jodoformkollodium (1:15) トシテ用ヒル。膿瘍又ハ關節中ヘノ注入ニハ「グリセリン」或ハ油中ニ於ケル 10% 乳劑 Suspension トシテ用ヒル。又瘻管 Fistel 又ハ創傷腔 Wundhöhle ヘノ「タムボン」 Tamponade 又ハ排膿管 Drainage, 沃度「フォルム・ガーゼ」 Jodoformgaze 或ハ綿 Watte トシテ用ヒラル。

沃度「フォルム」ノ代用藥トシテ使用セラル、モノハ多數アル。就中最モヨキハ、「キセロフォルム」 Xeroform, Tribromphenolwismut, 「アイロール」 Airol 等デア (後節砒部ノ部 424 頁參照)。

又沃度「フォルム」ヲ改良シタルモノニ、「イソフォルム」 Isoform, Parajod-anisol  $\text{C}_6\text{H}_4\text{OCH}_2\text{JO}_2$ , 「ノヴォヂン」 Novojodin (Hexamethylendijodid ト Talk トヨリナル), 「ヤトレン」 Yatren (Jodoxychinolinsulfosäure = 炭酸曹達ヲ加ヘテ水溶性トナシタルモノ) 等ガアル。

【沃度「フォルム」中毒ノ療法】 輕度ノ症状ハ、沃度「フォルム」ヲ除去スレバ消失スル。既ニ重篤ナル場合ニハ豫後ハ不良デア。游離ノ沃度ノ生成ヲ制限スル爲ニ、一時間毎ニ 0,5—1,0 ノ重曹ヲ與ヘル。

## 5. 煨製石灰(生石灰) Ätzkalk (酸化「カルシウム」 Calciumoxyd)

著シキ消毒作用 antiseptische Wirkungen ナ有ス。即チ 1:4000 ノ溶液ハ「コレラ」菌 Cholerabazillen ナ、又之ヨリモ稀薄ナル溶液ハ「チフス」菌 Typhusbazillen ナ二三時間ノ内ニ死滅セシメル。

煨製石灰ハ、局部的ニ、濕潤セル組織ニ對シテハ腐蝕性 ätzend ニ作用スル。コレ著シク熱ヲ發生シツ、盛ニ水ト結合スル故デアル。其作用ハ、腐蝕性「アルカリ」ト異ナリテ、表面的デアル。コレ煨製石灰ハ溶解セル状態トシテハ組織中ニ透入シ得ナイデ、粉末狀ノ抱水化物 Hydrat トシテ、或ハ組織ノ酸又ハ脂肪ト結合シテ他ノ難溶性化合物トナリテ到ル處ニ固着セラレルカラデアル。

【應用】煨製石灰ハ安價ニシテ有效ナ藥劑トシテ大量消毒 Massendesinfektion ノ目的、例ヘバ「コレラ」流行ノ際ニ糞便 Dejektionen ノ消毒ニ用ヒラル。

石灰水 Kalkwasser ハ之ヲ創面上ニ用ユル時ハ、分泌物ノ炭酸鹽ニヨリテ微細ナル炭酸「カルシウム」Calciumkarbonat ナ沈澱シ、小ナル脂肪滴ハスベテ不溶性ノ石灰石鹼 Kalkseife ニ變化スル。斯クシテ微細ナル沈澱ヲ生ジ、保護作用アル被覆ヲ生成シ、收斂作用ヲ呈ス。故ニ石灰水ハ創傷 Wunde 及ビ濕潤セル皮膚傷害 nässende Hautaffektion ノ療法 Umschläge ニ適セル藥劑デアル。又亞麻油ト混ジ火傷ノ際ニ屢々用ヒラル。

石灰水ヲ内服セシムル時ハ、酸ヲ中和シ、又牛乳ヲ著シク微細ナル小片ニ凝固セシメ、炭酸鹽及ビ磷酸鹽並ビニ石鹼 Seife トシテ腸ノ上皮ノ上ニ沈澱スル。斯ル化學反應ニ基ヅキテ、石灰水ハ腸ノ分泌ヲ制限シ、下痢ヲ止メル作用ガアル。

【製劑】煨製石灰又ハ生石灰 Calcaria usta, Ätzkalk, gebrannter Kalk (酸化「カルシウム」 Calcium oxydatum), CaO. 灰白色ノ不規則ナル塊デ、之ニ水ヲ加フレバ著シク熱ヲ發生シツ、白色粉末狀ノ抱水化物  $\text{Ca}(\text{OH})_2$ 、即チ消石灰 gelöschter Kalk (普通ノ石灰)トナル。

生石灰末トハ、生石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘ粉末ト爲シタルモノヲ云フ。之ハ用ニ臨ミテ製シ、吐瀉物其他ノ排泄物・溝渠等ノ消毒ニ用ヒラル。吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ少ナクトモ其容量ノ 50 分ノ 1 ヲ投ジ、ヨク攪拌スルガヨイ。

石灰乳 Kalkmilch トハ煨製石灰 1 部ニ水 9 部ヲ加ヘヨク攪拌シテ得タル白色濃厚ノ混合物デアル。吐瀉物其他ノ排泄物ヲ消毒スルニハ、其容量ノ 4 分ノ 1 以上ヲ混ズル。但シ石灰乳ハ用ニ臨ミテ之ヲ製シ、使用ノ際ハ毎回攪拌スル事が必要デアル。生石灰ヲ得ル事能ハザル場合ニハ普通ノ石灰ヲ代用シ、其倍量ヲ用ユ。

石灰水 Aqua Calcis, Aqua Calcariae, Kalkwasser. 抱水石灰 Kalkhydrat ハ僅カニ溶解性ナルガ故ニ、1「リートル」中僅カニ約 1,3g ノ  $\text{CaO}$  ヲ含有セル飽和溶液デアル。故ニ牛乳 Kuhmilch ヨリモ「カルシウム」ノ含量ガ少ナイ(牛乳 1「リートル」中ニハ 1,7g ヲ含有ス)。

外用ニハ同量ノ亞麻仁油 Leinöl, Oleum Lini ト混ジテ火傷 Verbrennung ノ際ニ療法トシテ用ヒラル。又内用ニハ、稀ニ小兒ノ消化障碍又ハ下痢ニ際シ其マ、又ハ牛乳中ニ入レテ小匙ニ一杯宛ヲ用ヒル。

## 6. 重金屬化合物

### a. 水銀化合物 Quecksilberverbindungen (昇汞 Sublimat 等)

水銀ハ強キ原形質ニ對スル毒物 Protoplasmagift デ、其  $\text{Hg}^{+}$ 「イオン」ハ微生物 Mikroorganismen ニ對シテ大ナル毒性ヲ呈ス。從ツテ例ヘバ昇汞 Sublimat ノ如ク、溶解性デ且解離 dissoziieren シ易キ化合物ハ消毒力ガ強イ。

大多數ノ微生物ノ發育ハ 1:30000 — 1:20000 ノ昇汞溶液ニヨリ妨止

セラレ、而シテ 1:2000 或ハ 1:1000 ノ溶液ニテハ完全ニ死滅スル。サレド結核菌 Tuberkelbazillen ハ  $\frac{1}{10}$  % 溶液ヲ 24 時間作用セシメテモ尙生キテ居ル。之ニ反シテ最も容易ニ死滅スル微生物ニ屬スルハ、「コレラ」菌 Choierabazillus デアツテ、其發育ハ 1:1000 000 ノ溶液中ニテ著明ニ制限セラレ、1:300000 ノ濃度ニテ發育ガ妨止セラル。然シナガラ其作用ハ、水銀ト化合スルスベテノ物質ニヨリテ妨ゲラル。從ツテ創傷 Wunde ニ於テハ蛋白ニ結合セラレルカラ、其作用ハ僅少デアル。

高等動物ノ細胞ニ對シテモ、昇汞ハスベテノ水銀化合物中最モ有毒デアル。外科ニテ用ヒラル、弱溶液モ、往々皮膚ヲ刺戟スル(昇汞濕疹 Sublimatekzem)。而シテ強濃度例ヘバ 1—5 % ノ軟膏 Salbe、擦劑 Lini-ment 或ハ罌法 Umschlag ニテハ皮膚上ニ二三時間内ニ表面的ノ炎症 Entzündung 及ビ水泡形成 Bläschenbildung ヲ見ル。又上皮ノ剝離セル部位ニハ壊死性底面 nekrotischer Grund ヲ有スル深キ創傷ヲ形成スル。

粘膜モ亦解離性水銀鹽ニ對シテハ非常ニ過敏デアル。内服スレバ、昇汞ハ最も強キ腐蝕毒 Ätzgift デアル。特ニ胃ガ空虛ナル場合ニハ其作用ガ強イ。而シテ其際ノ臨牀的症狀(疼痛、血液性嘔吐、虚脱 Kollaps)ハ、恰モ濃鹽酸ニヨル中毒ニ全然等シイ。而シテ急速ナル經過ヲ示ス場合ニハ主トシテ腐蝕 Ätzung ノ結果トシテ死スル。若シ 24 時間以内ニ死ニ至ラナイ場合ニハ、吸收セラレテ全身中毒 Allgemeinvergiftung ヲ來ス(333 頁参照)。昇汞中毒ノ際ニハ往々尿中ニ糖ヲ見、肝臓ノ「グリコゲン」ハ消失スル。

昇汞ノ最少致死量ハ 0,18g デアル。

【應用】 昇汞ハ創傷ノ消毒藥 Antiseptikum トシテハ以前程用ヒラレナイ。創面 Wundfläche ニアリテハ、金屬ガ一部分蛋白化合物 Albuminat トシテ沈澱スル爲ニ其作用ハ弱メラル。又蛋白ニ對シテ親和力 Affinität ヲ有スル爲ニ、同時ニ創傷ノ底面 Wundboden ニ對シテ治癒ヲ妨ゲル作用

ヲナス。加之其毒性が大デアルカラ、從ツテ其應用ガ制限セラレルノデアル。即チ大ナル創傷腔 Wundhöhe、漿液腔 seröse Hohlräume 又ハ子宮ヲ洗滌スル時ハ、金屬ガ蛋白ノ面ニ蛋白化合物トシテ固定セラレ、溶液中ノ水銀ノ含量ハ減ジ、吸收セラレテ重篤ナル中毒ヲ起ス。

上記ノ如キ缺點、即チ Hg-蛋白化物ノ生成ニヨリ消毒力ノ減弱スルノ妨グニハ、昇汞ニ少量ノ食鹽ヲ伍スガヨイ(昇汞錠 Sublimatpastillen)。此際食鹽ハ溶液ヲ保存 konservieren スル作用モアル。即チ保存シ得可キ複鹽 Doppelsalz  $HgCl_2 \cdot NaCl$  ヲ生ズル。之ニ反シ昇汞ノ純水溶液ハ分解シテ酸鹽化物 Oxychlorid ヲ生成スル。(但シ食鹽ガ多量ナレバ Hg「イオン」ノ解離ヲ妨グ其結果却ツテ殺菌力ヲ減少セシメル)。

或ル種ノ水銀製劑ハ、各種ノ皮膚病ニ用ヒラル。而シテ植物性並ビニ動物性寄生蟲ヲ絶滅スル作用ガ強イ。例ヘバ昇汞ハ癬風 Pityriasis versicolor ノ際、又灰白軟膏ハ虱 Pediculi ニ用ヒラル。此他之ヨリモ緩和ナルモノ、例ヘバ黃降汞ハ軟膏トシテ角膜翳、眼瞼緣炎、「フリクテン」等ニ用ヒラル、又蒸氣製甘汞ハ緩和ナル刺戟及ビ消毒藥トシテ古來「フリクテン」ニ賞用セラル。但シ此際同時ニ沃度加里ヲ用ヒテハナラヌ。コレ涙中ニ排出セラレテ腐蝕性ノ沃化水銀 Quecksilberjodid ヲ形成スル恐レガアル故デアル(70 頁参照)。

此他甘汞 Kalomel ハ以前屢々誘導・吸收並ビニ消炎藥 ableitendes, resorbierendes und antiphlogistisches Mittel トシテ各種ノ炎症ニ際シテ用ヒラレタ。現今モ灰白軟膏 graue Salbe 或ハ水銀硬膏 Quecksilberpflaster ハ稀ニ蜂窩織炎 Phlegmone、腺腫脹 Drüsenschwellungen 等ノ際ニ用ヒラル。サレド果シテ他ノ皮膚刺戟劑 Hautreizmittel 以上ノ效力アリヤ否ヤハ頗ル疑ハシイ。

【製劑】 昇汞 Hydrargyrum bichloratum, Merkurichlorid, Quecksilberchlorid,



Sublimat, HgCl<sub>2</sub>. 白色ノ結晶或ハ粉末デ, 16 倍ノ冷水ニ徐々ニ溶解ス。外用ニハ, 消毒藥トシテ 1:5000 乃至 1:1000 (千倍) 溶液ヲ用ユ。

處方例

1) 昇汞 } 各 1,0  
食鹽 }  
水 1000,0

以上爲 1000 倍昇汞水, 赤色ノ色素ニテ著色ス。

(皮膚消毒用)

2) 昇汞 0,2  
食鹽 0,2  
水 1000,0

以上爲 5000 倍昇汞水, 赤色ノ色素ヲ以テ著色ス。

眼ノ洗滌又ハ翳法料トス

昇汞錠 Pastilli Hydrargyri bichlorati 昇汞, 「クロールカリウム」各等分ヲ混和シ, 「フクシン」等ニテ著色シ, 錠トナシタルモノデ, 一箇中 0,5 ノ昇汞ヲ含有ス(局法)。2 錠ヲ水 1「リートル」ニ溶解スレバ 0,1% 溶液ヲ得。

昇汞水ハ金屬製ノ器物ニ貯藏シテハナラヌ。

昇汞水ハ陶器・硝子器・木製器具又ハ室内ノ消毒ニ適ス。之ニ反シテ飲食用器具・玩具ノ消毒, 飲料水ニ滲透スベキ場所ノ消毒, 及ビ金屬製品・兩便・吐瀉物其他ノ排泄物ノ消毒ニ用ヒテハナラナイ。

甘汞(亞「クロール」汞) Hydrargyrum chloratum, Kalomel. 及ビ蒸氣製甘汞 Hydrargyrum chloratum vapore paratum, Dampfkalomel.

處方例 蒸氣製甘汞

以上廣口瓶ニ容レ, 毛筆ヲ以テ結膜面ニ撒布, 約 1 分間按摩シ 15 分間ノ後硼酸水ヲ以テ洗滌ス。1 日 1 回

(「フリクテン」)

酸化「チアン」汞 Hydrargyrum oxycyanatum, 強キ消毒藥ニシテ, 其效力ハ昇汞ニ等シイ。

處方例 酸化「チアン」汞 0,2—0,5  
水(煮沸殺菌) 1000,0

以上洗滌料(結膜囊)(手術用) 又ハ眼翳法料

黃降汞(黃色酸化汞) Hydrargyrum oxydatum via humida paratum, Hydrar-

gyrum oxydatum flavum, HgO. 黃色無晶形ノ粉末デ, 微細ニ分布セラル。

2—3% 軟膏 Salbe (Pagenstechers Salbe) トシテ, 眼科ニテ用ヒラル。

處方例 黃降汞 0,05—0,2—1,0  
米國製白色「ワゼリン」 10,0

以上研和シ, パーゲンステッヘル氏軟膏トナシ, 不透明器ニ容レ, 硝子棒ヲ添フ。一日 1—2 回小豆大ヲ點眼シ 3—5 分間按摩ス(或ハ眼瞼縁ニ塗布ス)

白降汞 Hydrargyrum praecipitatum album, Hydrargyrum bichloratum ammoniatum, weißes Quecksilberpräzipitat, NH<sub>2</sub>HgCl. 水ニ不溶性ノ白色粉末デア。軟膏(白降汞軟膏 Unguentum Hydrargyri album) トシテ, 皮膚科及ビ眼科ニ於テ用ヒラル。

處方例 白降汞 0,1—0,5  
米國製白色「ワゼリン」 10,0

以上研和, 不透明器ニ容レ, 塗布料トナス(眼瞼縁炎)

【水銀中毒ノ療法】 急性昇汞中毒ニアリテハ, 胃洗滌ヲ行ヒ, 鞣酸 Gerbsäure, 蛋白及ビ牛乳ヲ與ヘル。其他 343 頁參照。

## b. 銀化合物 Silberverbindungen

最も重要ナルハ硝酸銀 Silbernitrat ノ外, 有機性銀製劑 organische Silberpräparate デアル。

【作用】 銀ハ強キ消毒作用ヲ有ス。例ヘバ乳酸銀 milchsaures Silber ハ 1:1000 ノ溶液ニ於テ 5 分間ニ葡萄狀球菌 Staphylokokken, 連鎖狀球菌 Streptokokken 及ビ脾脫疽菌 Milzbrandbazillen ヲ死滅セシメ, 又血清中ニ於ケル發育ハ 1:80000 ノ稀釋度ニ於テモ妨止セラル。

此乳酸銀及ビ其他ノ銀鹽ハ組織中ニ於テ昇汞ヨリモ強キ滅菌作用 antibakterielle Wirkung ヲ有ス。コレ蛋白化水銀 Quecksilberalbuminat ハ比較的作用弱キモ, 之ニ反シテ銀ノ蛋白化合物ハ強キ消毒作用ヲ有スル故デア。コレ恐ラク徐々ニ銀「イオン」ヲ解離スル爲デア。

銀ハ蛋白質ニ對シテ強キ親和力 Affinität ヲ有ス。溶解セル蛋白ニ二三滴ノ硝酸銀液ヲ加フル時ハ、直チニ重キ白色ノ沈澱ヲ生ジ、此モノハ空氣ニ遇ヘバ直チニ灰色ニ變ズル。コレ還元セラレテ金屬ヲ析出スル故デアル。此反應ハ硝酸銀ヲ皮膚、粘膜或ハ創面 Wundfläche ト接觸セシムル際ニモ起ル。即チ蛋白化金屬 Metallalbuminat ノ固キ痂皮 Schorf ヲ生ジ、此モノハ初メノ瞬間ハ白色ナルモ、直チニ灰色トナリ、最後ニ黑色ニ變ズル。コレ銀及ビ酸化銀 Silberoxyd ヲ析出スル爲デアル。此部ノ細胞層ハ全ク破壊セラレテ固キ痂皮ヲ生ズルヲ以テ、鹽及ビ游離セル硝酸ノ深く侵入スルヲ妨ゲル。斯クノ如ク硝酸銀ノ作用ハ強クシテ然カモ表面的デアルカラ、其爲ニ實際上廣ク應用セラレルノデアル。而シテ深部ノ組織ハ收斂作用 Adstringierung 及ビ刺戟作用ノミヲ受ケ、之ガ爲ニ治癒ガ促進セラレル。

非常ニ稀薄ナ溶液ヲ用フル時ハ、菲薄ナル蛋白化銀ノ層ヲ生ジ、單ニ收斂作用ヲ呈ス。若シ強溶液ヲ長イ間罨法 Umschlag トシテ用ヒルカ又ハ硝酸銀ヲ軟膏 Salbe トシテ塗布スル時ハ、灼熱性疼痛 brennende Schmerzen ヲ覺エツ、炎症及ビ水疱形成ヲ見ル。

硝酸銀ハ不快ナル苦キ收斂性ノ金屬味ヲ有シ、2—3g ヲ内服スルモ著明ナ症狀ヲ呈シナイ。0.05—0.1g ニテハ上腹部ニ溫熱 Wärme 及ビ灼熱 Brennen ノ感ヲ起シ、悪心及ビ時トシテハ嘔吐ヲ催ス。著シク大量(32g)ナレバ激甚ナル急性胃炎ヲ起スモ、生命ノ危險ヲ伴フ事ハ稀デアル。コレ作用ガ表面的デアツテ、多クハ胃内容物ニ結合シテ蛋白化銀 Silberalbuminat 及ビ鹽化銀 Chlorsilber ヲ生ズル爲デアル。

全身作用ハ人ニアリテハ知ラレテ居ナイ。吸収後ニ起ル唯一ノ症狀トシテ知ラルハ銀沈着症 Argyrie (Argyrose) デアル。コレハ銀劑ヲ長ク使用シタル後ニ内臓及ビ皮膚ガ一種固有ニ灰黑色ニ着色スルヲ云フ。之ニヨリテ見ルニ銀鹽ハ徐々ニ腸管ヨリ吸収セラレル事ハ明カデアル。即

チ或ル溶解性ノ化合物トナリテ血液中ヲ循環シ、遂ニ黑色ノ顆粒 Körnchen (Silbersulfid) トシテ種々ナル部位ニ沈着スルノデアル。好シテ沈着スル器官ハ、皮膚ノ光ニ當ル部分、口腔粘膜等デアル。往々最初齒齦ニ暗色ノ邊緣ヲ生ズル。銀沈着症ハ治癒シナイ。銀沈着症ヲ起ス量ハ硝酸銀 15—30g、「プロタルゴール」100g トセラル。

動物ノ皮下或ハ靜脈内ニ大量ノ銀化合物ヲ注射スル時ハ、中樞神経系ノ麻痺ヲ起シ、呼吸中樞ノ麻痺ニヨリテ直チニ死スル。

【應用】硝酸銀 Silbernitrat ノ溶液ハ、粘膜ノ急性及ビ慢性炎症又ハ「カタル」ニ際シテ廣ク應用セラル。其用ヒル濃度ハ腐蝕 ätzen スベキカ、收斂 adstringieren スベキカニヨリ、且應用スル場所ニヨリテ異ナル。

特ニ重要ナルハ初生兒ノ眼ノ消毒デアル。此際ニハ2%硝酸銀溶液ヲ用ユ。之ニヨリテ盲目ノ主ナル原因タル初生兒眼炎 Ophthalmia neonatorum ヲ妨ギ得。

此他各種ノ銀製劑ハ、痲疾性尿道炎 Urethritis gonorrhoeica ノ治療ニ對シテ大ナル意義ガアル。

内用トシテ以前神經疾患ノ際ニ用ヒラレタルモ、今日ハ殆ンド用ヒラレナイ。

近時製出セラレタル有機性銀化合物ハ、蛋白及ビ食鹽ニヨリテ沈澱セラレズ、痲疾ニ際シ銀劑ヲシテ深部ニ作用セシムル目的デアル。其中最モ重要ナルハ「プロタルゴール」Protargol デアル。之ハ痲疾ノ際ニ硝酸銀ノ代用トシテ廣ク用ヒラル。

乳酸銀 milchsaures Silber (「アクトール」Actol) 及ビ枸橼酸銀 zitronensaures Silber (「イトロール」Itrol) ハ外科的消毒劑トシテ推奨セラレ、組織中ニ於テモ消毒作用ヲ呈ス。「イトロール」ハ昇汞ニ優ルトセラル。時トシテ痲疾、眼病等ノ際ニ硝酸銀ニ代用セラル。

「コロロイド」銀 Kolloidales Silber ハ、外觀の容易ニ水ニ溶解シ、細菌

ニ對スル強キ毒物デ、現時局所並ビニ全身消毒劑トシテ往々推奨セラ  
ル。各種ノ細菌性疾病ニ際シ屢々靜脈内注射トシテ試ミラル、モ、其效  
果ハ必ズシモ確實デナイ。

【製劑】 硝酸銀 Argentum nitricum, Silbernitrat, Lapis, Höllenstein, AgNO<sub>3</sub>  
白色或ハ灰白色ノ板狀結晶デ、水ニハ容易ニ溶解ス。種々ナル濃度ノ溶液ト  
シテ外用セラ。即チ眼ノ消毒ニハ 2% (生理的食鹽水ニテ後洗スル)、通常  
ノ結膜炎 Konjunktivitis ニハ 0,25%, 痲疾ノ際ノ通常ノ注入水 Spritzwasser  
トシテハ 0,05—0,5%, 口腔・咽頭・鼻腔ニ塗布スルニハ 2—10%ヲ用フ。

處方例

- 1) 硝酸銀 0,2  
蒸餾水 10,0

以上硝子棒ヲ以テ初生兒ニ點眼(初生兒膿漏眼ノ豫防)  
(クレーデ Credé 氏法)

- 2) 硝酸銀 0,1—0,2  
蒸餾水 10,0

以上眼瞼ヲ翻轉シ結膜面ニ點眼、後食鹽水ヲ以テ洗滌ス  
(1日1回)(急性結膜炎、膿漏眼、急性「トラホーム」等)

「プロタルゴール」(「プロテイン」銀 Protargolum, Argentum proteicum 8,3%  
ノ銀ヲ含有スル「アルブモーゼ」化合物デア。黄色ノ微細ナル粉末デ、水ニ  
ハ容易ニ溶解スル。其溶液ハ、蛋白・食鹽・鹽酸或ハ「ナトロン」鹼汁ニヨリテ  
沈澱シナイ。外用トシテハ、痲疾ノ際ニハ 1/3—1/4%, 後ニハ 1/2—1%溶液ヲ  
用フ。眼ニハ、膿漏眼 Blenorrhoe ノ豫防トシテ 20%迄ノ溶液ヲ用フ。50%  
溶液又ハ純粹ナル「プロタルゴール」モ毫モ腐蝕作用ヲ呈シナイ。

處方例

- 1) 「プロタルゴール」 2,0  
蒸餾水 10,0

以上褐色瓶ニ入レ、點眼(初生兒膿漏眼ノ豫防)

- 2) 「プロタルゴール」 0,5—2,0  
蒸餾水 10,0

以上褐色瓶ニ入レ點眼料トス(結膜炎、「トラホーム」)

- 3) 「プロタルゴール」 1,0

蒸餾水 20,0

以上涙管洗滌料

此他「イヒタルガン」 Ichtharganum (Ichthyolsilberverbindung), 「アクトール」 Actol (乳酸銀 Argentum lacticum), 「イトロール」 Itorol (枸橼酸銀 Argentum citricum) 等ガアル。

「コロロイド」銀 Argentum colloidal ニハ、「コルラルゴール」 Collargol, 「エレクトラルゴール」 Elektrargol 等ガアル。

【硝酸銀中毒ノ療法】 化學的拮抗劑トシテ蛋白及ビ食鹽ヲ與フ。大量ガ胃  
中ニ入レル場合ニハ胃洗滌ヲ行フ。銀ノ斑點 Silberflecke ハ濃厚ナル沃度加  
里或ハ「チアン」加里 Cyankalium ノ溶液ニテ除去シ得。

## 7. 「フォルムアルデヒド」 Formaldehyd

「フォルムアルデヒド」ハ蟻酸 Ameisensäure ノ無水化物 Anhydrid デ、  
眼及ビ鼻ヲ強く刺戟スル所ノ無色ノ瓦斯デア。水ニ溶解シタルモノ、  
即チ「フォルマリン」 Formalin ハ消毒藥 Desinfektionsmittel トシテ廣ク用  
ヒラル。

「フォルムアルデヒド」ハ、スベテノ「アルデヒド」ノ如ク、頗ル反應  
シ易キ物質デ、各種ノ有機物ト化合シ或ハ之ヲ變化セシム。即チ血液及  
ビ蛋白ヲ凝固 koagulieren セシメ、皮膚ヲ收斂セシム。細菌體ヲモ侵害  
スルガ故ニ、強力ナ消毒劑デア。

高等動物ニ對シテハ比較的毒性ガ尠ナイ。

【中毒】 今迄ニ稀ニ見ラレタ人間ノ中毒死ハ局法ノ 25% 溶液ノ大量ヲ飲  
用シタ場合デアツタ。斯ル場合ニハ胃腸腐蝕 Magendarmätzung ノ通常ノ症  
狀ガ現ハレ、強キ疼痛、血液性嘔吐及ビ下痢、譫妄 Delirien ガ現ハレ、速カニ  
意識消失シ、脈搏ハ弱ク不規則トナリ、呼吸ハ淺ク、無尿 Anurie ヲ起シ、昏  
睡 Koma ニ陥リテ死ス。

【體內ニ於ケル運命】 一部ハ酸化セラレテ、蟻酸 Ameisensäure トシテ尿中  
ニ排出セラ。ル。「フォルムアルデヒド」製劑ヲ内服シタル後ノ尿ハ腐敗  
Fäulnis ヲ起ス事ガ徐々デア。ル點ヨリ見レバ、一部ハ不變ノマ、尿中ニ排出セ

ラル、モノト考ヘラル。

【應用】 非常ニ稀薄ナル溶液ハ、化膿性眼傷害 eitrige Augenaffektionen 及ビ角膜創傷 Hornhautwunde ノ際ニ推奨セラル。又濃厚液ハ腔「カタル」 Vaginalkatarrh 又ハ子宮内膜炎 Endometritis ノ際ニ洗滌料 Ausspülung トシテ用ヒラレ、此他限局性結核 lokale Tuberkulose 及ビ沈降膿瘍 Senkungsabszess ノ際ニ注射セラル。強溶液ニテ洗滌スレバ、皮膚ハ容易ニ收斂セラレ、足汗 Fusschweiss 又ハ其他ノ發汗ハ減退スル。サレド結核患者ニハ適當デナイ。コレ刺スガ如キ臭氣ノ爲ニ咳嗽ヲ起ス故デアル。

強キ刺激性ヲ有スルヲ以テ、一般ノ創傷消毒藥 Wundantiseptikum トシテハ使用セラレナイガ、物體ノ消毒藥トシテハ頗ル適當デアル。其優レタル點ハ、作用ガ強キ外、瓦斯トシテ到ル所ニ擴ガリ、衣服等ノ中ニモ透入スル點デアル。而シテ「クロール」Chlor ヲ應用シ得ナイ場合（色ヲ破壊スル爲）ニモ用ヒラレ得ベク、又乾性或ハ濕性溫熱ニヨリテ傷害セラルル物體、例ヘバ書籍又ハ毛皮製品 Pelzwerk 等ノ消毒ニモ適スル。サレド著シク厚ク且容積ノ大ナル物體、例ヘバ夜具 Bettzeug 等ノ消毒ハ必ズシモ完全ニ行ハレナイ。室ノ消毒ニハ「フォルムアルデヒード」ヲ噴霧器 Sprayapparat ヲ用ヒテ微細ニ分布セシメタル後、室ヲ少ナクトモ7時間以上密閉スル。其内ニ細菌ノ培養ヲ置ク時ハ此時間後ニハ死滅スル。書籍、衣服、刷毛等ハ「フォルマリン」ヲ濕シタル「タオル」ニクルミテ24時間密閉シタル容器中ニ入レル。

「フォルムアルデヒード」モ亦他ノ「アルデヒード」ト同様ニ重合 Polymerisation ヲ起シ易ク、「バラフォルムアルデヒード」ヲ生ズル。此モノハ固キ白色ノ物體デアツテ、之ヲ温ムレバ再ビ「フォルムアルデヒード」トナル。故ニ特別ノ装置ニテ室ノ消毒ニ用ヒラル。

此他實際上ニハ、近時屢々「フォルムアルデヒード」或ハ「バラフォルム

アルデヒード」ト過酸化金屬 Metallsuperoxyde 或ハ過「マンガン」酸加里 Kaliumpermanganat トノ混合物ヲ用ユ。此混合物ニ水ヲ加フル時ハ、水ガ過酸化物ニ作用シテ強キ熱ノ發生ヲ促シ、濃厚ナル水蒸氣及ビ「フォルムアルデヒード」蒸氣ヲ發散セシメル。

「フォルムアルデヒード」ハ動物又ハ解剖的標本ノ貯藏ニモ缺グ可カラザルモノデアル。其固定ニヨリテ標本ノ形ヲ保持シ、又其脱色スル事モ「アルコール」中ニ保存スル際ヨリモ少ナイ。細菌培養モ「フォルムアルデヒード」ニテ固定シ、不變ノ状態ニテ保存シ、「デモンストラチオン」ヲナシ得。

食物ノ貯藏劑 Konservierungsmittel トシテハ不適當デアル。コレ蛋白ガ變化スル故デアル。

【製劑】「フォルマリン」Formaldehydum solutum, Formalin, Formol. 刺スガ如キ臭氣ヲ有スル無色ノ液體デ、35重量%ニ40容積%ノ「フォルムアルデヒード」HCHO ヲ含有ス。外用トシテハ、眼ニハ水 100 ccm = 2 滴ヲ加ヘタルモノ、粘膜ニハ $\frac{1}{2}$ —1%、洗滌ニハ10%溶液、局所ノ結核ニハ1—5:100「グリセリン」ヲ注射スル。

消毒ニハ蒸氣又ハ水溶液トシテ使用ス。

「フォルマリン」蒸氣ニテ消毒ヲ行フニハ、「フォルマリン」ヲ適當ナル装置ニ入レ、水ト共ニ蒸發又ハ噴霧セシム。

此消毒ニ適スルハ、氣密ニ閉鎖シ得ル室、又ハ同様ノ消毒函ニ納メタル物デアル。室壁・物品等其表面ノ消毒ヲ行ヘバ充分テ内部ニ至ル迄消毒方法ヲ施ス必要ノナイ場合、又ハ他ノ消毒ヲ行ヒ得ザル貴重品其他ノ物件ノ消毒ニ用ヒラル。室又ハ函ノ消毒ニハ、其容積百立方尺ニ付「フォルマリン」40g 以上ヲ噴霧セシメルカ、又ハ「フォルムアルデヒード」瓦斯 15g 以上ヲ發生セシメ、同時ニ約 100g 以上ノ水ヲ蒸發セシムルノ比例ヲ以テ處置シタル後7時間以上密閉シ置クガヨイ。

刺スヤウナ酸性臭ハ、消毒ガ終リタル後ニ「アムモニア」ニテ容易ニ除去シ得。

「フォルマリン」水 「フォルマリン」1分ニ水 34分ヲ加ヘタルモノデ、用ニ臨ミテ製スル。「フォルマリン」水ハ家屋・什器及ビ衣類等ノ消毒ニ適スル。什器ヲ消毒スルニハ之ヲ撒布シ、衣服等ハ2時間以上浸漬スル。但シ兩便・吐瀉物其他ノ排泄物ノ消毒ニハ用ヒラレナイ。コレ昇汞ノ如ク蛋白ニ強ク作

用スル故デアル。

【「フォルマリン」中毒ノ療法】胃洗滌ヲ行ヒ、稀薄ナル「アムモニア」溶液或ハ易溶解性「アムモニウム」鹽ヲ與フ。然ル時ハ、腐蝕性ナク毒性少ナキ「ヘキサメチレンテトラミン」Hexamethylentetramin（「ウトロピン」）ヲ生ズル。

### 8. 「アルコール」 Alkohol

「アルコール」ハ消毒作用 antiseptische Wirkung ヲ有スルモ高度デハナイ。細菌ニ對シテハ70%「アルコール」ハ濃厚ナル「アルコール」ヨリモ作用ガ強イラシイ。葡萄醱酵 Weingärung ハ、約15%ノ「アルコール」ガ生成セラレルト停止スル。

局所 Lokal ニ對シテハ、「アルコール」ハ刺激性 reizend ニ作用スル。コレ蛋白ガ沈澱シ且水分ヲ牽引スル故デアル。皮膚上ニハ、蒸發ニヨリテ寒冷 kühl ノ感ヲ起ス。罨法 Umschläge トシテ、厚キ被覆ヲ行ヒテ長キ間作用セシメル時ハ、潮紅 Rötung、炎症及水泡ヲ生ズル。70%以上ノ「アルコール」ハ粘膜ニ對シテハ殆ンド腐蝕性 ätzend ニ作用スル。

【應用】外用 äusserlich ニハ、「アルコール」ハ結核病者ノ發汗ヲ洗拭スル爲ニ用ヒラル。又發熱時ニ摩擦シテ爽快ナラシメル爲、又鎮痒並ビニ冷却性ノ罨法 juckenlindernde und kühlende Umschläge トシテ、及ビ各種ノ鎮痛及ビ皮膚刺激性擦劑 schmerzstillende und hautreizende Lini-mente ノ成分トシテ使用セラル。

手又ハ手術ヲスル部位ノ消毒 Desinfektion ニハ、先ツ「アルコール」及ビ「エーテル」ニテ洗フ。コレ水溶性消毒劑ノ皮膚ニ對スル作用ヲ妨ゲル所ノ脂肪ヲ溶解スル爲デアル。又同理ニヨリテ、器械類 Instrumente ヲ清淨トナスニモ適スル。

「アルコール」罨法 Spiritusumschläge (96%, 24時間) ハ淋巴管炎 Lymphangitis, 蜂窩織炎 Phlegmone, 「フルンケル」Furunkel, 「バナリチウム」

Panaritium 及ビ丹毒 Erysipel ノ際ニ推奨セラル。然ル時ハ炎症ハ往々消退スルカ或ハ擴ガル事ガ妨ゲラレル。コレ一部ハ「アルコール」ノ消毒作用 antiseptische Wirkung ニヨリ、一部ハ充血 Hyperämie ガ起リテ其爲ニ細菌ガ弱メラレル爲デアル。

【製劑】無水(純)「アルコール」Alcohol absolutus, 99,4—99,7 容積%ノ「アルコール」デアル。

酒精 Spiritus ハ90—91 容積%ノ「アルコール」、稀酒精 ハ68—69 容積%ノ「アルコール」ヲ含有ス。此兩者ハ「エキス」Extrakt, 丁歳 Tinktur 及ビ多クノ他ノ藥劑ヲ製スルニ用ヒラル。

### 9. 硼酸 Borsäure 及 硼砂 Borax

硼酸 Borsäure ハ他ノ同濃度ノ鹽酸ヨリモ弱キ消毒作用ヲ有ス。通常使用セラル、1—4% 溶液ニテハ大多數ノ細菌ハ死滅シナイ。只溶液ト接觸スル間其發育ガ防止セラレルノミデアル。

創面ニ對シテモ、硼酸ハあまり刺激ヲ與ヘナイ。コレ硼酸ハ弱イ酸デアツテ、濃厚ナル溶液ニテモ強酸性反應ヲ呈セズ且蛋白ヲ沈澱シナイ故デアル。

内用スレバ、硼酸溶液ハ多クハ單ニ胃及ビ腸ヲ刺激スルノミデアル。硼砂モ同様デアル。

【中毒】大量ノ硼酸溶液ニテ漿液腔・膀胱内・直腸又ハ胃ヲ洗滌シ其後之ヲ完全ニ排除シナカッタ場合ニ、重篤ナル中毒ヲ起シテ死シタル例ガアル。

中毒ノ症狀トシテハ、下痢、嘔吐、腎臟刺激(疼痛・蛋白尿・血尿 Hämaturie)、精神的興奮ヲ起シ、時トシテハ一兩日間嗜眠 Sopor ニ陥リ、遂ニ虚脱 Kollaps ニ陥ル。此他多クノ場合ニハ固有ノ皮膚障礙ガ現ハレル。即チ膿疱狀 pustulöse 及ビ丘疹狀發疹 papulöse Ausschläge ノ形ヲナシ

蕁麻疹 Urticaria 或ハ乾癬 Psoriasis (Psoriasis borica) トシテ現ハレ、長イ間持續スル事ガアル。動物試験ニテハ、上行性中樞麻痺ガ死因デア  
ル。

近來硼酸ハ貯藏藥 Konservierungsmittel トシテ使用セラル。味モ臭氣モ不  
變デ且安價デアアル爲ニ、一般ニ用ヒラレルニ至ツタ。硼酸ハ多數ノ果實中ニ  
天然ニ含有セラル(林檎、梨 100g 中ニ 1—2 mg, 「リーテル」葡萄酒中ニ  
ハ 1,5—40 mg)。然シ其量ハ僅少デアアルカラ、意味ヲナサナイ。然ルニ貯藏ノ  
目的ニハ、硼酸或ハ硼砂ハ多量(0,5—3%)ニ用ヒナケレバナラナイ。故ニ通  
常ノ食品中ニ硼酸ヲ加フルトセバー日量 1—2—3g 又ハ其以上ヲ服用スル事  
トナル。此量ガ果シテ無害ナルヤ否ヤト云フニ、既ニ一日量 0,5—1,0g ノ硼  
酸ヲ服用シテモ腸中ニ於ケル食物ノ利用率 Ausnutzung ガ減少シ、此他炭酸  
排出量ガ増加シ、斯クテ榮養障礙ヲ來シ、體重ハ減少スル。故ニ硼酸又ハ硼  
砂ハ食物ノ貯藏ニハ之ヲ禁ズベキデアアル。

硼砂 Borax ハ硼酸ト同様ニ弱キ消毒作用ガアル。サレド「アルカリ」  
性反應ヲ呈スルカラ、石鹼ノ如ク、皮膚ヲ清淨ニスル性質ガアル。

内服セシムレバ、硼砂ハ恰モ弱キ「アルカリ」ノ如ク作用スル。

硼砂ハ容易ニ吸收セラレ、一部ハ唾液中、大部分ハ尿中ニ排出セラル。

【應用】 硼酸ハ水溶液又ハ軟膏 Salbe ノ形チニテ、創傷藥 Wundmittel  
トシテ廣ク用ヒラル。又硼酸綿 Borwatte ハ適當ナ繃帶材料デアアル。  
消毒作用ハ僅少デアアルカラ、硼酸ハ新鮮ニシテ且或ル度迄清淨ナ創傷  
frische und reine Wunde ニ最モ適スル。之ニ反シテ傳染ヲ起シ且分泌ノ  
強イ潰瘍ニ對シテハアマリ適シナイ。此場合ニハ強キ藥劑ヲ要スル。

此他其刺激作用ハ尠ナイカラ、眼ノ洗滌、含嗽水 Mundwasser、胃ノ醗  
酵(擴張 Dilatation)ノ際ノ洗滌、膀胱炎 Cystitis ノ際ニ於ケル膀胱ノ洗  
滌、白帶下 Fluor albus ノ際ニ腔ノ洗滌ニ用ヒラル、此他耳又ハ鼻疾患  
ノ際ニ吹入 Einblasung ニ用ヒラル。麻菌 Gonokokkenニ對シテハ作用シ  
ナイ。

硼砂 Borax モ同様ニ應用セラル。特ニ「アフター」性口内炎 Stomatitis

aphthosa 又ハ鷺口瘡 Soor ニ對シテ屢々用ヒラル。

【製劑】 硼酸 Acidum boricum, Borsäure,  $H_3BO_3$ 。白色ノ光輝アル小鱗片狀體  
デ、25倍ノ冷水ニ溶解シ、温湯ニハ容易ニ溶解シ、「グリセリン」ニモ溶解スル。

外用ニハ、創傷 Wunde ノ濕布又ハ腔及ビ眼ノ洗滌ニハ 2%ヲ用ヒ、胃・膀  
胱ノ洗滌ニハ 1%溶液ヲ用ユ(胃中ニ大量ガ残留シナイヤウニ注意シナケレ  
バナラヌ)。

處方例 硼酸 20,0—30,0  
水 1000,0

以上洗滌料或ハ灑法料(眼科)

硼酸軟膏 Unguentum acidi borici, Borsalbe, 10%:

處方 硼酸 Acid. borici 10,0  
單軟膏 Ung. simpl. 90,0

以上混和

硼酸亞鉛華軟膏 Borzinksalbe:

處方 硼酸 Acid. borici } 各 5,0  
亞鉛華 Zinci oxydati }  
單軟膏 Ung. simpl. 100,0

以上混和

用途硼酸軟膏ニ似タレドモ、硬度ヤ、硬ク、夏季ニモ流レ出サナイ故、專  
問家ニハ硼酸軟膏ヨリモ廣ク用ヒラル。

硼酸「グリセリン」Glycerinum boricum, Boroglycerinum、流動性ノ淡黃色ノ  
物質デ、水ニ溶解スル。約 1 部ノ硼酸ヲ 2 部ノ「グリセリン」ト共ニ熱シテ  
製ス。外用トシテハ、潰瘍 Geschwüre ニ用ヒラル。コレ硼酸ハ、此形チニテ  
ハ純粹ナ硼酸ヨリモ容易ニ水ニ溶解スルカラデアアル。

硼砂 Borax, Natrium boracicum, tetraborsäures Natrium,  $Na_2B_4O_7 + 10H_2O$ 。  
無色透明ノ結晶デ、17 部ノ冷水ニ溶解シ、「グリセリン」及ビ熱湯ニハ頗ル容  
易ニ溶解スル。

外用ニハ、10%「グリセリン」溶液トシテ鷺口瘡 Soor 又ハ他ノ口腔疾病ニ  
塗布 pinseln セラル。又眼科ニテモ用ヒラル。

處方例 硼砂 0,5  
蒸餾水 20,0

以上點眼料, 1 日 3 回(慢性結膜炎)

## 10. 「アニリン」色素 Anilinfarbstoffe

「メチレン」青 Methyleneblau.  $C_{16}H_{18}N_3SCl$ . 鎮痛劑トシテ又ハ稀「マラリア」ニ對シテ使用セラル。

「ピオクタニン」Pyoktaninト稱セラル、モノニハ、「メチル」藍 Methylviolett (「ピオクタニン」青 Pyocyanium caeruleum) 及ビ「アウラミン」Auramin (「ピオクタニン」黄 P. aureum) ガアル。消毒劑 Antiseptika トシテ、撒布料 (0.1—1%)、軟膏 Salbe (2—10%) 或ハ溶液 (0.1—1%) トシテ主トシテ眼科ニ於テ角膜潰瘍、「フリクテン」等ニ用ヒラル。

處方例 青色「ピオクタニン」 0.1—0.5

蒸留水 10.0

以上點眼、後水ニテ洗滌ス

「トリパフラヴィン」Trypaflavin. 消毒劑トシテ創傷療法 Wundbehandlung 又ハ淋病 Gonorrhoe ニ用ヒラル、事ガアル。

「リヴァノール」Rivanol 消毒劑トシテ用ヒラル。

「フルオレスチン」Fluorescin 及「フルオレスセイン」Fluorescein 酸性「アニリン」色素ニ屬シ、黄赤色ノ粉末デアル。水ニ不溶性、「アルカリ」ニハ溶解ス。然レドモ本品ノ「アルカリ」鹽ハ直チニ水ニ溶解ス。兩種共ニ角膜表皮損傷ノ診斷ニ用ヒラル。

處方例 「フルオレスチン」 0.4

炭酸曹達 0.7

蒸留水 20.0

以上 1 滴ヲ點眼シ、3—3 秒ノ後水ニテ洗滌ス

## 〔附〕 手術ニ必要ナル消毒法又ハ滅菌法

## Sterilisation oder Desinfektion.

## I. 手ノ消毒法 Desinfektion der Hand.

最も多ク用ヒラルハ「フュールブリンゲル」氏法 Fürbringersche Methode デアル。

(1) 先ヅ手指ノ爪ヲ剪除シテ爪間ノ垢ヲ除去ス。

(2) 殺菌水ヲ用ヒ、豫メ消毒セル刷毛 Bürste ト石鹼 Seife ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ摩擦洗滌ス(5—10 分間)。

(3) 1% 昇汞水 Sublimatlösung ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ洗フ(但シ昇汞ノ爲ニ皮膚炎 Dermatitis ヲ起ス人ハ 2% 「リゾール」、1% 青酸酸化汞 Hydrargyrum oxycyanatum, 1% 重沃度汞 Hydrargyrum-bijodatum ヲ用ユ)。

(4) 普通「アルコール」(70—80% 「アルコール」) ニテ手及ビ前膊ヲ充分ニ清淨ス。

## II. 手術部ノ消毒法 Desinfektion des Operationsfeldes.

(1) 皮膚ノ消毒法 Desinfektion der Haut: 先ヅ手術部ノ毛髪ヲ充分ニ剃去ス。次デ手ト同様ノ消毒法ヲ行フ事アルモ、最も多ク用ヒラルハ次ノグロッシヒ氏法 Grossihische Methode デアル:

乾燥セル手術部ニ 5—10% 沃度丁幾ヲ廣ク 1—2 回塗布ス。更ニ之ヲ「アルコール」ニテ拭取ス。之ニヨリテ其消毒力ヲ深部ニ達セシメ、過剰ノ沃度ヲ除去シ、皮膚炎ヲ起ス事ヲ尠ナクシ得。

皮膚ガ若シ甚ダシク不潔ナル時ハ、「ベンゼン」Benzin 又ハ「エーテル」ニテ清淨ニナシタル後、沃度丁幾ヲ塗布スルガヨイ。(此方法ハ最も簡便ナレドモ陰囊 Skrotum, 結膜 Konjunctiva 等ニ觸ル、時ハ疼痛激甚デアル)。

## (2) 粘膜ノ消毒 Desinfektion der Schleimhaut:

口腔ニ於テハ齒齦 Gingiva, 齒ノ間ヲ器械的ニ清淨ニナシタル後、沃度丁幾ヲ塗布シ、3% 過酸化水素 Wasserstoffsuperoxyd ニテ屢々含嗽セシム。

腔 Scheide・肛門 Rektum 等ニ於テハ石鹼、「ガーゼ」ヲ以テ清淨ニシタル後、1—2% 「リゾール」溶液ヲ以テ洗滌スルヲ常トス。

## III. 器械ノ消毒 Desinfektion der Instrumente.

之ニハ多ク煮沸消毒法 Kochsterilisation (シムメルブッシュ氏煮沸器 Schimmelbuschsche Kochapparat) ヲ用フ (3—5 分)。

## IV. 縫合材料ノ消毒 Desinfektion der Nahtmaterial.

1. 絹絲縫合絲 Seidennaht: 「エーテル」及ビ純「アルコール」中ニ 12 時間宛浸置シタル後、1% 昇汞水ヲ以テ 10 分間或ハ普通ノ湯ニテ 20 分間煮沸シテ用フ。之ヲ貯藏スルニハ「エーテル」及ビ「アルコール」ノ等分液中ニ於テス。而シテ用ニ臨ミ 3 分間普通ノ水ニテ煮沸シテ用ユ。(普通ノ煮沸消毒ニテハ消毒ガ充分デナイ。又餘リ長ク煮沸スル時ハ脆弱トナル懼ガアル)。

2. 腸線 Catgut: 之ニハ種々ノ消毒法ガアル:

a. 2—4%「フォルマリン」溶液ニ約24時間浸置シ、次ニ少ナクトモ12時間流水ニテ洗滌シ、次デ10、30分間水中ニテ煮沸シ、昇汞「グリセリン・アルコール」(1,0—5,0—100,0)中ニ貯藏スル。

b. 「エーテル」中ニ腸線ヲ入レ、全ク潤濁ノ生ゼザル迄、「エーテル」ヲ換ヘテ、脂肪ヲ全ク去リ、次デ沃度沃度加里溶液(1,0—3,0—30,0)ニ8日間浸置シ、用ニ臨ミテ滅菌水又ハ3%石炭酸水ニテ洗フ。之ヲ貯藏スルニハ純「アルコール」中ニ浸置ス。

V. 繃帶材料類消毒 Desinfektion der Verbandmaterial etc.

繃帶及ビ手術ニ用ユベキ「ガーゼ」、綿、繃帶、布類、手術着、手袋等ハ通常蒸氣消毒ヲ行フ。

## II. 收斂劑 Adstringentia, zusammenziehende Mittel

### 一 般 的 事 項

スベテ收斂劑ニハ共通ナ性質トシテ、組織ノ表面ヲ凝結シテ蛋白ト不溶解性ノ化合物ヲ形成スル作用ガアル。化學的關係ニ於テハ、收斂劑ハ之ヲ二大別シ得。即チ(1)礬土 Tonerde 及ビ多數重金屬ノ鹽類、(2)鞣酸 Gerbsäure 之デアアル。

此等ノモノ、作用ハ大體ニ於テ同一デアアル。即チ細胞内及ビ其周圍ニ微細ニシテ稠密 dicht ナル沈澱 feiner und dichter Niederschlag ヲ形成スル。例ヘバ石灰水 Kalkwasser ノ如キモ、組織中到ル所ニ存スル炭酸「アルカリ」及ビ遊離ノ炭酸ニ遇ヒテ不溶性ノ炭酸「カルチウム」Calciumkarbonat ヲ沈澱シテ收斂作用ヲ呈シ、又滑石 Talk, 白陶土 Bolus alba 或ハ石松子 Lycopodium ノ如キ化學的ニ無爲性 indifferent ナル物質モ、微細ナル被覆粉 deckende Pulver トシテ之ヲ粘膜又ハ創面上ニ與フル時ハ或ル度迄收斂作用ヲ呈スル。

サレド通常狹義ノ收斂劑ト稱スルハ、蛋白ヲ沈澱セシムル物質、即チ

金屬鹽及ビ鞣酸ノミデアアル。

## 1. 鞣 酸 Gerbsäure

鞣酸ハ植物界ニ廣ク存スル物質ノ總稱デ、次ノ如キ特有ナル性質ヲ共有ス。即チ恰モ酸ノ如ク、酸性又ハ中性液ヨリ蛋白ヲ沈澱セシメ、生膠組織 leimgebende Gewebe ト固キ不變ノ化合物(革 Leder) ヲ形成シ(鞣皮ヲ形成 gerben ス)、且大多數ノ「アルカロイド」及ビ重金屬ノ鹽類ヲ沈澱セシメル。

或ル鞣酸ハ没食子酸 Gallussäure ト糖(即チ「ゴリコジッド」Glykoside) 或ハ「フロ、グルチン」Phloroglucin トノ化合物デアアルガ、多數ノモノハ、化學的ニアマリヨク知ラレテ居ナイ。此等ノモノニハ無數ノ種類ガ含マレ、其植物ニヨリテ、例ヘバ咖啡鞣酸 Kaffeegerbsäure、櫟鞣酸 Eichengerbsäure、規那鞣酸 Chinagerbsäure、「ラタニア」鞣酸 Ratanhiagerbsäure 等ト稱セラル。

又往々、(1)例ヘバ「タンニン」Tannin ノ如ク、鐵鹽ヲ青黑色ニ沈澱セシメ且乾餾 trockene Destillation ニ際シテ「ピロガロール」Pyrogallol ヲ生ズルモノト、(2)綠色ノ鐵化合物ヲ生ジ、乾餾ニ際シテ「ブレンツカテヒン」Brenzkatechin ヲ生ズルモノトニ區別セラル。

【作用】 粘膜ニ對シテハ次ノ如キ作用ヲ呈スル。即チ組織ニ接觸スレバ蛋白ヲ沈澱シテ、之ヲ凝固 koagulieren セシム。表面ノ細胞ハ正常ノ軟カサヲ失ヒ、稠密ナル硬キ層ニ變ジ、前ヨリモ容積ヲ減ズル。故ニ粘膜ハ萎縮 schrumpfen シテ蒼白 blass トナル。コレスベテノ小血管ガ收縮スルカ或ハ壓搾セラル、爲デアアル。從ツテ血液ハ凝結 koagulieren シ其爲ニ出血ハ止マル。溶解セル藥劑ハ輸出管 Ausführungsgänge ヲ通ジテ腺 Drüse 中ニ浸入シ、分泌細胞ニ對シテ表面ニ於ケルト同様に變化ヲ與ヘ、爲ニ分泌ハ止ミ粘膜ハ乾燥スル。

此他大多數ノ收斂劑ハ弱キ局所麻醉 schwach lokalanästhesierend ノ作用ガアル。コレ神經末梢部中ノ蛋白ガ沈澱スル故デアアル。



又表面ヲ化學的ニ變化セシムルガ故ニ、細菌ノ繁殖ニ不適當ニナル。即チ收斂セシ皮膚(革 Leder)ハ腐敗作用ニ抵抗シ、腐敗シツ、アル血液ハ其臭氣ヲ失フ。「タンニン」溶液ヲ加フル時ハ週餘ニ互リテ之ヲ貯藏シ得。又蛋白化金屬 Metallalbuminate モ長イ間細菌ノ作用ニ抵抗スル。斯クシテ收斂劑ハ往々本來ノ消毒劑ヨリモ長イ間持續的ニ消毒作用ヲ呈スル。本來ノ消毒劑ハ、其瞬間ハ強キ作用ヲ呈スルモ、其場所ニ固定セラレナイデ、直チニ再ビ運搬シ去ラル。

上記ノ如キ作用ガ單ニ表面 Oberfläche ニノミ止マル場合ニハ之ヲ收斂 Adstringieren ト云ヒ、之ニ反シテ若シ化學作用ガ深部ニ進ミテ組織ヲ全ク死滅セシメ、眼ニ見ユル物質缺損 Substanzverlust ヲ起ス時ハ、之ヲ腐蝕 Ätzung ト云フ。

故ニ蛋白ヲ沈澱セシムル物質ニヨル 收斂作用ト腐蝕作用トハ、其間ニ毫モ明確ナル區別ガアルワケデハナイ。只量的ノ差異アルノミデアアル。同一物質ニテモ、稀薄ナル時ハ收斂劑 Adstringens トシテ作用シ、濃厚ナレバ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ作用スル。

【應用】 收斂劑ハ主トシテ粘膜炎「カタル」Schleimhautkatarrh ノ際ニ用ヒラル。コレ其主症狀ハ腫脹 Schwellung・潮紅 Rötung・及ビ分泌亢進ナルガ、收斂劑ノ主作用 Kardinalwirkungen ハ之ト反對ニ萎縮 Schrumpfung・蒼白 Blässe・乾燥 Trockenheit デアル爲デアアル。且粘膜炎「カタル」ノ病原ハ屢々細菌ナルガ、其發育ハ收斂劑ニヨリテ妨止セラレル故デアアル。

收斂劑ハ特ニ慢性「カタル」chronischer Katarrh ノ際ニ適シテ居ル。未ダ病變ノ初マリデ、激甚ナル炎症性症狀 Entzündungssymptome ガ存スル場合ニハ、表面ノ化學的變化ハ刺戟トナリテ感受性ノアル組織ニ對シテ強キ刺戟トナリ、却ツテ腫脹・潮紅ハ増加シ、其結果疼痛ヲ覺ヘル。故ニ急性炎症ニアリテハ、激甚ナル刺戟性症狀ガ消失スル迄收斂劑ノ應用ヲ

避ケルガヨイ。

例ヘバ新鮮ナル 結膜炎 Konjunktivitis ハ鉛水 Bleiwasser 或ハ亞鉛水 Zinkwasser ニテ治療シナイ。淋疾 Gonorrhoe ニ際シテモ二三日間ハ過ギテカラ初メテ注入ヲ行フガヨイ。

次ニ收斂劑ノ作用ハ蛋白ヲ沈澱セシムルニアルカラ、其作用スルノハ溶解性蛋白ト直接ニ接觸スル場所、即チ達シ得ラル可キ創面・粘膜炎或ハ漿液腔 seröse Höhle ノミデアアル。

【吸收作用】 Resorptive Wirkungen ハナイ。コレ蛋白ヲ沈澱セシメルカラ、從ツテ吸收セラレナイ故デアアル。血液中ニ於テハ、蛋白ニ對シテ毫モ親和力 Affinität ヲ有シナイ化合物、即チ毫モ收斂作用ヲ有シナイ化合物トシテ循環スルノミデアアル。

收斂劑ノ作用ハスベテ同一ナルモ、實際上ニ於テハ多少ノ差異ガアルカラ、其各々ニ就テ述ベル必要ガアル。

「タンニン」 Tannin ハ收斂性ノ苦甘味(「インキ」様ノ味)ヲ有シ、1:1000ノ稀釋度ニ於テモ尙之ヲ認知シ得。濃厚ナル溶液ハ粘膜炎ヲ粗糙トナシ且乾燥 trocken セシム。收斂劑トシテ、直接達シ得可キ粘膜炎ノ「カタル」及ビ炎症ニ對シテ用ヒラル。例ヘバ口内炎 Stomatitis 又ハ「アングーナ」Angina ノ際ニ含嗽水トシテ用ヒラレ、又慢性喉頭炎 chronischer Laryngitis ノ際ニ塗布セラル。此他泌尿生殖器ノ粘膜炎ノ際ニ洗滌料トナシ、又多量ノ粘液分泌ヲ伴ヘル大腸「カタル」ノ際ニ往々洗滌料トシテ用ヒラル。例ヘバ「コレラ」Cholera ノ際ニハ腸ヲ數「リーテ」ノ稀薄ナル「タンニン」溶液ニテ洗滌スル事ガアル。

止血劑トシテノ作用ニ就テハ 284 頁參照。

此他「タンニン」ハ、「アルカロイド」中毒ノ際(「モルヒネ」ノ際ハ用ヒナイ)、吐酒石 Brechweinstein、又ハ鞣酸ニヨリテ沈澱セラルベキ金屬鹽 Metallsalze ニヨル中毒ノ際ニ、解毒劑 Antidot\*トシテ用ヒラル。サレド

之ハ胃洗滌、下劑、又ハ吐劑ヲ與ヘタル後ノ補助タルニ過ギナイ。コレ沈澱セル「タンニン」化合物モ全然不溶解性ニハナラナイデ、腸管中ニ於テ再ビ徐々ニ吸收セラレ得ルカラデアアル。

腸管中ニ於テ收斂作用ヲ發揮スル「タンニン」製劑ニ就テハ 270 頁參照。

【製劑】「タンニン」酸 Acidum tannicum, Galläpfelgerbsäure, Gallusgerbsäure, Tannin. 白色又ハ淡黄色ノ粉末デ、水、「アルコール」及ビ「グリセリン」ニハ容易ニ溶解シ、酸性反應ヲ呈シ且強キ收斂性ノ味ヲ有ス。外用ニハ、含嗽水又ハ吸入ニハ 2%, 尿道中ヘノ注入ニハ 1—2%, 腔内ニハ 5%, 注腸ニハ 1—2%, 洗腸ニハ 1/4—1/2%, 塗布又ハ罨法 Umschlag ニハ 5—20% 溶液ヲ用ユ。坐藥トシテハ 0,2—0,5 ヲ 2,0「カ、オ」脂 Ol. Cacao ニ混ジテ用ユ(156 及 285 頁參照)。「タンニン」酸「グリセリン」 Tanninglyzerin (30%) ハ時トシテ軟膏ノ成分トシテ用ヒラル。

處方例 「タンニン」酸 1,0  
蒸餾水 100,0

以上罨法料(眼)

沒食子酸 Acidum gallicum, Gallussäure  $C_6H_2(OH)_3COOH + H_2O$ , 阿仙藥 Cetechu, 五倍子 Gallae (五倍子丁幾 Tinctura Gallarum), 「ハマメリス」葉 Folia Hammamelidis 等ハ何レモ鞣酸ヲ含有ス。

## 2. 重金屬鹽類 Salze d. schweren Metalle.

### a. 亞鉛化合物 Zinkverbindungen.

【作用】局處的ニハ、亞鉛鹽類 Zinksalze ハ金屬ト化合セル酸ノ種類ニ從ヒテ收斂或ハ腐蝕作用ヲ呈ス。而シテ「クロール」亞鉛 Chlorzink ハ強キ腐蝕劑デアアル(後章參照)。

吸收後ノ作用ニ就テハ其ク知ラレテ居ナイ。

内服スレバ、恰モ濃厚ナル鹽酸ノ如ク、激甚ナル胃腸炎ヲ起ス。

【應用】酸化亞鉛 Zinkoxyd ハ乾燥作用及ビ弱キ消毒作用アル藥劑トシテ屢々濕性濕疹 nässende Ekzem, 濕リタル皮膚皸裂 feuchte Hautfalte

ニ於ケル剝離 Exkoration, 潰瘍 Ulzeration 等ニ用ヒラル。サレド強キ炎症ノ存スル場所ニハ、アマリニ強ク刺戟スルカラ用ヒラレナイ。

硫酸亞鉛 Zinksulfat ハ最も廣ク用ヒラル、收斂劑ニ屬スル。特ニ結膜炎 Konjunktivitis 及ビ麻疹ノ際ニ用ヒラル。弱キ溶液ノ作用ハ頗ル緩和デアアル。サレド結膜炎ノ際ニハ急性刺戟症狀ガ消退シテ後ニ用ヒル。

【用量】酸化亞鉛 Zincum oxydatum, Zinkoxyd, (亞鉛華 Flores Zinci), ZnO 水ニ不溶性ノ輕キ白色ノ粉末デアアル。

#### 處方例

1) 亞鉛華 Zinci oxydati } 等分 aa  
澱粉 Amyli oryzae }  
以上混和、爲撒布藥 Streupulver (亞澱散 Zincum Amylum)

2) 亞鉛華 Zinci oxydati } 等分 aa  
「オレフ」油 Ol. olivar. }  
以上混和(鎮炎性油劑) (亞鉛華油 Oleum Zinci)

3) 亞鉛華 Zinci oxydati }  
澱粉 Amyli oryzae } 各 500,0  
豚脂 Adipis suilli }  
安息香酸 Acid. benzoic. 7,5

以上混和(鎮炎性軟膏) (亞鉛華「バスタ」 Zinkpasta)

亞鉛華「バスタ」ニハ此外ニ、ウイルソン氏「バスタ」 Wilson'sche Pasta (亞鉛華 6,0 安息香酸 1,0 豚脂 30,0), ラッサル氏「バスタ」 Lassarsche Pasta (亞鉛華・澱粉各 25,0 米國製「ワゼリン」50,0) 等アルモ、上記 3) ノ處方ガ最も適當デアアル。尙亞鉛華「バスタ」ハスベテ「バスタ」ノ基礎ナルガ故ニ、皮膚科ニ於テハ最も重要ナル處方デアアル。而シテ其中ニ「イヒチオール」 Ichthyol (2—10%), 「ツメノール」 Tumenol (2—10%) 等各種ノ藥劑ヲ加ヘテ使用シ得。

硫酸亞鉛(皓筆) Zincum sulfuricum, Zinksulfat, Zinkvitriol,  $ZnSO_4 + 7H_2O$ . 溶解シ易キ白色結晶デアアル。外用トシテ結膜炎 Konjunktivitis ニハ 1/4—1/2%, 麻疹ニハ 1/4—1% 溶液ヲ用ユ。

處方例 硫酸亞鉛 0,03—0,05  
蒸餾水(或ハ 1%食鹽水) 10,0  
以上點眼 1 日 3 回 (結膜炎)

【急性亞鉛中毒ノ療法】 胃洗滌ヲ行ヒタル後、炭酸「アルカリ」、例ヘバ重炭酸「ナトリウム」ヲ與ヘテ不溶性ノ炭酸亞鉛 Zinkkarbonat ヲ沈澱セシムルカ、或ハ鞣酸 Gerbsäure (強キ「コーヒー」或ハ茶) ヲ與ヘテ金屬ヲ難溶性ノ「タンニン」化合物 Tannat ニ變ゼシム。後ニハ症候療法ヲ行フ。

### b. 鉛化合物 Bleiverbindungen.

【局所作用】 蛋白質ト不溶性ノ硬キ沈澱ヲ生ジ、固キ苔 Belag ヲ形成スルヲ以テ、其作用ハ表面ニ止マル。故ニ收斂性金屬ノ性質ヲ有ス。健康ナ皮膚ニ對シテハ其化合物ハ殆ンド何等ノ作用ヲモ呈シナイ。サレド溶液或ハ鉛含有硬膏 Pflaster 又ハ軟膏 Salbe ヲ長イ間用ヒテ其爲ニ皮膚ガ浸漬 mazerieren シ、粘膜ニ類似セルヤウニナレル場合ニハ、收斂性ヲ呈スル。又此要約ノ下ニテハ恐ラク吸收セラレ得。創面 Wundfläche ニ對シテハ無菌性ノ痂皮 aseptischer Schorf ヲ形成スル。之ハ空中ノ炭酸及ビ組織ノ「アルカリ」ニヨリテ炭酸鉛 Bleikarbonat ヲ沈澱セシムル事ニヨリテ一層硬クナル。

溶解セル鉛鹽ハ、初メハ甘味ヲ有シ(其爲ニ醋酸鹽 essigsäures Salz ハ鉛糖 Bleizucker ナル名ガアル)、次デ不快ナル收斂性ノ味ヲ有ス。稀薄ナル溶液ハ 粘膜 上ニ於テハ極メテ表面的ナ蛋白凝固 Eiweisskoagulation ヲ生ズ。其爲ニ分泌ハ制限セラレ、組織ハ貧血性トナリ、血管ハ凝血 Gerinnsel ニテ閉鎖サレル爲、小出血ハ止マル。薄キ壞死性痂皮 nekrotischer Schorf ハ強キ反應ヲ呈スル事ナシニ 又物質缺損 Substanzverlust ヲ起ス事ナシニ剝離セラレ得。

濃厚ナル溶液ヲ内用スレバ、急性胃及ビ腸刺戟ノ通常ノ症狀ヲ呈ス。即チ悪心・嘔吐・急性下痢ヲ起シテ血液性糞便ヲ排出シ、最モ重篤ナル虚脱症狀

Kollapssymptome ヲ呈ス。

【吸收及排出】 腸管ヨリハ徐々ニ吸收セラレ、サレド其吸收ハ他ノ多數ノ重金屬ヨリモ容易デアル。創面ヨリモ吸收セラレ、又其化合物ハ微細ナル塵埃 Staub ノ形チトナリテ吸入セラレ、肺ヨリ攝取セラレル。

既ニ吸收セラレル時ハ、頗ル長イ間體內ニ止マリ、殆ンドスベテノ器官中ニ沈着スル。而シテ大部分ハ肝臓、脾臓、腎臓及ビ腦中ニ沈着スル。

排出ハ徐々デアツテ、腎臓、腸上皮及ビ膽汁并ビニ唾液及ビ乳汁中ニ出ル。腸中ニ排出セラレタル金屬ハ、腸内容物ノ硫化「アルカリ」ノ爲ニ不溶性ノ硫化鉛 Schwefelblei ニ變ジ、糞便ト共ニ體外ニ排出セラレル。

【應用】 外用トシテ、鉛ヲ含有セル罨法 Umschläge (鉛水 Bleiwasser)、軟膏 Salbe 及ビ硬膏 Pflaster ハ皮膚剝離 Exkoration, 瘡瘍 Dekubitus, 分泌性潰瘍 sezernierende Ulzeration, 壞疽性創傷等ニ屢々用ヒラル。創面ハ乾燥シ、良キ肉芽組織 Granulation ノ形成ヲ助ケ、往々速カニ治癒セシメル。非出血性挫傷 unblutige Kontusion, 急性關節炎等ノ際ニモ鉛水罨法ヲ行ヘバ快ヨキ冷却作用ヲ呈スル。サレド深達作用ハ望マレナイ。

此他醋酸鉛 Bleiacetat ノ溶液ハ收斂劑 Adstringens トシテ粘膜ノ慢性炎症ノ際、例ヘバ痲疾 Gonorrhöe, 膺炎 Vaginitis 又ハ結膜炎 Konjunktivitis ノ際ニ用ヒラル。又酸化鉛 Bleioxyd (ヘブラ氏軟膏 Hebras Salbe) ハ、慢性濕疹 chronische Ekzema ノ治療ニ用ヒラル。

【中毒】 急性鉛中毒ハ極メテ稀デアル。コレ吸收ガ遅イ爲デアル。非常ニ大量、例ヘバ醋酸鉛 Bleiacetat 15—30g 或ハ鉛白 Bleiweiß ヲ嚥下シタ後ニハ通常胃腸炎ノ症狀ガ現ハレルノミデアル(死シ得)。有毒ナル鹽類ハ、吸收セラレル前ニ嘔吐及ビ下痢ニヨリテ排出セラレル。

之ヨリモ重要ナルハ絶エズ鉛製劑ト接觸スル者ニ見ラル、慢性鉛中毒デアル。之ハスベテノ慢性金屬中毒中最モ屢々見ラレル。而シテ之ハ多クハ鉛ノ入レル「オシロイ」ヲ用フル事ニヨリ、又ハ活字工、鑄造所職工等ニ見ラレル。慢性鉛中毒ハ、不規則ニシテ且間歇的ナル經過ヲ示ス。而シテ往々發作ト

シテ現ハレル。初メニ現ハレル症状ハ、全身状態違和、食慾減退、屢々便秘、作業力減退、羸瘦、貧血、無月經 Amenorrhoe ヲ見、又婦人ニテハ屢々流産ヲ起ス。診斷上重要ナルハ、此時期ニ必ズ現ハレル血液ノ變化 Blutveränderung デアル。即チ赤血球ハ鹽基性色素 basische Farbstoffe ヲ攝取スル顆粒ヲ含有スル(顆粒性赤血球 punktierte Erythrocyten)。尙早期症状ニ屬スルハ、所謂鉛毒齒齦縁 Bleisaum デアル。即チ金屬ガ口腔中ニ排出セラレル爲ニ、齒齦 Zahnfleisch ガ暗灰色 schiefergrau ニ着色スル。

此他見ラルハハ鉛毒疝痛 Bleikolik、鉛毒關節炎 Bleiarthralgie 鉛毒麻痺 Bleilähmung 及ビ各種ノ腦疾病(鉛毒性腦疾患 Encephalopathia saturnina) デアル。(簡明内科學下卷参照)。

【劑製】 醋酸鉛 Plumbum aceticum, Bleiacetat, (鉛糖 Bleizucker),  $Pb(CH_3COO)_2 + 3H_2O$  白色ノ結晶デ、水ニハ容易ニ溶解シ、收斂性ノ甘キ味ヲ有ス。尿道中ヘノ注入ニハ 1/4—1/2%, 腔内ニハ 1—4%, 又眼水ニハ 1/4—1% 溶液ヲ行フ。

處方例 醋酸鉛 0,1—0,5  
淨水 100,0

以上眼薬法料

次醋酸鉛液 Liquor Plumbi subacetici, Acetum saturninum, (鉛醋 Bleiessig), 酸化鉛 Bleioxid ノ醋酸鉛液 Bleiacetatlösung 中ニ於ケル溶液デアル。多クハ 40—60 倍稀薄液トナシテ薬法料 Umschlag トナス。

稀次醋酸鉛液 Liquor Plumbi subacetici dilutus (Aqua Goulardi), 鉛醋 2 部 及ビ水 98 部ヨリ成ル。挫傷 Kontusion, 及ビ皮膚損傷ヲ伴フカ又ハ伴ハナイ損傷ニ薬法トシテ外用セラレ、表面的收斂作用ガアル。

處方例 單鉛硬膏 Empflastr. Lithargyri 70,0  
黃蠟 Cerae flavae 10,0  
藥用石鹼末 Sapo medic. 5,0  
精製樟腦末 Camphora tritae 1,0  
「オレフ」油 Ol. oliv. 1,0  
「ザリチル」酸 Acid. salicylic. 9,0

(「ザリチル」酸ハ 50% マデ入ルハ得)

以上混和 (ピック氏硬膏 Picksches Pflaster,

「ザリチル」酸石鹼硬膏 Salicylseifenpflaster)

單鉛硬膏 Emplastrum Lithargyri, Emplastrum Plumbi, Bleipflaster. 落花生油 5 分、豚脂 5 分、酸化鉛細末 5 分ヲ以テ製ス(局法)。他ノ多數ノ硬膏ノ基礎トナル。

【鉛中毒ノ療法】 急性中毒ニアリテハ、胃洗滌ヲ行ヒ、漿液性飲料、牛乳、蛋白ヲ與ヘ且硫酸鹽(硫酸「ナトリウム」及ビ硫酸)ヲ與ヘテ不溶性ノ硫酸鉛 Bleisulfat ヲ形成セシム。

慢性中毒ニアリテハ、金屬ノ排出ヲ促シ(沃度加里、溫浴、鹽泉)、症候療法ヲ行フ。

### c. 蒼鉛化合物 Wismutpräparate.

【局所作用】 次硝酸蒼鉛ハ、創面 Wundfläche 又ハ粘膜ニ對シテ分泌ヲ制限シ且消毒作用ヲ呈ス。コレ其僅少部ハ分泌液中ニ溶解シ、一部ハ微細ナル粉末トシテ純器械的ニ收斂作用ヲ呈スルニヨル。

【全身症状】 注射スル場合ノ症状ニ就テハ特異消毒劑ノ部 350 頁参照、新鮮ニシテ肉芽組織ヲ有シナイ創面ヨリハ著シク吸收セラレルカラ、次硝酸蒼鉛ヲ大ナル創面ニ不注意ニ使用スル時ハ頗ル重篤ナル中毒ヲ起ス事ガアル。即チ症状トシテハ流唾 Salivation・齒ガ粗トナル事 Lockerwerden・及ビ潰瘍性口内炎 ulzeröse Stomatitis・下痢及ビ腎臟炎ヲ起ス。藥劑ヲ創面ヨリ除ク時ハ、通常豫後ハ良イガ、然シ死ノ經過ヲ取ル事モアル。

【應用】 次硝酸蒼鉛ハ時トシテ乾性消毒藥 trocknes Antiseptikum トシテ外用セラル。サレド往々吸收セラレテ中毒症状ヲ起ス事ガアルカラ、注意シテ使用シナケレバナラナイ。

近來多數ノ蒼鉛製劑ノ製出ヲ見ルニ至ツタ。其目的ハ蒼鉛ノ收斂作用ト各種「ベンゾール」誘導體 Benzolderivate ノ消毒作用トヲ共有セシムル爲デアル。就中外用藥トシテノ最モ重要ナル製劑ニハ、次ノ如キモノガアル。

「**デルマトール**」 Dermatol (次没食子酸蒼鉛 basisch gallussaures Wismut) ハ、創傷劑 Wundmittel トシテ、又皮膚病ニ用ヒラル。此モノハ乾燥セシムル力強く、刺戟性が少ナイ。サレド不純ナルカ或ハ分泌ノ強い創傷ニハ適シナイ。コレ創傷分泌物ト硬キ痂皮ヲ形成シ其下ニ濃汁 Eiter が集積スルカラデアル。

「**キセロフォルム**」 Xeroform (「トリブーム」石炭酸蒼鉛 Tribromphenolwismut) ハ、沃度「フォルム」ノ代用藥トシテ最モ賞用セラル。乾性創傷療法 trockne Wundbehandlung ニ用ヒラル。殆ンド無臭ニシテ且乾燥性ノ無毒ナル消毒藥デアアル。

【用量】「**デルマトール**」 Dermatol (次没食子酸蒼鉛) Bismutum subgallicum,  $C_6H_2(OH)_3COOBi(OH)_2$ 。硫黄ノ如キ黄色ヲ有シ、無臭ニシテ水ニ不溶性ノ粉末デアアル。外用ニハ其マ、或ハ澱粉或ハ滑石 Talk (1:4) ト混ジテ撒布藥 Streupulver トナシ、又ハ軟膏 Salbe (1:5) トナシ、或ハ「コロヂウム」 Kolloidium (1:10) トシテ用ヒラル。

處方例 「**デルマトール**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面)

「**キセロフォルム**」 Xeroform (「トリブーム」石炭酸蒼鉛 Bismutum tribromphenolicum,  $(C_6H_2Br_3O)_2BiOH + Bi_2O_3$ 。殆ンド無味無臭ノ粉末デアアル。撒布藥トシテ外用セラル。

處方例

1) 「**キセロフォルム**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面)

2) 「**キセロフォルム**」 0,2

米國製白色「ワゼリン」 } 各 5,0  
「ラノリン」 }

以上研和點眼(角膜潰瘍)

「**ノヴィフォルム**」 Noviformium, Tetrabrombrenzkatechinwismut, 黄色無臭ノ粉末デ、消毒性撒布藥トシテ外用セラル。

「**アイロール**」 Airol (Wismutoxyjodidgallat) 消毒性撒布藥トシテ用ヒラル。

處方例 「**アイロール**」

以上毛筆ヲ以テ撒布(眼ノ化膿セザル創面「パンヌス」)

#### d. 「アルミニウム」化合物 Aluminiumverbindungen.

「アルミニウム」ハ藥理學上重金屬ニ屬スル。大多數ノ可溶性「アルミニウム」鹽ハ蛋白ヲ沈澱セシメ、恰モ亞鉛鹽 Zinksalze ノ如クニ、收斂作用ヲ呈シ、且此モノヨリモ消毒性が強い。大量ノ明礬 Alaun ハ致死の胃腸炎ヲ起ス事アルモ、吸收後ノ作用ハ知ラレテ居ナイ。

現今「アルミニウム」ハ食器トシテ用ヒラル、モ、毫モ危険ハナイ。

【應用】「アルミニウム」ハ各種ノ金屬及ビ硫酸ト美麗ナル結晶性化合物、所謂明礬 Alaun ヲ形成スル。就中「カリウム」明礬 Kaliumalaun ガ最モ廣ク用ヒラル。此モノハ甘味ヲ有シ、著シク收斂作用ヲ呈ス。此モノヲ内服セシムレバ強キ刺戟作用ヲ有シ、其溶液ハ收斂性作用ヲ呈シ、各種粘膜炎「カタル」ニ用ヒラル。「アンギーナ」ニ際シ含嗽 Gurgeln トシテ用ヒラル、又白帶下 Fluor albus ノ際ニ洗滌料トナス。

加里明礬ヲ注意シツ、熱スル時ハ、結晶水 Kristallwasser ヲ失ヒ(強ク熱スレバ硫酸ヲモ失フ)、所謂枯礬 Alumen ustum, gebrannter Alaun ヲ得。結晶水ヲ失フ時ハ潮解性 hygroskopisch トナリ、局所作用ハ強メラル。

醋酸「アルミニウム」 Aluminiumacetat 此モノハ蛋白ヲ沈澱セス、收斂性ヲ有シナイ。サレド強キ消毒作用ヲ有スルヲ以テ、往々創傷療法 Wundbehandlung ニ用ヒラル。

【製劑】明礬 Alumen, Kalium-Aluminiumsulfat, Alaun,  $KAl(SO_4)_2 + 12H_2O$ 。無色ノ結晶性小片デ、10倍ノ水ニ徐々ニ溶解ス。「アンギーナ」ノ際ノ含嗽料トシテハ2%溶液ヲ用フ。往々鹽剝 Kal. chloric. ト併用ス(鹽剝 Kal. chloric. 10,0, 明礬 Alum. 6,0, 薄荷水 Aqu. Ment. pipert. 全量 ad 300,0)。微細ナル粉末トシテ喉頭中ニ吹入 einblasen シ、又5倍ノ滑石 Talk ト混ジ撒布藥トシテ用ヒラル。

## 處方例 明礬(結晶)

以上稜角ヲ去リテ平滑トナシ結膜面ヲ輕ク 2—3 回擦過シ  
直チニ水ニテ洗滌ス(豫メ「コカイン」ヲ點眼ス)

(慢性「トラホーム」)

枯礬 Alumen ustum, gebrannter Alaun.  $KAl(SO_4)_2$ . 白色ノ粉末ニシテ、通常ノ明礬ヨリモ收斂性が強イ。痲疾性陰炎 gonorrhoeische Vaginitis ニ「タンボン」トナス。

醋酸「アルミニウム」液 Liquor Aluminii acetici, Aluminiumacetatlösung, Burowsche Flüssigkeit (醋酸礬土液 essigsaurer Tonerdelösung) 約 8% 鹽基性醋酸鹽ヲ含有ス。5—10 倍ノ水ニテ稀釋シ、創傷性ヲ洗滌シ、創傷 Wunde 又ハ瘻痒性痔 juckende Hämorrhoid ノ洗滌又ハ電法ニ用ヒラル。

硫酸「アルミニウム」 Aluminium sulfuricum, Aluminiumsulfat,  $Al_2(SO_4)_3 + 18H_2O$ . 白色結晶性ノ水ニ溶解シ易キ小片デアル。強キ收斂作用ヲ有シ、明礬ト同様ニ用ヒラル。

「アルゾール」 Alsolum, Alsol (Aluminium acetico-tartaricum), 水・「アルコール」及ビ「エーテル」ニ溶解性ノ無色結晶デ甘味ヲ有ス。消毒薬又ハ含嗽薬トシテ 1/2—1% 溶液トシテ用ヒラル。

## III. 腐蝕劑 Caustica, Ätzmittel.

## 1. 苛性「アルカリ」 Ätzalkali.

固形苛性「アルカリ」 feste Ätzalkali ハスベテノ酸ヲ中和シ、蛋白ト可溶性ノ膠樣蛋白化物 gallertartige Albuminate ヲ形成シ、角化組織 verhorntes Gewebe ヲ溶解シ、脂肪ヲ鹼化スル。之ニ加フルニ水ニ對シテ強キ親和力 Affinität ヲ有ス。上記ノ性質ハ相集マリテ、水酸化加里 Kaliumhydroxyd 及ビ水酸化「ナトリウム」 Natriumhydroxyd ハ強力ナル腐蝕劑 Ätzmittel トナル。而シテ激甚ナル疼痛ノ下ニ組織ハ速カニ灰白或ハ褐色ノ粥狀物質ニ變ズル。物質ノマ、又ハ其濃厚溶液ニ對シテハ皮膚サヘモ侵サレル。作用スル領域内ニ乾性ノ固キ痂皮ヲ生ジナイカ

ラ、破壊ハ周圍ニ及ビ、二三日ノ後ニハ元ヨリモ 2—3 倍ノ物質缺損ヲ生ズル。空氣ニ遇フ場所ニテハ、半液狀組織ハ、二三日ノ經過中ニ乾燥シテ壞疽性ノ痂皮ヲ形成シ、2—3 週間ニ剥離シ、而シテ著シキ癢痕 Narbe ヲ形成シツ、治癒スル。

消化管ノ粘膜ハ、加里或ハ「ナトロン」鹼汁 Kali-oder Natronlauge ニヨリテ速カニ腐蝕セラル。最初ノ症狀トシテハ激甚ナル疼痛ヲ口腔内、食道ニ沿ヒ竝ビニ上腹部ニ感じ、且激甚ナル嘔吐ガ起ル。初メハ強「アルカリ」性ノ胃内容物ナルモ、後ニハ粘液様及ビ血液様物質ヲ排出ス。粘膜ハ種々ナル深サニ溶解シ膠様ニ膨脹シ、血液滲漏シテ爲ニ暗褐色ヲ呈ス。最モ激烈ナル場合ニハ穿孔性腹膜炎ノ症狀ノ下ニ直チニ死スル。然ラザル場合ニハ食道ニ長キ狭窄 Striktur ヲ殘ス。

【應用】水酸化「カリウム」 Kaliumhydroxyd ハ之ニ相當セル「ナトリウム」化合物ヨリモ作用強ク、時トシテ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ、傳染性創傷 infizierte Wunde (脾脫疽 Milzbrand, 狂犬病 Tollwut), 大ナル狼瘡結節 Lupusknoten, 皮膚ニ於ケル色素沈着 Pigmentablagerungen, 空洞性皮膚腫瘍 kavernöse Hautgeschwüre 等ノ際ニ用ヒラル。物質缺損ハ二三日ノ中ニ其大サヲ増スカラ、顔面、關節、大ナル血管或ハ神經幹ノ附近ニハ用ヒナイガヨイ。限局セル作用ヲ望ム場合ニハ、煨製石灰 gebrannter Kalk ヲ加ヘル。然ル時ハ腐蝕痂ハ乾燥シ且固クナル。

苛性「カリ」ノ濃厚溶液ハ、狼瘡 Lupus, 頑固ナル濕疹 hartnäckige Ekzema 又ハ上皮形成(鶏眼 Hühneraugen) ヲ溶解スル爲ニ塗布 pinseln セラル。

【製劑】苛性「カリ」 Kali causticum, Ätzkali, (水酸化加里 Kaliumhydroxyd), KOH. 白色ノ小片或ハ棒狀體デ、空中ニテハ好シク炭酸及ビ水ヲトリテ潮解ス。腐蝕劑 Ätzmittel トシテハ物質ノマ、或ハ同量乃至 2—3 倍ノ水ト混ジテ濃厚溶液トシテ用ヒル。狼瘡 Lupus, 頑固ナル濕疹又ハ上皮肥厚ノ際ニ、皮膚ニ塗擦 einreiben スルニハ、10—20% 溶液ヲ用ヒル。周圍ノ皮膚ハ中央ニ穴ヲ開ケタ絆創膏 Heftpflaster ニテ保護スルガヨイ。ウェーシナ腐蝕

「バスタ」Pasta caustica Viennensis, Wiener Ätzpasta ハ同量ノ煨製石灰 Ätzkalk 及ビ苛性加里 Ätzkali ヨリ成ル。之ニ 2—3 滴ノ「アルコール」ヲ加ヘテ攪拌シテ濃厚ナル泥狀トナシ、布片ニ塗布シテ 10—30 分間腐蝕ス可キ部分ニ貼用ス。

「カリ」瀉液 Liquor Kali caustici, Kalilauge, 約 15% KOH ヲ含有ス。

## 2. 強酸類 Starke Säuren

スベテ濃厚ナル酸ハ好シク水分ヲ牽引シ、蛋白ヲ沈澱セシム。從ツテ強力ナル腐蝕劑トシテ激甚ナル疼痛ノ下ニ生活組織ヲ破壊シ、深キ物質缺損ヲ殘ス。其作用ハ濕潤セル粘膜ニ對シテハ特ニ強イ。酸ノ爲ニ腐蝕セル粘膜ハ、最初ハ白色デ、其表面ハ乾燥性ノ煮沸シタルカ或ハ鞣皮様ノ外觀 gegerbtes Aussehen ヲ呈ス（「アルカリ」ニヨル腐蝕ニアリテハ粘膜ハ膠様ニ膨脹シ、平滑ニシテ暗色ヲ呈ス）。後ニハ血液ノ滲漏及ビ血色素ノ破壊ニヨリテ、其色ハ褐色或ハ黒色ニ移行スル。

稀薄ナル硝酸 Salpetersäure ハ蛋白ヲ沈澱セシムルモ、濃厚ナル酸ハ蛋白ヲ溶解シテ「キサントゲン」酸 Xanthogensäure ヲ生ジ、其爲ニ腐蝕痴ハ黄色ヲ呈ス（中毒ノ診斷上参考トナル）。

乳酸 Milchsäure ハ、特ニ抵抗力ノ少ナイ病的組織ヲ腐蝕スル作用ヲ有シ、周圍ノ健康組織ニ對シテハアマリ作用シナイ。腐蝕ニ際シテハ長イ間疼痛ヲ伴フ。

【應用】 濃硝酸或ハ發煙硝酸並ビニ氷醋酸 Eisessig ハ傳染セル創傷 infizierte Wunde, 毛細管擴張 Teleangiectasie, 色素斑 Pigmentflecke 及ビ小ナル上皮新生物 epitheliale Neubildungen, 例ハ疣 Warzen 又ハ鶏眼 Hühneraugen ヲ腐蝕スル爲ニ用ヒラル。

現今ハ「トリクロール」醋酸 Trichloressigsäure ガ推奨セラル。此モノハ強キ腐蝕作用ヲ有シ、然カモ其作用ヲ一定ノ領域内ニ止メ得ベク、且

疼痛ハ短時間續クノミデアル。

乳酸 Milchsäure ハ狼瘡 Lupus ノ際ニ試ミラレ、又喉頭中ノ結核性潰瘍ニ塗布スル爲ニ用ヒラル。

醋酸 Essigsäure ハ汗分泌ヲ制限シ、且揮發スル爲ニ寒冷ヲ覺ユルガ故ニ、發熱ニ際シ之ヲ皮膚ニ用フル時ハ爽快ヲ覺ヘル。

【製劑】 硝酸 Acidum nitricum, Salpetersäure. 無色ノ液體デ、約 25% HNO<sub>3</sub> ヲ含有ス。腐蝕劑トシテ外用セラル。

發煙硝酸 Acidum nitricum fumans, Acidum nitricum nitrosum, rauchende Salpetersäure, 黄色或ハ赤褐色ノ液體デ、空中ニテハ赤褐色ノ刺スガ如キ蒸氣 (Stickstoffdioxyd) ヲ生ズ。腐蝕劑トシテ外用セラル。

醋酸 Acidum aceticum, Essigsäure. 寒冷ニ於テハ結晶スル液體デ、約 96% C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O<sub>2</sub> ヲ含有ス。腐蝕ノ目的ニ外用セラル。

「トリクロール」醋酸 Acidum trichloroaceticum, Trichloressigsäure, CCl<sub>3</sub>COOH. 白色ノ潮解性結晶デ、弱キ酸臭ヲ有シ、水ニハ溶解スル。物質ノマヽ腐蝕劑トシテ贅肉 Kondylome, 乳嘴腫 Papillome 又ハ鶏眼 Hühneraugen ニ對シテ用ヒラル。1% 溶液ハ鼻炎 Rhinitis, 鼻鼻症 Ozaena, 扁桃腺肥大 Tonsillenhypertrophie, 「アンギーナ」ノ際塗布セラル。

乳酸 Acidum lacticum, Milchsäure. 無色或ハ黄色ノ濃厚ナル液體デ強酸臭ヲ有シ、75% C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O<sub>3</sub> ヲ含有ス。喉頭結核ニ塗布スルニハ 20% 溶液ヨリ初メ、漸次ニ純粹ナ酸ヲ用ユ。強キ疼痛ニ對シテハ「コカイン」ヲ用ヒテ緩解ス。

處方例 乳酸 } 各 5,0  
蒸餾水 }

以上結膜面ニ塗布後直チニ水ヲ以テ洗滌ス(結膜結核)

## 3. 重金屬鹽 Salze d. schweren Metalle

### a. 硝酸銀 Silbernitrat

硝酸銀ハ表面的ノ腐蝕ヲ起ス。故ニ硝酸銀其モノハ腐蝕劑 Ätzmittel トシテ小ナル上皮新生 (疣 Warzen) 又ハ不潔ナル潰瘍等ニ對シテ用ヒラル。

此他銀化合物ニ就テハ消毒劑ノ部 401 頁參照。

【製劑】 硝酸銀加硝石 Argentum nitricum cum Kalio nitrico, Lapis mitigatus, AgNO<sub>3</sub> 1 部及ビ KNO<sub>3</sub> 2 部ヨリ成レル細キ棒デ、腐蝕劑トシテ外用ス。

### b. 「クロール」亞鉛 Chlorzink

此モノハ強キ腐蝕劑デア。其作用ハ金屬又ハ酸ニヨルヨリモ、寧ロ鹽其モノガ水ニ對シテ大ナル親和力 Affinität ヲ有スルニ歸セラル。濕潤セル組織上ニテハ潮解シ、溶解シテ深部ニ及ビ以テ腐蝕作用ヲ呈シ、激甚ナル疼痛ヲ伴フ。深部ニ及ベル淡灰白色ノ腐蝕痂ハ、1—2 週後ニ剝離シテ、肉芽組織ヨリ成レル創面ガ現ハレル。

「クロール」亞鉛ハ物質ノマ、**「バスタ」**(泥膏) Pasta, 又ハ腐蝕桿 Ätzstifte トシテ傳染性創瘍、**「コンヂローム」** syphilitische Kondylome, 狼瘡 Lupus, 腺腫瘍 Drüsengeschwülste 並ビニ惡性新生物例ヘバ乳癌 Mammakarzinom ノ際ニ用ヒラル。濃厚ナル溶液ハ、壞疽性 gangränös ニシテ且惡臭アル創傷ニ對シ、防臭性 desodorierend ニ作用スル。

【用量】 「クロール」亞鉛 Zincum chloratum, Chlorzink, Zinkchlorid, ZnCl<sub>2</sub>. 白色ノ棒狀體或ハ白色ノ粉末デア。好シデ水ヲ引キ、空中ニテ潮解ス。外用ニハ腐蝕「バスタ」トシテ、或ハ 1—5 部ノ硝石ト融合シ腐蝕桿 Ätzstift トシテ用ヒラル。創傷 Wunde 及ビ子宮頸部 Cervix uteri ノ増殖 Vegetation ヲ腐蝕スル爲又ハ子宮内腐蝕 intrauterine Ätzung ニハ 50%, 消毒的洗滌ニハ 8—10%, 創傷ノ縛帶ニハ 0.5%, 淋疾性陰炎 gonorrhoeische Vaginitis 及ビ子宮内膜炎 Endometritis ニハ 1% 溶液ヲ用フ。

### c. 銅化合物 Kupferverbindungen

【作用】 局所作用ニ就テハ、銅ハ腐蝕性金屬 ätzende Metalle ト收斂性金屬 adstringierende M. トノ中間ニ位スルモ、寧ロ前者ニ近イ。

強濃度ニ於テハ胃腸粘膜ヲ腐蝕スル。サレド其大量ヲ與フル時ハ反射的ニ

嘔吐ヲ起シテ再ビ速カニ排出セラレルカラ、害ヲ及ボサナイ。銅鹽ハ他ノ吐劑ト異ナリテ、惡心及ビ分泌亢進ヲ伴ヘル不快ナル前驅期 Vorstadium ガアマリ著明デナイカラ、此點ハ利益デア。サレド他ノ吐劑ノ如ク、少量デハ嘔吐ヲ起サナイ (245 頁參照)。

【吸收及排出】 銅ハ創面ヨリハ容易ニ吸收セラレ、腸ヨリハ難吸收性ナルモ、然シ證明シ得可キ量ニ於テ吸收セラレ、主トシテ肝臟中ニ蓄積セラレ。排出ハ速カデ、主トシテ膽汁中ニ排出セラレ、少部分ハ尿・唾液及ビ乳汁中ニ出ル。

【中毒】 時トシテ見ラル、急性銅中毒 akute Kupfervergiftung ハ、多クハ酸性ノ食物、例ヘバ果物等ヲ銅釜ニテ煮沸セシ場合ニ見ラレル。通常ハ粘膜刺戟ノ症狀(青綠色ノモノヲ吐出シ、腹痛、「テネスムス」又ハ激甚ナル下痢ヲ起スニ止マルモ、昏暈・痙攣及ビ黃疸ヲ起シ、心臓及ビ呼吸麻痺ノ爲ニ死スル事ガアル。

慢性銅中毒ノ存在ハ未ダ確實デナイ。

蛋白ニテ沈澱シナイ可溶性鹽ヲ動物ノ血液又ハ皮下ニ注射スル時ハ、非常ニ有毒デ、上行性脊髄麻痺ヲ起シテ遂ニ死スル。

【應用】 外用トシテハ、硫酸銅其ノモノハ表面的ノ強キ腐蝕劑トシテ、「トラホーム」性結膜炎 trachomatöse Konjunktivitis ノ際ニ肉芽組織 Granulation ヲ破壊スルニ用ヒラル。此際銅ハ蛋白ト結合シテ固キ蛋白質化合物 Albuminat ヲ生ジ、游離セル硫酸モ亦腐蝕作用ニ與ル。通常ノ結膜炎ニアリテハ稀薄溶液ヲ用ユ。

【用量】 硫酸銅 Cuprum sulfuricum, Kupfersulfat, Kupfervitriol, CuSO<sub>4</sub> + 5H<sub>2</sub>O. 容易ニ水ニ溶解スル大ナル青色ノ結晶デア。「トラホーム」ノ際ニ腐蝕スル爲ニハ尖レル結晶ヲ用ヒ、又結膜炎ニアリテハ 1/4% ノ溶液ヲ用ユ。

處方例

#### 1) 硫酸銅結晶

以上濕シタル砥石ヲ以テ磨キ、稜角ヲ去リテ平滑ニシ、結膜面ヲ輕ク 2—3 回擦過シ、直チニ水ヲ以テ洗滌シ且局所



ヲ冷ヤスヲ可トス (慢性「トラホーム」)

2) 硫酸銅	0,01—0,1
食 鹽	0,1
茴香水	2,0
蒸餾水	8,0

以上 1 日 3 回點眼料 (慢性「トラホーム」)

銅礬 Cuprum aluminatum (神效石 Lapis ophthalmicus, Lapis divinus) 硫酸銅, 硝酸「カリウム」, 明礬及ビ少許ノ樟腦末ヨリ成リ, 緩和ナル腐蝕劑デア  
ル。

可溶性枸橼酸銅 Cuprum citricum soluble. 綠色ノ粉末デ, 水ニ容易ニ溶解  
ス。無刺戟性銅製劑トシテ慢性「トラホーム」ニ賞用セラル。

處方例	可溶性枸橼酸銅	0,05—2,0
	蒸餾水	10,0

以上點眼料 1 日 3 回 (慢性「トラホーム」)

【急性銅中毒ノ療法】 自然ニ嘔吐ヲ催スモ, 然シ胃洗滌ヲ行フ。化學的解  
毒劑ハ, 黃色血鹵鹽ノ稀薄溶液 (不溶解性ノ Cupriferrrocyanür ヲ生ズル) 及ビ  
鐵粉 Ferrum pulveratum (酸ヲトリテ金屬性銅ヲ沈澱セシム) デアル。其後  
胃腸炎ニ對シテハ粘滑劑, 持續的嘔吐・疼痛及ビ下痢ニハ阿片劑ヲ與フ。

## d. 「クロム」酸 Acidum chromicum

「クロム」Chrom ハ重金屬 schweres Metall ノ一ツデ, 化學的ニハ一面ニハ  
鐵, 一面ニハ「アルミニウム」ニ近似ス。其化合物中, 醫藥ニ供セラルハ「ク  
ロム」酸 Chromsäure, Chromsäureanhydrid, Chromtrioxyd デアル。

「クロム」酸ハ著シク潮解性 hygroskopisch デ, 好シク濕潤セル組織ヨ  
リ水分ヲ牽引シ, 且同時ニ綠色ノ酸化「クロム」Chromoxyd ヲ生ジ, 既  
ニ通常ノ溫度ニテ有機物ニ對シテ強キ酸化作用ヲ呈スル。

物質ノマ、或ハ其濃厚溶液ハ徐々ニ深キ腐蝕作用ヲ呈シ, 乾性ノ腐蝕  
痂 Ättschorf ヲ殘シ, 6—8 日ノ後ニ剝離セラル。

創傷 Wunde ヨリハ容易ニ吸收セラレテ特有ナ中毒ヲ起ス。其症狀ハ, 嘔

吐及ビ下痢ヲ起シ, 黃色或ハ綠色ニシテ後ニハ血液性ノ胃腸内容物ヲ排出  
スル。

【應用】 物質ノマ、或ハ濃厚溶液ハ尖形及扁平「コンヂローム」 spitze  
und breite Kondylom 又ハ侵蝕性潰瘍 phagadänische Geschwüre ノ際ニ  
用ヒラル。稀薄ナル溶液ハ, 微毒性潰瘍・又ハ鼻及ビ咽頭中ニ於ケル粘  
膜肥大ニ用ヒラル。此他足汗 Fusschweiss ニ對シ注意シツ、之ヲ塗布  
スル時ハ有效デアル。

【製劑】 「クロム」酸 Acidum chromicum, Chromsäureanhydrid, Chromtri-  
oxyd, CrO<sub>3</sub>. 暗赤色ノ金屬樣光澤アル稜形體デ, 空中ニテハ潮解ス。腐蝕劑  
トシテ外用セラル。ソレニハ一本ノ硝子棒ニテ二三ノ結晶又ハ少許ノ濃厚溶  
液ヲ該部ニ作用セシム。潰瘍又ハ粘膜ニ塗布スルニハ 5—10% 溶液ヲ用フ。  
足汗ニハ一週一回 (全體トシテ三回) 足ニ 5% 溶液ヲ塗布ス (豫メ足浴ヲ行  
ヒテ皮膚ヲ乾燥セシム)。

## IV. 皮膚刺戟劑 Hautreizende Mittel

## 一般的事項

皮膚ノ刺戟及ビ炎症ヲ起ス藥物ヲ云フ。之ハ皮膚刺戟ヲシテ, 深部ニ  
存スル器官ノ疾病, 或ハ稀ニ皮膚其モノ、疾患ニ對シテ作用セシムル爲  
ニ應用セラル。之ニ局所作用 lokale Wirkungen ト Fernwirkungen トヲ  
區別シ得。

局所作用 lokale Wirkungen ハ頗ル種々デ, 輕度ノ充血ヨリ深キ化膿  
性炎症ニ至ル迄種々ナル時期ヲ區別シ得。其作用ハ種々ナル條件, 即チ  
藥劑ノ化學的性質, 濃度, 作用セシムル時期, 皮膚ノ感受性 Empfindli-  
chkeit ノ大小ニ關スル。又作用ノ現ハレル速サハ, 主トシテ藥劑ノ揮發  
性 Flüchtigkeit ニ關スル。而シテ若シ其蒸氣ガ容易ニ皮膚内ニ浸入スル  
場合ニハ症狀ハ殆ンド瞬間的ニ現ハレ得。サレド或ル物質ハ揮發性デア

ツテモ長キ潜伏期 Inkubationszeit ノ後ニ初メテ現ハレル。

正規ノ作用ハ、次ノ如クニ現ハレル：即チ皮膚ハ最初強ク潮紅シ、溫熱、刺衝 Stechen 及ビ搔痒 Jucken ノ感ヲ起シ、稀ニハ同時ニ激甚ナル灼熱性疼痛 brennende Schmerzen ヲ感ズル。其激シサハ、多クハ作用ノ速サニ平行スル。即チ非常ニ速カニ作用スル揮發性物質ハ數分後ニ殆ンド堪ヘ難キ灼熱 Brennen ノ感ヲ起スモ、之ニ反シテ徐々ニ作用スル藥劑ヲ作用セシムル時ハ深キ炎症ヲ起シ、然カモ著シキ疼痛ヲ伴ハナイ。血管擴張 Gefässerweiterung ハ初メハ乳頭 Papillen 中ニ存スル最モ表面的ナ毛細管ニ見ラル、モ、後ニハ皮膚ノ深部及ビ皮下組織中ニ存スル動脈ニモ見ラレル。之ハ知覺神經 sensible Nerven ニヨリテ媒介セラル、反射 Reflex ニヨルカ或ハ直接血管壁ヲ刺戟スル爲デアル（此時期ヲ誘起スル爲ニ用ヒラル、藥劑ヲ引赤劑 Rubefacientia ト云フ）。

今刺戟ヲ與フル物質ヲ除去スル時ハ、充血ハ直チニ消失シ、皮膚ハ正常ノ状態ニ復歸シ、而シテ只疼痛ガ二三時間尙持續スルノミデアル。

然レドモ若シ引キ續キテ藥劑ヲ作用セシムル時ハ、血清 Serum ガ滲出シ初メ、乳頭層 Papillarschicht ト上皮 Epidermis トノ間ニ集合シ、爲ニ上皮ハ隆起スル。而シテ水様透明ナル内容物ヲ充タセル小泡 Bläschen ヲ生ジ、漸次ニ癒合シテ大ナル泡トナル。而シテ之ハ皮膚刺戟劑ヲ作用セシメタル全領域ヲ占ム。若シ大ナル水泡ガ暫時存在スル場合ニハ、内容ハ最早透明ニ止マラズ、白血球ガ游出シテ其爲ニ濁濁スルニ至ル。而シテ此時期ニ於テ多クハ作用ガ止ム。斯ク水泡ノ生ズル迄作用セシムル藥劑ヲ發疱劑 Vesicantia ト云フ。

此際上皮ヲ破リテ液體ヲ排出セシムル時ハ、擴大セル上皮ハ皺裂ヲ生ジ、其下ニ速カニ上皮ヲ新生ス。而シテ癩痕 Narbe ヲ生ズル事ナシニ治癒スル。サレド其所ニハ褐色ノ色素斑ヲ胎ス。

發疱膏 Zugpflaster ヲ引キ續キ尙作用セシムル時ハ、水泡ハ漸次ニ黃色ヲ帶ビ、遂ニハ純粹ナル膿 Eiter ニ變ズル。

遠達作用 Fernwirkungen. スベテ皮膚ノ表面ニ與ヘタル刺戟ハ、中樞神經系ニ傳達セラレ、之ガ爲ニ血管ノ充滿度 Gefässfüllung、心臟動作及ビ呼吸ニ變化ヲ來ス。而シテ其度ハ刺戟ノ強サニヨリテ異ナル。

循環 Zirkulation ニ關シテハ、弱キ皮膚刺戟ハ血管特ニ皮膚血管（刺戟部ノミデハナイ）ノ狹小 Gefässverengerung・血壓上昇・心臟動作ノ加速及ビ體內ニ於ケル溫度ノ上昇ヲ來ス。強キ皮膚刺戟ニアリテハ、初メ狹小シタル後、直チニ血管擴張・血壓下降及ビ表面ニアル血管中ニ於ケル血液ガ冷却スル爲ニ體溫ノ下降ヲ來ス。サレド臨床上ニ於テ用ヒラルル皮膚刺戟ニヨリテハ體溫及ビ血壓ニハ著シイ變化ハ認メラレナイ。

呼吸 Respiration. 急激ニ強キ刺戟ヲ大ナル皮膚ノ表面ニアテル時（冷水灌溉 kalte Dusche）ハ瞬間的呼吸停止ヲ來ス。サレド弱キ刺戟又ハ中等強度ノ刺戟ハ既ニ減弱セル呼吸ニ對シテ興奮性ニ作用シ吸氣運動 Inspirationsbewegung ヲ誘起セシム。故ニ從前ヨリ、例ヘバ假死ノ状態ニアル溺死者 scheintote Ertrunkener 又ハ假死ノ初生兒 asphyktische Neugeborener ノ治療ニ應用セラル。虚脱状態 Kollapszustände ニ際シテ強キ皮膚刺戟ヲ應用スルハ、大脳ニ作用ヲ及ボシテ意識ヲ恢復セシムル爲デアル。

新陳代謝 Stoffwechsel. 全身ノ皮膚ノ表面ヲ刺戟スル時ハ（例ヘバ鹽類ヲ含有セル浴ニヨリテ）、新陳代謝ハ亢進スル。

炎症 Entzündung ニ對スル作用ハ頗ル重要デアル。皮膚刺戟劑ガ、附近ニ存スル炎症ノ治癒ヲ促進スル事ハ實驗的ニ證明セラレタ所デアル。此際治癒或ハ恢復ヲ見ル原因ハ、浮腫 Ödem ガ起リ且血液循環ガ盛ニナル爲ニ、有害ナ物質ガ稀釋セラレテ、吸收ガ容易トナリ、且病的組織

中ニ大量ノ「アレキシン」ヲ見ルニヨル(ビール氏ノ鬱血療法 Hyperämiebehandlung nach Bier),

此他皮膚ノ刺戟或ハ炎症ハ、往々深部或ハ遠隔セル部分ニ存スル器官ノ炎症ニ對シテモ作用ヲ及ボシ、之ヲ減退セシメ且疼痛ヲ消失セシメラシイ。之ハ恐ラク反射作用 Reflexphänomen ニ歸セラル。

【應用】 最モ屢々皮膚刺戟劑ニテ治療セラル、疾病ハ、漿液膜 seröse Häute ノ炎症、例ヘバ心囊炎 Pericarditis、腦膜炎 Meningitis、及ビ特ニ肋膜炎 Pleuritis デアル。乾性肋膜炎ノ際ニハ、疼痛ヲ輕減シ且鎮炎ノ目的ニ用ヒラレ、漿液性肋膜炎ニアリテハ滲出液 Exsudate ノ吸收ヲ促進スル爲デアル。

「コンゴール」溶液 Kongolösung ヲ家兎ノ胸腔ニ入レテ其吸收ヲ檢スルニ、皮膚刺戟ニヨリテ著シク強盛トナルヲ見ル。

粘膜ノ炎症ニ際シ收斂性又ハ強キ皮膚刺戟ヲ與フル藥劑ヲ使用スルニハ、通常規則トシテ、最モ急性ナル初メノ時期、即チ炎症ガ最モ強烈デ發熱ガ其最高點ニアル時期ニハ之ヲ應用シテハナラス。

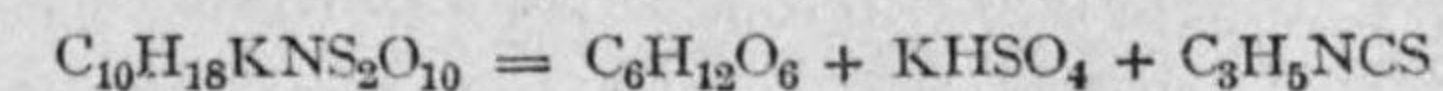
皮膚刺戟劑ハ肺疾患、殊ニ氣管枝炎 Bronchitis ノ際、特ニ呼吸困難 Dyspnoe ガ存スル際、此他慢性浸潤(結核ノ際ニハ用ヒナイ)及ビ肺水腫 Lungenödem ノ際ニモ用ヒラル。

此他皮膚刺戟劑ノ重要ナル適應症ハ疼痛 Schmerzen デアル。之ハ急性神經炎 akute Neuritis ノ際ニ最モヨク作用スルモ、多クノ他ノ場合ニモ作用スル。神經性胃痛 Kardialgie 又ハ嘔吐モ往々止ム。

皮膚ノ榮養ノ不良ナル場合、例ヘバ衰弱者、高齢者又ハ糖尿病患者ニハ創傷ヲ起ス危險ガアルカラ、規則トシテ之ヲ用ヒナイガヨイ。特ニ「カンタリヂン」Cantharidin ハ斯ル場合ニハ治療シ難キ潰瘍 Ulzeration ヲ起シ易イ。此他小兒ニハ最モ緩和ナル作用ヲ呈スル藥劑ヲ用ヒル。

## 1. 芥子 Senf

芥子 Semen Sinapis 中ニハ「ジニグリン」Sinigrin (「ミロン」酸「カリウム」myronsaures Kalium) ナル「グリコジッド」ト、「ミロジン」Myrosin ナル酵素トヲ含ム。而シテ「グリコジッド」ハ水ノ存在ニ於テ酵素ノ爲ニ糖 Zucker, 酸性硫酸加里 saures Kaliumsulfat 及ビ「エーテル」性芥子油 ätherisches Senföl, Isosulfocyanallyl,  $C_3H_5NCS$  ニ分解シ、芥子油ガ作用ヲ呈スルノデアル:



「グリコジッド」其モノハ刺戟作用ヲ呈シナイ。

「エーテル」性芥子油ハスベテノ皮膚刺戟劑中最モ速カニ作用スル。此モノハ殆ンド瞬間的ニ潮紅及ビ刺スガ如キ疼痛ヲ起シ、其後直チニ強キ充血ヲ起シ、且恰モ融解セル金屬ヲ皮膚ノ上ニ當テタルガ如キ強烈ナル灼熱ノ感ヲ起ス。故ニ芥子硬膏 Senfpflaster ハ一度ニ大ナル皮膚ノ領域ニ用ヒテハナラス(コレ疼痛ガ堪ヘ難イ故デアル)。且アマリ長イ間之ヲ用ヒル事ヲ禁ズル。

作用ハ同時ニ深部ニモ及ブ。揮發シ易キ「エーテル」性油ハ速カニ皮膚ノ深層ニ及ビ、其所ニモ炎症ヲ起ス。斯クシテ初メハ水泡ヲ形成シ、此モノハ往々化膿性ニシテ治療シ難キ潰瘍ヲ貽ス。

【應用】 芥子紙 Senfpapier ハ現今ハ誘導劑 Derivans トシテ、頭部充血・頑固ナル胃痛・嘔吐等ニ用ヒラレ、又氣管枝炎ニモ用ヒラル、足ニ芥子ヲ含有セル溫浴ヲトラシムル事ハ緩和ナル誘導 Ableitung ノ目的ニ應用セラル。

芥子末 Senf ハ芥子ノ種子ヲ粉末トナシ壓搾シテ脂肪性油 fette Öle ヲ除去シタルモノデアル。香料 Gewürze トシテ廣ク用ヒラル。

【製劑及用法】 芥子 Semen Sinapis. 本邦ニ産スル「からしな」Sinapis cernua, 又ハ歐州ノ黒芥子 Sinapis nigra (Cruciferae) ノ種子デ、約帽針頭大、黃褐色又ハ黒褐色ヲ呈ス。

芥子泥 Senfteig トシテ用ヒラル。即チ芥子泥ヲ製スルニハ、新ラシキ芥子

末ニ少量ノ微温湯ヲ注ギ、搔キ交ゼテ固キ泥トナシ、綿布・綿紗・脱脂紋巴或ハ日本紙ニ厚サ一分位ニ延ベ、其面ヲ日本紙又ハ綿紗ニテ被フ。熱湯(60°以上)ナレバ酵素ノ作用ヲ失フ。芥子泥ハ強キ疼痛ヲ覺ユルマデ貼シ置クガヨイ。強キ疼痛ヲ覺ユルハ體ノ部位ニ從ヒ遲速アルモ、大抵10分乃至15分間デアル。芥子泥ヲ剥ギタル後ニハ其所ヲ微温湯ニテ洗フ。若シ芥子泥ノ刺戟ガ強クテ水泡ヲ生ズル時ハ、少量ノ「オレフ」油或ハ硼酸軟膏ヲ塗り、綿帶スル。又疼痛激シキ時ハ硼酸水ニテ濡シタル綿紗ニテ被フガヨイ。

足浴 Fußbad ニハ芥子約100gヲ用フ。

芥子紙 Charta sinapisata, Senfpapier. 芥子末ヲ紙片ニ塗りタルモノデアル。微温湯ニテ濡シテ之ヲ皮膚ニ貼シ約15分ノ後ニ除去ス。

## 2. 「テレピン」油 Terpentinöl

「テレピン」Terpentin ハ多數ノ松 Pinus 屬植物ノ幹ノ損傷ヨリ流出セル粘稠ナル「バルサム」Balsame デ、其蒸餾ニヨリテ得タル物 Destillat ハ「テレピン」油 Terpentinöl デアル。

【作用】健全ナル皮膚ニ短時間(1/2—1時間)用フル時ハ潮紅 Rötung 及ビ強キ灼熱 Brennen ノ感ヲ起シ、長ク作用セシムレバ水泡 Blasen ヲ形成スル。

【應用】スベテ皮膚刺戟ノ適應症ニ對シテ用ヒラル。即チ神經痛又ハ「ロイマチス」性疼痛(「テレピン」巻法 Terpentinumschläge)ニ其儘用ヒラレ、又ハ油ト混ジテ皮膚刺戟性硬膏 Pflaster, 軟膏 Salbe 又ハ擦劑 Linimente ノ成分トシテ用ヒラル。

「テレピン」油ノ吸入及ビ内用ニ就テハ191頁參照。

古キ「テレピン」油ハ急性燐中毒ニ對シテ用ヒラル。コレ尙胃中ニ存スル燐ヲ酸化シテ無毒ナル亞燐酸 phosphorige Säure 及ビ他ノ酸化化合物トナス爲デアル。蓋シ古キ「テレピン」油ハ酸素ヲ攝取シ過酸化物 Superoxyde ヲ形成スルカラ、強力ナル酸化劑 Oxydationsmittel デアル。反之新鮮ナル「テレピン」油ハ燐ヲ溶解シ吸収ヲ促進セシメルカラ、却ツテ有害デアル(300頁參照)。

【用量】「テレピン」油 Oleum Terebinthinae: 外用 äußerlich ニハ擦劑 Einreibungen 又ハ巻法 Umschlag ニ用ヒラル。即チ布片ヲ熱湯ニテシボリ、「テレピン」油ニテ濡ス。3/4—1時間後ニ水泡ヲ形成シタラバ綿帶ヲ除去スル。長ク施ス場合ニハ同量ノ脂肪油 fettes Öl ヲ加ヘテ用フ。

## 3. 「カンタリス」 Cantharides

「カンタリス」Cantharides ハ、本邦ニ存スル豆斑猫(「まめはんめう」) Epicauta Gorhami (又ハ歐洲ノ芫菁 Lytta vesicatoria) ナル昆蟲ヲ乾燥セルモノデアル。有效成分ハ其中ニ含有セル、一種ノ無水酸 C<sub>10</sub>H<sub>12</sub>O<sub>4</sub> ニシテ、「カンタリヂン」Cantharidin ト稱セル、白色結晶性ノ物質デアル。

【作用】「カンタリヂン」ハ非常ニ強イ作用ヲ呈スル物質デアル。1/10mgヲ油中ニ溶解セルモノハ水泡ヲ形成スル。サレド皮膚ノ炎症ハ徐々デ、疼痛ハ中等度デアル。「カンタリヂン」ハ固體デ揮發性デナイカラ、皮膚ノ表層ト接觸スルノミデアル。夫故ニ生ジタル水泡ハ癩痕 Narbe ヲ形成スル事ナシニ速カニ治癒スル。

斯クノ如ク強クシテ然カモ表面的ナ作用ヲ呈スルカラ、「カンタリヂン」ハ皮膚ノ深部ニ侵入スル所ノ上記ノ揮發性物質ト異ナリ、發泡劑 blasenziehendes Mittel トシテ最モ適當デアル。

「カンタリヂン」ハ皮膚並ビニ粘膜ヨリ吸収セル。サレド通常ノ「カンタリス」硬膏ヨリハ極メテ僅少量ガ吸収セラレルノミデアルカラ、毫モ全身症狀ヲ呈シナイ。サレド腎臟ヨリ排出セル、際ニ刺戟作用ヲ呈スル。故ニ腎臟病者ニハ之ヲ用ヒテハナラナイ。

若シ尿中ニ大量ノ「カンタリヂン」ガ含有セル、場合ニハ急性腎臟炎ヲ起シ、腎臟部ニ疼痛ヲ覺ヘ、強度ノ蛋白尿及ビ血尿ヲ起ス。膀胱及ビ尿道ノ粘膜モ同時ニ炎症ヲ起ス。其爲ニ疼痛性勃起 schmerzhaftere Erektion 及ビ性慾亢進 gesteigerte Geschlechtstrieb ヲ見ル。夫故ニ「カンタリス」ハ腎ツテ催淫劑

Aphrodisiakum (Liebestranke) トシテ濫用セラレタ。婦人ニアリテモ稀ニ類似状態(慕男狂 Nymphomanie)ヲ見、且重篤ナル中毒ニアリテハ流産ヲ起ス。「カンタリヂン」ノ溶液ハ粘膜ニ接觸スル時ハ、速カニ激甚ナル炎症ヲ起ス。即チ嚥下スル時ハ口腔、咽頭、胃及ビ腸ニ水泡ヲ形成シ、爲ニ著シク口渴ヲ覺ヘテモ嚥下シ得ナイ。激甚ナル腹痛ヲ訴ヘ、此他嘔吐・下痢・呼吸困難・時トシテハ譫妄 Delirien 及ビ痙攣ヲ見、通常ノ虚脱症状 Kollapssymptome ノ下ニ死スル事ガアル。サレド斯ル中毒性胃腸炎ノ外ニ、直接中樞神経系ニ對シテモ麻痺作用 lähmende Wirkung ヲ呈スルヲシイ。

致死量ハ 1.5—3.0g ト云ハルルモ、之ヨリモ大量ニ堪ヘタル例モアル。

或ル種ノ動物(例ヘバ鶏、蛙)ハ、「カンタリヂン」ニ對シテ頗ル抵抗力ガ強い。

【應用】主トシテ發疱劑 blasenziehende Präparate トシテ用ヒラル。漿液膜ノ炎症、特ニ肋膜炎、併ビニ神経痛及ビ他ノ疼痛ニモ用ヒラル。

【製劑】「カンタリス」硬膏 Emplastrum Cantharidum (發疱膏)：此膏藥ハ名刺ノ厚サ位ニ布ニ延バスカ、或ハ紙ニ延ベタルモノ(發疱紙)ヲ貼シ、絆創膏或ハ繃帶ニテ固定ス。又稍々大ナル絆創膏ノ縁ヲ殘シテ其中央部ニ此膏藥ヲ延ベテ貼ツテモヨイ。作用ハ徐々デ、膏藥ヲ貼シタル後初メノ 2—4 時間ニハ潮紅ノミヲ見、10—12 時間後ニハ硬膏ノ領域ニ一ツ或ハ二三ノ大ナル水泡ヲ形成スル。硬膏ヲ注意シツツ除去スレバ上皮ハ裂ケナイカラ、消毒シタル刀尖或ハ針ニテ疱膜ヲ刺シ、水泡ノ内容液ヲ排出シ得。次ニ殘レル硬膏ノ残りヲ温湯或ハ油ニテ除去シタル後、其部分ニ消毒性ノ繃帶ヲ施ス(例ヘバ硼酸軟膏 Borsalbe ヲ塗リタル綿紗ニテ被フ)。水泡ノ表皮ヲ剥イデハナラヌ。

發疱液ハ屢々腸「チフス」等ノ診斷ニ、血清ニ代用セラル。此場合ニハ丁寧ニ疱液ヲ滅菌セル試験管ニ採取スル。

#### 4. 皮膚刺戟ノ目的ニ用ヒラルル此他ノ藥物

##### a. 沃度丁幾 Tinctura jodi

往々疼痛ヲ輕減シ或ハ滲出液ノ吸收ヲ促進スル爲ニ炎症部ノ上ニ塗布セラル(例ヘバ肋膜炎ノ際)。詳細ハ 393 頁參照。

處方例	沃度丁幾	1,0
	石炭酸	1,0
	「タンニシ」酸	2,0
	「ラノリン」	30,0
	塗布料(凍傷)	

##### b. 「カムフル」 Camphora

「カムフル」ヲ健康ナル皮膚ニ外用スル時ハ、潮紅 Rötung 及ビ刺戟 Reizung ヲ起シ、之ヲ持長スル時ハ炎症ヲ増悪セシム。

外用トシテハ、神経痛 Neuralgie, 「ロイマチス」性疼痛、炎症、挫傷 Kontusion 等ニ擦劑 Linimentum ノ成分トシテ塗擦 einreiben セラレ或ハ罨法 Umschlag トシテ用ヒラル。

【製劑】「カムフル」丁幾(樟腦精) Spiritus camphoratus 10%ノ精製樟腦ヲ含ム。

##### c. 「アムモニア」 Ammoniak

「アムモニア」Ammoniak ハ、酸 Säure ト鹽 Salze ヲ形成シ、其中ニテハ  $\text{NH}_4$  トシテ含有セラル。「アムモニア」ハ水ニ溶解シテ「アルカリ」性液體ヲナス。之ヲ「アムモニア」水(確砂精) Salmiakgeist ト云フ。之ハ一部ハ  $\text{NH}_3$  ヲ含有シ、一部ハ水酸化「アムモニウム」 $\text{NH}_4\text{OH}$  ヲ形成スル。後者ハ  $\text{NH}_4$  ト  $\text{OH}$  「イオン」トニ解離 dissoziieren セラル。

【作用】強キ「アムモニア」溶液ハ其ノ  $\text{OH}$  「イオン」ニヨリテ、恰モ加里及ビ「ナトロン」鹼汁ノ如ク、皮膚及ビ粘膜ニ對シテ腐蝕性 ätzend ノ作用ヲ呈ス。サレド其作用ハ弱イ。コレ「アムモニア」溶液ニ於テハ  $\text{OH}$  「イオン」ノ濃度ガ低イカラデアル。

【應用】「アムモニア」水ハ屢々「カムフル」、「テレピン」油其他ノ皮膚刺戟劑ト共ニ擦劑 Linimentum ノ成分トシテ用ヒラレ、「ロイマチス」性及ビ神経痛性疼痛、轉振 Verstauchungen、挫傷 Kontusion 等ニ際シテ塗擦セラル。又稀薄ナル「アムモニア」溶液ハ洗滌水 Waschwasser トシテ癢痒性皮膚病 juckende

Hautaffektion 又ハ昆蟲ノ刺傷 Insektensticheニ對シテ用ヒラル。急性虚脱状態 akute Kollapszustände (人事不省 Ohnmacht)ニ於ケル吸入劑 Riechmittel トシテノ應用ニ就テハ第 83 及 174 頁參照。此他酸性腐蝕性蒸氣ヲ吸入セシ際ニ「アムモニア」ヲ吸入セシムレバ治療ノ效ガアル。

#### d. 「デオニン」 Dionin

「デオニン」ハ、物質ノマ、又ハ溶液トシテ之ヲ眼ニ入ルル時ハ一時灼熱 Brennen ガアルモ、忽チニ消失シテ結膜 Conjunctivaノ強キ潮紅及ビ腫脹ヲ起ス。コレ血管ヨリ血清 Serum ガ出ル爲デアル。二三時間ノ後ニナレバ、液ハ再ビ吸收セラレ、往々病的産物モ亦同時ニ吸收セラル。夫故ニ眼病 Augenkrankheitenニ際シ刺戟症状ガ消退シタル後ニ吸收ヲ促進スル藥劑トシテ用ヒラル。即チ角膜ノ濁濁 Hornhauttrübungen, 虹彩炎 Iritis, 角膜潰瘍等ノ際ニ應用セラル。

其他ノ作用ニ就テハ 178 頁參照。

【用量】鹽酸「デオニン」Dionin (鹽酸「エチル・モルヒネ」Aethylmorphinum hydrochloricum), 眼ニハ粉末或ハ 5% 又ハ其以上ノ溶液トシテ用ヒラル。

處方例 「デオニン」 0,2—0,5—1,0  
蒸溜水 10,0  
以上點眼 1 日 1—2 回

#### e. 炭酸 Kohlensäure

純粹ナ炭酸ハ健康ナ皮膚ニ對シテハ輕度ノ刺戟 Prickeln, 潮紅 Rötung 及ビ溫感 Wärmegefühlヲ起シ、次デ知覺 Empfindungノ鈍麻 Abstumpfung・手袋ヲハメタ感・或ハ著明ナル知覺脱失 Anästhesieヲ來ス。

【應用】炭酸浴 Kohlensäurebäderハ、心臟病ノ際ニ用ヒラル。浴後ニハ、皮膚ノ表面ハ潮紅シ、脈搏數ハ多クハ減少スル。サレド心臟病ノ重篤ナル場合ニハ、之ヲ用ヒ得；イ事ハ勿論デアル。

#### V. 鎮痒劑 Antipruritika

鎮痒劑トシテ用ヒラルルハ、1—5%石炭酸 Karbolsäure, 「メントール」 Menthol, 樟腦 Camphora, 「ツメノール」 Tumenol (「テール」類), 石灰水, 「レゾルチン」Resorcinノ外, 「クロール・エチル」Äthylchlorid, 1—5%「コカイン」及ビ其代用藥(「オイカイン」Eucain, 1—5%「ニルバニン」Nirvanin, 10%「オルトフォルム」Orthoform) 及ビ 10—20%「プロモコル」Bromocollun 等デアル。

石炭酸ハ、腐蝕並ビニ局所麻酔作用アルガ故ニ、其稀薄溶液ハ皮膚痒痒 Hautjuckenニ對シテ用ヒラル。

處方例 「トラガカントゴム」Tragacanthgummi 5,0  
「グリセリン」Glycerini 2,0  
蒸溜水 Aqu. dest. 100,0  
亞鉛華 Zinci oxydati 10,0  
石炭酸 Acidi carbolicci 1—2,0  
以上混和 (1—2%石炭酸亞鉛華糊膏 Carbolzinkliniment)

#### 「メントール」(薄荷腦) Mentholum.

【作用】皮膚ヲ「メントール」ニテ摩擦スル時ハ寒冷ナル爽快ノ感 erfrischendes Gefühl von Kälteガアリ、次デ 10—15 分後ニハ輕度ノ刺戟 Prickeln 及ビ灼熱 Brennenヲ感ズル。コレ「メントール」ハ寒冷 Kälteヲ感ズル神經末梢ヲ刺戟スル作用アルガ爲デアル。溫熱 Wärmeヲ感ズル神經モ亦作用ヲ受ク。夫故ニ溫熱感受性 Wärmeempfindlichkeitノ方ガ生理的ニ寒冷感受性 Kälteempfindlichkeitヨリモ大ナル場所ニテハ、灼熱ノ感 Hitzeempfindungヲ起ス。サレド或ル場所、例ヘバ額 Stirn 及ビ顳額部 Schläfenニ於テハ、初メハ寒冷 Kälteノミヲ感ズル。コレ此所ニ

ハ寒冷神經 Kältenerven ガ多イ爲デアル。寒冷ノ感 Kältegefühl ガアル場合ニハ寒冷 Kälte ニ對スル過敏 Hyperästhesie ヲ伴フテ居ル。夫故ニ該部ニ於テハ、通常ノ體溫ヲ異常ニ冷タク感ズルノデアル。

溫覺 Temperaturempfindung ノ變化ハ、知覺麻醉性鎮痛作用 anästhesierende, schmerzstillende Wirkung ヲ伴フ。サレド之ハ皮膚ノ直下ニアル神經ニ及ブノミデアル。

「メントール」ノ「アルコール」溶液ハ強消毒性 stark antiseptisch デアル。

【應用】 外用トシテハ鎮痒劑 juckentillendes Mittel トシテ用ヒラル。

又鼻「カタル」 Schnupfen ノ際ニハ分泌 Sekretion ヲ減ズル。

此他「メントール」ハ所謂偏頭痛桿 Migränestifte トシテ偏頭痛及ビ顔面ノ疼痛、殊ニ好シク上眼窩神經痛 Supraorbitalneuralgie ニ對シテ用ヒラレ、往々一時的ニ之ヲ緩解スル作用ガアル。

【用量】 外用ニハ、痒感 Jucken ニ對シテ 2—10% 「アルコール」或ハ油溶液ヲ用ユ。鼻「カタル」ニハ粉末「メントール」ヲ滑石 Talk ト混ジテ (1:50) 吸入セシム。偏頭痛桿 Migränestifte ハ、融解セル「メントール」デ、往々多少ノ「チモール」及ビ「カムフル」ヲ混ジ、棒狀 Stangen 或ハ桿狀 Stiften ニシタモノデアル。

## VI. 角質溶解劑 Keratolytica

### 1. 「ザリチル」酸 Acidum salicylicum

「ザリチル」酸ハ健康ナル皮膚ニ對シテハ、徐々ニ且疼痛ヲ伴フ事ナシニ、上皮ヲ溶解スル作用ガアル。粘膜ニ對シテ、其マ、或ハ其濃厚溶液ヲ用フル時ハ上皮ヲ白色ナラシメ且表面的ニ腐蝕スル。

「ザリチル」酸ノ其他ノ作用ニ就テハ 329 頁參照。

【應用】 上皮溶解藥 epithelaufösendes Mittel トシテ用ヒラル (鶏眼 Hühneraugen 等ノ際)。

【用量】 「ザリチル」酸 Acidum salicylicum 上皮腫 Epitheliom (鶏眼) ニ對シテハ 30% 「ザリチルコロヂウム」 Salicylkolloidium ヲ塗布シ、其上ヲ更ニ絆創膏ニテ掩フ。

### 2. 硫化「アルカリ」類 Schwefelalkalien

硫黃ハ皮膚ニ對シテハ、初メニハ無爲性 indifferent デアルガ、之ヲ長ク作用セシムル時ハ、輕度ノ潮紅・局所ノ汗分泌ヲ促シ、且鎮痛作用ガアルラシイ。下等動物及ビ植物ニ對シテモ、硫黃ハ毫モ作用ヲ呈シナイガ、一部分亞硫酸 schweflige Säure ニ酸化セラル、時、又ハ多クノ有機物ト接觸シテ硫化水素 Schwefelwasserstoff ヲ發生スル時、及ビ特ニ硫化「アルカリ」ヲ生ズル時ハ(「アルカリ」ヲ加フレバ生ズ)有毒トナル。

硫化「アルカリ」 Schwefelalkalien ハ、恰モ水酸化「アルカリ」ノ如ク、皮膚ニ對シテハ腐蝕作用ヲ呈シ、特ニ角化組織 verhorntes Gewebe 例ヘバ毛髮・上皮ノ形成物ヲ容易ニ溶解スル。動物性寄生蟲(疥癬蟲 Krätzmilbe) ニ對シテハ頗ル有毒デアル。コレ動物及ビ卵ノ毛髮ヲ溶解スル故デアル。

硫化水素 Schwefelwasserstoff ハ、人ニ對シテハ恰モ青酸 Blausäure ノ如ク有毒デ、直チニ死ヲ來ス。又動物及ビ微生物ニ對シテモ頗ル有毒デアル。

【應用】 硫化「アルカリ」ハ上皮溶解藥 epidermislösendes Mittel トシテ濕疹 Ekzema, 乾癬 Psoriasis 及ビ痤瘡 Akne ノ際ニ用ヒラル。是等ノ疾病ニアリテハ、恰モ切開 Inzision ヲ行ヒタル如ク、臍胞口 Follikelmündungen ヲ開キ、集合セル分泌物ヲ排泄セシメル作用ガアル。此他抗寄生蟲劑 Antiparasitikum トシテ疥癬 Scabies ノ際ニ用ヒラル。

硫黃浴 Schwefelbäder ハ各種ノ關節炎ニ其效ガアル。又硫黃療法ノ適スル皮膚病、特ニ乾癬 Psoriasis, 慢性濕疹 chronische Ekzema 及ビ痤瘡 Akne ニ用ヒラル。

【製剤】**硫黄華** Sulfur sublimatum, Flores Sulfuris, Schwefelblumen. 昇華 Sublimation ニヨリテ製シタル黄色結晶性粉末デアル。往々硫化砒素 Schwefelarsen ヲ混ズ。慢性濕疹, 白癬, 疥癬等ノ寄生性疾患ニ廣ク用ヒラルル「テールバスタ」Teerpasta ノ或分ヲナス(382 頁参照)。

**精製硫黄** Sulfur depuratum. 硫黄華ヲ稀薄ナル「アムモニア」ニテ洗滌シテ得タルモノデアル。

**沈降硫黄** Sulfur praecipitatum, Lac sulfuris, Schwefelmilch. 黄白色無定形ノ粉末ヲ沈降ニヨリテ得ラル。硫黄華ヨリモ遙カニ微細デアル。皮膚病ニハ 10% 軟膏 Salbe トシテ用ヒ, 瘡癤 Akne ニハ往々, クムメルフェルド氏液

Aqua Kummelfeldtii トシテ用ヒラル:

處方例	沈降硫黄 Lac, sulfur.	12,0
	「カムフル」 Camphorae	} 各 aa 1,0
	「アラビアゴム」 Gi. arab.	
	石灰水 Aqu. Calcar	} 各 aa 96,0
	薔薇水 Aqu. Rosae	

振盪シテ塗布スルカ, 或ハ就眠時沈渣ヲ塗布シ, 晝間ハ上清ヲ塗布ス (含鉛白粉ヲ貼布セル者ニハ用ヒテハナラヌ)

**硫化「カリウム」** Kalium sulfuratatum, Hepar sulfuris, Schwefelleber. 褐色或ハ黄綠色ノ塊片デ, 室中ノ炭酸ニヨリテモ既ニ硫化水素ヲ遊離セシム。人工硫黄浴 künstliche Schwefelbäder ニハ其 100—200g ヲ用ユ。之ニ大匙ニ 1—2 杯ノ硫酸ヲ加フレバ盛盛ニ硫化水素ヲ發生ス。

### 3. 石鹼 Seife

石鹼ハ、「アルカリ」金屬 Alkalimetalle ト高級脂肪酸 höhere Fettsäure トノ鹽デアル。動物或ハ植物性脂肪ヲ加里或ハ「ナトロン」鹼汁ト共ニ煮沸スル時ハ, 脂肪類ハ鹼化 verseifen セラレ, 「アルカリ」ハ脂肪酸 Fettsäure ト化合シテ石鹼ヲ形成シ, 副産物トシテ「グリセリン」ヲ析出スル。「ナトロン」石鹼 Natronseife ハ固ク, 「カリ」石鹼 Kaliseife ハ軟カイ。

「ナトロン」石鹼ハ, 「ナトロン」鹼汁ヲ脂肪類ニ作用セシムル際ニ生ズル液状混合物ニ食鹽ヲ加ヘ析出 aussalzen セシメテ製ス。

【作用】石鹼ハアマリ安定デナイ化合物デアツテ, 大量ノ水ニ遇ヘバ一部ハ加水分解シテ遊離ノ「アルカリ」ヲ生ズル。而シテ此モノハ鹼化 verseifen セラレテ, 脂肪及ビ皮膚ノ脂 Talg ヲ溶解シ, 皮腺 Hautdrüsen ノ分泌物ヲ充タセル臙胞口 Follikelöffnungen ヲ開キ, 皮膚ノ表面ヲ浸蝕 mazerieren シ且上皮細胞間ノ結合ヲ粗ナラシメ, 爲ニ皮膚ノ最上層ハ摩擦ニヨリテ剝離セラレ, 同時ニ附着セル汚物, 塵埃 Staub, 植物性或ハ動物性寄生蟲ヲ除去シ得。

故ニ石鹼ニテ洗フ際ニハ, 此化學的作用ヲ器械的ニ補助スル爲ニ刷毛 Bürste ヲ用フルガヨイ。コレ皮膚ノ消毒 Desinfektion 上頗ル重要ナル事デアル。

【應用】石鹼ハ皮膚ノ最上層ヲ除去シ, 且藥劑ヲシテ深部ニ達セシムルニ爲ニ各種ノ皮膚病ニ際シテ用ヒラル。腺・皮膚及ビ骨結核ニハ石鹼塗擦ガ推奨セラル。然ル時ハ全身状態ハ佳良トナリ, 腺腫脹ハ縮小シ, 瘻管 Fistel ハ閉塞スルト謂ハル。

此他石鹼ハ藥劑ヲシテ深部ニ浸入セシムル爲ノ媒介物 Vehikel トシテ廣ク用ヒラル (水銀・硫黄・「テール」・「ナフトール」・「ザロール」・「ザリチル」酸・「メントール」等)。火傷 Verbrennung ノ際ニハ, 「アルカリ」性石鹼 (「カリ」石鹼 Schmierseife) ニヨリテ疼痛ガ緩解セラル。此他「アルカリ」石鹼ヲ長イ間皮膚ニ作用セシムル時ハ, 刺戟及ビ炎症ヲ起スカラ, 誘導藥 ableitendes Mittel 並ビニ吸收促進劑 resorptionsbeförderndes Mittel (加里石鹼罨法 Schmierseifenumschläge, 石鹼硬膏 Seifenpflaster) トシテ應用セラル。又石鹼ハ之ヲ坐藥 Suppositorium 或ハ浣腸 Klystier トシテ直腸中ニ入ルハ時ハ粘膜ヲ刺戟シ, 腸壁及ビ糞塊ヲ滑ラカ schlüpfrig ニナス作用ガアル。

【種類】使用ノ目的ニヨリテ各種ノ石鹼ヲ用フ。清淨ニスル作用ガ最



モ強く且皮膚ヲ浸蝕 mazerieren シ消毒 desinfizieren スルニ最モ適シタルハ、軟カイ「カリ」石鹼 Kaliseife 及ビ他ノ強「アルカリ」性ノ洗濯石鹼 Waschseife デアル。サレド此モノヲ持續的ニ使用スレバ皮膚ヨリアマリニ多クノ脂肪ガ除去セラル、爲ニ、皮膚ハ脆性 spröde ニ且落屑性 abschuppend ニナルカラ、斯ル場合ニハ中性ノ石鹼ヲ代用シナケレバナラナイ。中性石鹼ハ藥劑ニ對スル基質トシテ用フルニ適スル。コレ長イ間皮膚ニ接觸セシメ得ルカラデアル。

【製劑】藥用石鹼 Sapo medicatus. 豚脂 Schweineschmalz. 「オレフ」油及ビ「ナトロン」鹼汁ヨリ製ス。硬キ白色ノ弱「アルカリ」性石鹼デアル。浣腸トシテノ應用ニ就テハ 267 頁參照。

「カリ」石鹼 Sapo kalinus. Kaliseife. 亞麻仁油 Linöl ヲ「カリ」鹼汁ニテ鹼化シテ製ス。黃色或ハ褐色ニシテ、透明、軟膏樣ノ強「アルカリ」性石鹼デアル。強キ作用ヲ望ム場合ニ用ヒラル。即チ消毒、寄生蟲性疾病ニ際シ皮膚ノ浸蝕 Mazeration ノ目的、皮膚刺戟性療法、及ビ結核性諸病ノ際ノ塗擦トシテ用ヒラル：10,0—20,0—30,0 ヲ一週 2—3 回脊部或ハ股部ニ塗擦シ 30 分後ニ溫湯ニテ洗ヒ去ル。

此他加里石鹼ハ不潔ナル木製器具、戸、障子、床面等ノ消毒ニ適ス。使用スルニハ、加里石鹼 3 分ヲ熱湯 100 分ニ溶解シ、使用ニ際シテ加熱スル。

## VII. 上皮形成促進劑

### 猩紅赤 Scharlachrot

「アニリン」色素 Anilinfarbstoffe ニ屬スル猩紅赤 Scharlachrot R ニテ飽和セル油ヲ家兔ノ皮下ニ注射スル時ハ、扁平上皮 Plattenepithel ガ癌腫樣ニ繁殖スル事が見ラレタ。之ガ爲ニ此色素又ハ其有效成分タル「アミドアゾトルオール」Amidoazotoluol ハ人ニ試ミラレ、上皮ノ形成ヲ促サントシタルニ、效果ガアツタ。

8%「ワゼリン」軟膏（猩紅軟膏 Scharlachsälbe）ヲ各種ノ皮膚缺損、例ヘバ下腿潰瘍 Ulcus cruris, 褥瘡 Decubitus, 狼瘡 Lupus, 黴毒性創傷 syphilitische Wunde, 弛緩性肉芽組織 schlaflle Granulation, 火傷等ニ用ヒル時ハ往々皮膚

形成ガ促進セラレル。眼科ニ於テモ角膜・結膜等ノ潰瘍ニ用ヒラル。サレド小兒ニアリテハ、「アニリン」中毒ヲ起ス危險ヲモ顧慮シナケレバナラナイ。

處方例 猩紅赤 8,0  
米國製白色「ワゼリン」 100,0

以上研和、爲猩紅軟膏、「ガーゼ」ニ薄ク引キ伸シ、24 時間貼用後 1 乃至 2 日間單軟膏ヲ貼用ス。

## VIII. 癬癩軟解劑 Narbenerweichende Mittel

### 「チオジナミン」 Thiosinamin

「チオジナミン」Thiosinamin oder Allylschwefelharstoff ハ、之ヲ皮下或ハ筋肉内ニ注射スル時ハ、癬癩形成 Narbenbildungen ヲ（其位置ニ關セズ）溶解シ或ハ其吸收ヲ促ガス性狀ヲ有スト謂ハル。斯ル作用ハ、癬癩組織中ニ漿液性滲出及ビ多數白血球ノ游出ヲ促シ、之ガ爲ニ軟ラクナリ、從ツテ器械的療法ニ對スル抵抗ガ減少スルモノラシイ。外部及ビ體內ニ於ケル各種ノ癬癩ニ用ヒレバ往々效果ガアル。即チ火傷ノ爲ノ癬癩、關節強直 Gelenkankylose, 骨炎 Otitis 後ノ癒着、手術後ノ癒着、食道又ハ尿道狹窄等ニ試ミラル。

注射後ハ一時灼熱ヲ覺ユ、稀ニハ他ノ副作用、例ヘバ麻疹或ハ尋麻疹樣發疹・不快・頭痛・多尿 Polyurie 等ヲ起ス事ガアル。

【製劑】「チオジナミン」Thiosinamin,  $CS \begin{matrix} NH(C_3H_5) \\ NH_2 \end{matrix}$  無色或ハ赤色ノ水及ビ「アルコール」ニ溶解性ノ結晶デ、非臭及ビ苦味ヲ有ス。皮下或ハ筋肉内ニハ 10—15%「アルコール」或ハ水溶液ヲ用フ。本液ヲ初メニハ  $1/2$  ccm, 後ニハ 1ccm, 癬癩ノ附近又ハ他ノ場所例ヘバ脊部ニ 1 週 2 回, 2—3 週間或ハ月餘ニ亙リテ注射スル。

「フィプロリジン」Fibrolysin. 「チオジナミン」ト「ザリチル」酸「ナトリウム」トノ化合物デ、水ニ溶解シ易キ白色ノ粉末デアル。皮下ニ「チオジナミン」ノ倍量ヲ注射スル。

## IX. 被覆劑 Deckmittel

### 脂肪性物質 Fette Stoffe

脂肪類 Oleosa, Pinguedines ノ皮膚ニ對スル關係ハ、恰モ粘滑劑 Muci-

## 被覆劑

laginosa ノ粘膜炎ニ對スルト同様デア。之ハ皮膚ヲ被覆 decken シ、刺戟ニ對シテ之ヲ保護シ、且皮膚剝離 Exkoration、裂瘡 Fissur 及ビ表面的物質缺損ノ治癒ヲ促ス作用ガアル。大多數ノ脂肪類ハ容易ニ皮膚ヨリ吸收セラレ、之ヲ柔軟 geschmeidig ニナシ、水分放散ヲ妨ゲ、同時ニ之ヲ濕潤ニ保ツ。此他汗分泌ヲ制限スル。故ニ身體ノ大部分ニ之ヲ塗布スル時ハ代償的 kompensatorisch ニ利尿 Diurese ヲ増加スル。

一般ニ水溶液ハ健康ナ皮膚ヨリハ吸收セラレナイ。コレ皮膚ノ表面ハ皮脂腺 Talgdrüse ノ分泌物ノ爲ニ被覆セラレテ水分ヲ通サナイ爲デア。之ニ反シテ脂肪中ニ溶解セル物質ハ皮膚ノ深層中ニ侵入スルノミナラズ、多量ニ吸收セラレル。サレド脂肪類ガ消毒性創傷藥 antiseptische Wundmittel ノ媒介トナルハ、該藥劑ガ脂肪ト同時ニ水中或ハ創傷分泌物ニ溶解スル場合ノミデア。然ラザル場合ニハ藥劑ハ脂肪中ニ止マリテ、其所ニ存スル微生物ト接觸スルニ至ラナイ。

【應用】 脂肪性物質ハ軟化及ビ被覆劑 erweichende und deckende Mittel トシテ皮膚剝離 Exkoration、表面的ノ潰瘍 oberflächliche Ulzeration、火傷等ニ際シ、其マ、或ハ同時ニ消毒性或ハ收斂性物質ヲ含有セル軟膏 Salbe 又ハ擦劑 Linimente トシテ用ヒラル。

多クノ皮膚病ニアリテハ、固キ痂皮 Kruste ヲ軟化スル爲ニ用ヒラル、又皮膚ノ深層ニ侵入ス可キ物質ニ對スル運搬藥 Transportmittel トシテ用ヒラル。此他稀ニハ吸收セシム可キ物質ヲ軟膏トスル際ニ使用セラル(例ヘバ水銀)。

軟膏 Salbe ニハ如何ナル種類ノ脂肪ヲ用フ可キカト云フニ、ソレハ一定シナイ。皮膚ノ脂肪ノ缺乏ヲ補償シ、或ハ皮膚ヲ柔軟 geschmeidig ニナス目的ニハ、液狀ノモノ或ハ低イ融解點ヲ有シ容易ニ皮膚中ニ侵入シ得ルモノ(例ヘバ通常ノ豚脂 Schweinefett、「ワセリン」Vaselin 或ハ「オレフ」油)ガ最もヨイ。

## 脂肪性物質

之ニ反シテ長イ間與ヘタル場所ニ止マラシメテ其場所ヲ被覆スル爲ノ軟膏 Salbe ニハ、寧ロ融解シ易クナイモノノ方ガヨイ。斯ル軟膏ハ皮脂 Talg、蠟 Wachs、鯨蠟 Cetaceum 或ハ融解點ガ皮膚ノ溫度ヨリモ高イ其他ノ種類ノ軟膏ヲ用フルガヨイ。

「グリセリン」Glycerin モ亦脂肪類ト同様ニ皮膚剝離 Exkoration ノ際ニ治療劑トシテ用ヒラル。

浣腸又ハ坐藥トシテ「グリセリン」ノ應用ニ就テハ 267 頁參照。

### 【製劑】 動物性脂肪類：

豚脂 Adeps suillus, Axungia Porci, Schweinefett. 白色ノ軟膏様物質デ、大凡體温ニテ融解スル。多數ノ軟膏 Salbe ノ成分ヲナス。

含水「ラノリン」Adeps lanae cum aqua, wasserhaltiges Wollfett, Lanolin。無水「ラノリン」Adeps lanae anhydricus, Wollfett, 羊毛ヨリ採集シ精製シタル無水ノ脂肪デア。

處方例	「ザリチール」酸 Acid. salicylic.	2,0
	亞鉛華 Zinci oxydati	} 各 aa 24,0
	澱粉 Amyli oryzae	
	「ラノリン」 Lanolin	50,0

以上混和(「ラノリン・パスタ」Lanolinpasta Dohi)

黃蠟 Cera flava, gelbes Wachs。白蠟 Cera alba, weisses Wachs。蠟ハ軟膏 Salbe、硬膏 Pflaster 等ヲ製スル爲ニ廣ク用ヒラル。

處方例	黃蠟 Cerae flavae	1,0
	胡麻油 Olei Sesami	2,0

以上熔和(單軟膏 Unguentum simplex)

單軟膏ハ殆ンドスペテノ軟膏ノ基礎的ノモノニテ、之ニ種々ノ藥劑ヲ加ヘテ軟膏ヲ作り使用ス。

### 植物性脂肪類：

「オレフ」油 Oleum olivarum, Olivenöl。

落花生油 Oleum Arachidis, Erdnussöl。

胡麻油 Oleum Sesami。

扁桃油 Oleum Amygdalarum。

亞麻仁油 Oleum Lini。擦劑 Liniment ノ成分トシテ用ヒラル。

處方例	石灰水	} 20,0
	亞麻仁油	
	「メントール」	2,0
	電法科 (火傷)	

「カハオ」脂 Oleum Cacao. 通常ノ温度ニテハ白色デ固イガ、約 30° ニテ融解スルカラ、坐薬ノ賦形薬 Konstituens トシテ用ヒラル。

大風子油 Oleum Hydnocarpi oder Oleum Chaulmoograe. 此モノハ刺激性ノ不飽和脂肪酸ヲ含有ス。其製劑ハ癩病 Lepra ニ對シテ推奨セラル。即チ脂肪酸ノ「エチルエステル」ヲ筋肉内ニ 1g ヨリ漸次ニ増量シツツ 5g迄ヲ 14 日又ハ其以上ノ間隔ヲ置キテ注射スル。

鑑物性脂肪類：

次ノモノハ一部ハ脂肪列、一部ハ芳香屬ノ炭化水素ヨリ成ル。

流動「パラフィン」 Paraffinum liquidum. 不溶性物質ノ乳劑 Suspensionヲ製スルニ用ユ。

固形「パラフィン」 Paraffinum solidum.

白色「ワゼリン」 Vaselinum album 及ビ黄色「ワゼリン」 Vaselinum flavum.

「ワゾゲン」 Vasogenum (Vaselinum oxydatum). 種々ナル藥劑、例ヘバ沃度、沃度「フォルム」, 「クレオソート」, 「カムフル」等ヲ溶解シ、皮膚ヨリ侵入シ易カラシム。沃度「ワゾゲン」 Jodvasogen (6%沃度)ハ沃度加里ト同様ニ内用セラレ、且沃度丁幾ト同様ニ外用セラル。

「グリセリン」 Glycerinum,  $C_3H_5(OH)_3$  濃厚ナル油狀ノ液體デ甘味ヲ有ス。浣腸トシテノ應用ニ就テハ 267 頁参照。

處方例	苛性「カリ」	1,0
	「グリセリン」	40,0 (夏季ハ 30,0)
	蒸餾水	120,0
	酒精	40,0 (夏季ハ 50,0)
	「ベルガモット」油	3 滴

以上混和後濾過ス (ペルツ水 Aque Baelzi)

【附】「コロヂウム」 Kollodium. 「コロヂウム」綿 Kollodiumbaumwolle (Cellulosedinitrat)ヲ「アルコール」及ビ「エーテル」ニ溶解シタル舍利別狀ノ溶液デアル。

## N. 免疫學的製劑

## 一般的事項

或種ノ細菌ハ体内ニ於テ所謂「トキシン」(毒素) Toxineヲ形成スル。此「トキシン」ヲ生体内ニ注射スル時ハ、之ニ對スル特異ナル抗毒素 spezifische Antitoxineヲ生ズ。此モノハ「トキシン」ト結合シテ之ヲ無害トナス。斯ル抗毒素ヲ含有セル血清ヲ含抗毒素血清 antitoxisches Serumト稱ス。「トキシン」ト抗毒素トノ反應ハ恰モ他ノ化學的反應ノ如ク、一定ノ量的關係ニ從フモノデアル。例ヘバ 1 ccmノ血清ニテ一定量ノ「トキシン」ヲ無害ニナシ得ル場合ニハ、10 ccmノ血清ハ其 10 倍量ノ「トキシン」ト結合シ得。

「トキシン」ト抗毒素トノ結合ハ、体内ノミナラズ体外ニテモ行ハレ得。今試験管内ニ於テ「トキシン」ト抗毒素トノ相當セル量ヲ混ジ、之ヲ動物ニ注射スル時ハ疾病ヲ起サナイ。又同時ニ兩者ヲ注射スルカ或ハ抗毒素ヲ最初ニ注射スル時モ同様デアル。サレド初メニ「トキシン」ヲ注射スル時ハ、「トキシン」ハ對毒感受性細胞 giftempfindliche Zellenニ結合セラレ、時ヲ經ルニ從ヒテ此結合ハ固クナルカラ、後カラ抗毒素ヲ注射シテモ最早充分ナル效ヲ奏シナイ。故ニ血清療法 Serumbehandlungハ實際上ニ於テハ出來ル丈早期ニ行ハナケレバ效力ガ少ナイ。

含抗毒素血清 antitoxisches Serumノ代表的ノモノハ、「ヂフテリー」血清 Diphtherieserum 及ビ破傷風血清 Tetanusserumデアル。

血清療法ハ被動的免疫 passive Immunitätニ屬スル。其效力ハ直チニ現ハレルモ、其持續期間ハ短カイ。之ニ反シテ「ワクチン」Vakzine (死菌浮游液)ヲ生體ニ注射シ、以テ体内ニ於テ免疫體 Antikörper oder Immunkörperノ發生ヲ促ガス方法ハ之ヲ自動的免疫 aktive Immunitätト

稱ス。

### I. 「デフテリー」血清 Diphtherieserum

「デフテリー」血清療法ノ目的ハ、被動的對毒免疫 passive Giftimmunität  
ヲ行フニアル。

「デフテリー」血清ハ通常「デフテリー」毒(初メハ少量ヨリ漸次ニ増量  
スル)ヲ皮下注射シタル馬ヨリ得ラル。而シテ其中ニ含有セラル、抗毒  
素ノ含量ヲ測定スルニハ、「モルモット」ヲ用ヒル。而シテ一定ノ「トキシ  
ン」(Test-Dose)ヲ中和スルニ足ル量ヲ一免疫單位(I.E.)ト云フ。血  
清其モノノ爲ニ起ル副作用及ビ「アナフィラキシー」ヲ避ケルニハ出來  
ルダケ抗毒素ニ富メル血清ヲ用フルガヨイ。

【應用】血清療法ハ、全身中毒並ビニ局所ノ病變ニ對シテ大ナル影響  
ガアル。今患者ニ抗毒素ノ充分ナル量ヲ注射スル時ハ、體溫ハ下降シ、  
全身状態ハ注射後 12—24 時間ニシテ恢復スル。同時ニ苔 Belag ハ黃  
色ヲ呈シ、邊緣ニ分界線 Demarkationslinie ヲ生ジテ緩解シ初メ、多クハ  
第 4—5 日ニシテ全然剝離シ初メル。咽頭「デフテリー」ト同様ニ、喉頭  
及ビ他ノ場所例ヘバ眼ニ於ケル「デフテリー」モ同様ナ影響ヲ受ケル。

豫後ハ、血清療法ヲ初メタ時期ニヨリテ著シク左右セラレル。コレ遲  
ケレバ「トキシン」ガ既ニ細胞ニ固ク結合セル爲ニ、抗毒素ヲ與ヘテモ最  
早之ヲ結合シ得ナイ故デアル。

故ニ「デフテリー」ハ、出來ル丈早期ニ且多量ノ免疫單位ヲ以テ治療  
シナケレバナラナイ。

「デフテリー」血清ハ豫防藥 prophylaktisches Mittel トシテモ有效デア  
ル。殊ニ患者ヲ隔離シ難イ場合ニハ之ヲ行フガヨイ。免疫ノ持續期間ハ  
3—4 週間デアル。サレド血清ハ菌其モノヲ死滅セシムル效力ハナイ。故

ニ血清注射ヲ施シタル者ハ、其鼻又ハ咽頭ニ菌ヲ保有シ、之ヲ他ノ者ニ  
傳播セシメ得。

此他血友病 Hämophilie ニテ血清注射ヲ要スル場合ニモ、「デフテリー」  
血清ヲ使用シ得。

【副作用】血清療法ヲ行ヒタル 6—12% ノ場合ニハ、血清病 Serum-  
krankheit ヲ見ル。之ハ約 10 日後ニ現ハレ、發疹 Exanthem (蕁麻疹 Urti-  
caria, 紅斑 Erythema), 發熱及ビ關節痛 Gelenkschmerzen ヲ起ス。不快  
ナルモ、然シ危險デハナイ。之ハ抗毒素ノ爲デハナク、異種血清 fremdes  
Serum ニヨツテ起ルノデアル。夫故ニ同様ナ症状ハ正常馬ノ血清ニテモ  
起リ得。

次ニ反覆注射ヲ行フ時ハ、過敏性 Überempfindlichkeit 或ハ「アナフィ  
ラキシー」Anaphylaxie ガ起リ得。斯ル状態ハ約 10 日後ニ至ツテ初マ  
ルモノデ、第一回注射ト第二回注射トノ間ノ期間ガ短カイ場合ニハ見ラ  
レナイ。サレド此状態ハ長イ間、恐ラク全生涯續クモノデアル。動物ニ  
テハ、過敏性ハ非常ニ危險デ、例ヘバ血管麻痺・氣管枝痙攣ヲ起シテ呼吸  
停止ヲ伴フモ (anaphylaktischer Choc), 人ニアリテハ斯ル事ハ極メテ稀  
デ、主トシテ靜脈内注射ヲ行フ場合ニ見ラレルノミデアル。夫故ニ以前  
ニ血清注射ヲ受ケタ事ノアル患者ニハ決シテ血清ノ靜脈内注射ヲ行ツテ  
ハナラナイ。

其治療トシテハ、氣管枝痙攣ヲ緩解スル爲ニ「アドレナリン」或ハ「アト  
ロピン」ノ皮下注射ヲ行フ。

通常ノ筋肉内注射ニテハ、「アナフィラキシー」ハソレ程恐ロシクナイ。  
初メニ少量ヲ注射スレバ、數時間ノ經過中ニハ反對ノ状態、即チ抗「ア  
ナフィラキシー」Antianaphylaxie ヲ生ズル。

此他先天的過敏性 angeborene Überempfindlichkeit ニ惱ム者(喘息發作

等)ニアリテハ、通常ノ「ヂフテリー」血清ニテ重篤ナル「ショック」症狀 Chocsymptomeヲ起ス事ガアル。斯ル場合ニモ靜脈内注射ヲ避ケルガヨイ。

【用量】「ヂフテリー」血清 Serum antidiphthericum, Diphtherieserum. 免疫單位 Immunisierungseinheitノ數 (I.-E.)ハ容器ニ記シテアルモ、通常 lcc. 中 500 免疫單位ヲ含ム。北里研究所製品第 1 號ハ 600 單位、第 2 號ハ 1000 單位、第 3 號ハ 1500 單位、第 4 號ハ 2000 單位ヲ含ム。著シク潤濁セル血清ハ使用シテハナラヌ。輕症ニテハ、小兒ニハ第 1-2 病日ニ 1500-3000 I.-E., 大人ニハ 3000-6000 I.-E.ヲ筋肉内ニ注射スル。之ニテ著シキ恢復ヲ見ナケレバ、12-24 時間後ニ更ニ同量ヲ注射スル。重篤ナル場合ニハ 16000-20000 I.-E. 又ハ其以上ヲ用ヒ、之ヲ靜脈内ニ注射スルノガ最モ良イ。大量ヲ要スル場合ニハ異種血清ノ量ヲ成ルベク少ナクスル爲ニ、抗毒素量ニ富メル血清ヲ撰ブガヨイ。

豫防的用量ハ 1000 I.-E.。

## II. 破傷風血清 Tetanusserum.

「ヂフテリー」血清ト同様ニ馬ヲ免疫シテ得ラル。之モ被動的對毒免疫 passive Giftimmunitätヲ行フ目的デアル。

既ニ破傷風ノ症狀ガ現ハレタ場合ニハ、血清ヲ皮下又ハ靜脈内ニ注射シテモ多クノ場合ニハ無効デアル。コレ破傷風血清ハ血液又ハ淋巴路ヨリデナク、神經幹ニ沿ヒテ中樞神經系ニ達スルモノナルニ、一面ニ於テ抗毒素ハ通常血液中ニ入ルノデアルカラ、「トキシソ」ト抗毒素トガ結合シ得ナイ故デアル。加之破傷風ノ診斷ハ、通常痙攣 Krämpfeガ現ハレタ後デアルカラ、其時ニハ毒素ハ既ニ神經細胞ニ吸收セラレテ居ル。サレド血清療法ハ有害ナ結果ヲ來ス事ハナイカラ、兎ニ角試ミルガヨイ。近時ハ脊髄内注射 intraspinaler Injektionモ試ミラレ、稍良效ガアルラシイ。此他局所ノ創傷ニ應用シ又ハ硬膜内注射 endodurale Injektionヲ行フ事

モアル。

之ニ反シ豫防劑トシテハ頗ル有效デアル。故ニ疑ハシイ外傷、例ヘバ土地或ハ道路ノ塵埃ニテ不潔トナレル釘或ハ木片ニヨル外傷ニ際シテハ、破傷風血清ノ豫防注射ヲ行フガヨイ。

【用量】破傷風血清 Serum antitetanicum. 皮下、靜脈内、或ハ硬脊髄膜下 subduralニ 10-50 ccmノ脊髄液ヲ流出セシメタル後、100-200 I.-E.ヲ注射スル。注射ハ恢復スル迄毎日反覆スル(硬膜下注射ハ、痙攣ノ存スル場合ニハ麻酔セシメテ之ヲ行フ)。之ヨリモ遙カニ大量、例ヘバ 2000-10000 I.-E.ヲ毎日用ユル事モ推奨セラル。此際ニハ同時ニ種々ナル方法ニテ之ヲ與ヘル。

豫防ニハ 20-50 I.-E.ヲ皮下ニ注射シ、10 日ノ後更ニ同量ヲ注射ス。(北里研究所製品第 1 號ハ 100 單位、第 2 號ハ 400 單位ヲ含ム)。

## III. 「ワクチン」類 Vakzine

自動的免疫 aktive Immunisierung (Vakzination)ハ、主トシテ豫防ノ目的ニ應用セラル。之ニハ減弱セルカ或ハ死滅セル微生物ヲ注射スル。

其定型的ノ例ハ痘瘡 Variola, Pockenノ豫防接種 Vakzinationデアル。接種材料 Impfstoffハ尙未知ナル病原ヲ含有スル牛ノ淋巴デ、其病原ハ動物通過 Tierpassageニヨリテ、人ニハ輕度ノ疾病ヲ起スノミデ然カモ數年間免疫ヲ起スヤウニ變化セシメタモノデアル。

狂犬病 Lyssaノ豫防ニハ、其病原ニテ傳染セル家兎ノ脊髄ヲ乾燥シタルモノ(減弱セル病原)ヲ接種スル。其潛伏期 Inkubationszeitハ頗ル長イカラ(2-3週或ハ月餘)、既ニ傳染セル者ニ對シテ發病ヲ豫防シ得。

「コレラ」Cholera、「チフス」及ビ「バラチフス」ノ豫防ニハ、熱或ハ消毒藥ニテ死滅セシメタル菌ノ浮游液ヲ用フ。又「ベスト」ノ豫防ニモ往々死滅セル「ベスト」肉汁培養ヲ皮下ニ注射スル。此等ノ「ワクチン」ハ多少ノ豫防的效果ヲ期待シ得ルラシイ。

此等製劑ノ使用法・用量等ニ就テハ、製品ニ附シアル説明書參照。

IV. 非特異性療法 Unspezifische Therapie

異種蛋白 fremde Eiweiss 或ハ體內ニ於テ生ズル其分解産物ハ細胞機能 Zellfunktion ノ働化 Aktivierung ヲ促スカ、或ハ細胞ノ變質 Umstimmung ヲ來シ、其爲ニ以前ニ殆ンド或ハ全ク影響セラレナカツタ刺戟ニ對シテモ反應スルヤウニナル(原形質働化 Protoplasmaaktivierung, omnice lluläre Leistungssteigerung-Weichardt)、コレ非特異性療法ニ對スル説明ノ一ツデアル。

【適應症】 非特異性療法ハ未ダ經驗時代ニアルカラ、正確ナル適應症ヲ述ブル事ハ困難デアル。最モ良キ效果ヲ見ルハ慢性關節「ロイマチス」及ビ痲疾ノ際デアル。又子宮附屬部疾病 Adnexerkrankungen, 慢性濕疹, 坐骨神經痛 Ischias, 及ビ其他ノ神經痛ニ對シテモ效果ガアル。

【製劑】 最モ屢々用ヒラレタルハ、乳汁及ビ乳汁製劑デアル。就中最モ簡單ナルハ脱脂乳 Magermilch 或ハ遠心シタル乳汁ヲ試験管ニトリ少シク煮沸消毒シ其 0.5-2ccm ヲ靜脈内ニ用フルカ、或ハ 2-10ccm ヲ筋肉内ニ毎日或ハ一週數回注射スル。

「カゼオザン」 Caseosan モ亦屢々用ヒラル。之ハ「カゼイン」ノ溶液ヲ滅菌セル「アムプルレ」中ニ入レタルモノデ、其 1ccm = 「カゼイン」0.05ニ相當スル。靜脈内ニハ 1/4-1/2 ccm, 漸次ニ 1ccm 迄増量シツ、毎週 2-3 回用ヒルカ、又ハ筋肉内ニ 1/2-1ccm 宛ヲ注射スル。

又血清ヲ非特異性療法ノ意味ニ用フルニハ、「ヂフテリー」血清 1-5ccm ヲ筋肉内ニ注射スル。

此他「ヤトレン・カゼイン」 Yatrenkasein, 其他種々ナル名稱ノ下ニ各種ノ製劑ガ販賣セラル。

精製硫黃 Sulfur depuratum モ亦屢々非特異性刺戟療法ノ意味ニテ、慢性「ロイマチス」等ノ際ニ筋肉内ニ注射セラル。之ニハ 2mg (「オレフ」油中ニ於ケル 1% 溶液 2ccm) ヨリ初メ、中等度ノ反應ノ現ハレル迄用量ヲ増加スル(例ヘバ 5mg)。次回ノ注射ハ反應ガ消失シタ後デナケレバナラヌ。例ヘバ一週一回、全體トシテ 6-8 回注射スル。但シ衰弱者又ハ心臓病者ニハ禁忌デアル。

REGISTER

- A**
- 「アダリン」 107, 324
  - 「アダモン」 118
  - 「アドニチン」 208
  - 「アドレナリン」
    - 交感神經興奮劑トシテ 157
    - 氣管枝痙攣除去劑トシテ 181
  - 強心劑トシテ 197
  - 局所止血劑トシテ 283
  - 臟器製劑トシテ 305
  - 子宮收縮作用 317
  - 「アガリチン」 172, 173
  - 「アグリチン」 217, 218
  - 「アイロール」 395, 424
  - 「アコイン」 153
  - 「アコニチン」 154
  - 「アクトール」 403, 405
  - 「アミドアゾトルオール」 448
  - 「アミノ酸」 314
  - 「アムモニア」 83, 174, 441
  - 「アムモニア」茴香精 189
  - 「アムモニア」水 441
  - 「アムモニウム」鹽 188
  - 「アンチフェブリン」 140
  - 「アンチモン」化合物 354
  - 「アンチピリン」
    - 鎮痛劑トシテ 122, 123
    - 解熱劑トシテ 134, 138
  - 「アントラツェン」誘導體 261
  - 「アナフィラキシー」 455
  - 「アネステジン」 152
  - 「アニリン」色素 412
  - 「アニス」油 236
  - 「アペリトール」 265
  - 「アポモルヒネ」 244
  - 「アリピン」 152
  - 「アリストヒン」 180
  - 「アロイドリン」 111
  - 「アルブチン」 356
  - 「アルブモーゼ」 314
  - 「アルファナフトール」 379
  - 「アルカリ」性鹽泉 238
  - 「アルカリ」劑 227
  - 「アルキール」合成 59
  - 「アルコール」
    - 局所麻酔劑トシテ 53
    - 消毒劑トシテ 408
  - 「アルコール」劑
    - 呼吸中樞興奮劑トシテ 174
    - 中樞神經系興奮劑トシテ 78
    - 強心劑トシテ 199
    - 胃液分泌亢進劑トシテ 236
  - 「アルミニウム」化合物 425
  - 「アルゾール」 426
  - 「アセチル」合成 57
  - 「アセチルザリチル」酸 124, 141, 333
  - 「アスピリン」 124, 141, 333
  - 「アトファン」 311, 313
  - 「アトロピン」
    - 中樞神經系興奮劑トシテ 82
    - 副交感神經麻痺劑トシテ 166
    - 呼吸中樞興奮劑トシテ 174
    - 氣管枝痙攣除去劑トシテ 181
    - 心臓搏動障礙ニ對スル藥劑トシテ 212
    - 子宮弛緩作用 317
  - 「アトロピン」中毒 170
  - 「アトロピン」中毒ノ療法 172
  - 「アウラミン」 412

- 亞濃散 419  
 亞鉛中毒ノ療法 420  
 亞鉛化合物 418  
 亞鉛華 419  
 亞鉛華「 Pasta 」 419  
 亞鉛華油 419  
 亞砒酸 304  
 亞砒酸「カリウム」液 304  
 亞細亞丸 304  
 亞「クロール」汞 342, 400  
 亞麻仁油 451  
 亞酸化窒素 99  
 亞硝酸「アミル」 212, 213  
 亞硝酸「ナトリウム」 214  
 亞硝酸鹽類 212  
 阿片劑  
 ——鎮痛劑トシテ 124  
 ——制瀉劑トシテ 273  
 阿片「アルカロイド」  
 ——鎮咳劑トシテ 177  
 阿片丁幾 275  
 阿片越幾斯 273  
 阿片末 132, 275  
 阿片吐根散 177  
 阿魏 119  
 阿仙藥 418  
 安息香酸 185  
 安息香酸「ナトリウム」 276  
 安息香酸「ナトリウム・コフェイン」  
 77, 196  
 Abführmittel 247  
 Abstinenzsymptome 129  
 Acetanilid 140  
 Acetum saturninum 422  
 Acetylerster des Tannins 270  
 Acetylsalicylsäure 124, 141, 333  
 Acetylsalicyltheobromin 218  
 Acetylsynthesen. 57  
 Acidum aceticum 429  
 Acidum arsenicosum 304  
 Acidum benzoicum 185  
 Acidum boricum 411  
 Acidum camphoricum 173  
 Acidum carbolicum 190 372  
 Acidum carbolicum liquefactum 375  
 Acidum chromicum 432, 433  
 Acidum citricum 226  
 Acidum gallicum 418  
 Acidum hydrochloricum dilutum 225  
 Acidum lacticum 429  
 Acidum nitricum 429  
 Acidum nitricum fumans 429  
 Acidum nitricum nitrosum 429  
 Acidum phosphoricum 226  
 Acidum salicylicum 385, 444, 445  
 Acidum tannicum 284, 418  
 Acidum tartaricum 226  
 Acidum trichloroaceticum 429  
 Acidum pyrogallicum 378  
 Acidum cinnamyllicum 185  
 Acoinum 153  
 Aconitin 154  
 Acria 236  
 Actol 403, 405  
 Adalin 107  
 Adamonum 118  
 Adeps Lanae cum Aqua 451  
 Adeps Suillus 449  
 Adonidin 208  
 Adrenalin 157, 160, 181, 197, 283, 305,  
 317  
 Adrenalinum hydrochloricum 198  
 Adsorptionsvorgänge 45  
 Adstringentia 268, 414  
 Adstringierende Fernwirkung 286  
 Aether bromatus 98  
 Aether chloratus 99, 142  
 Aether pro narcosi 97  
 Aethylmorphinum hydrochloricum 178,  
 442

- Agaricinum 172, 173  
 Agurin 217, 218  
 Airol 395, 424  
 Akoin 153  
 Aktive Immunität 453  
 Akute Kreislaufinsuffizienz 194  
 Alaun 425  
 Albumose 314  
 Alkalien 227  
 Alkalikarbonate 238  
 Alkalische Mineralwässer 238  
 Alkohol 153, 408  
 Alkoholica 78, 199, 236  
 Alkylsynthesen 59  
 Allgemeine Hämostatikum 285  
 Allylschwefelharnstoff 449  
 Aloudrin 111  
 Aloë 264  
 Alsol 426  
 Alterantia 290  
 Alumen 425  
 Alumen ustum 426  
 Aluminiumacetat 425  
 Aluminiumacetatlösung 426  
 Aluminiumacetico-tartaricum 426  
 Aluminiumsulfat 426  
 Aluminiumsulfricum 426  
 Aluminiumverbindungen 425  
 Alypin 152  
 Amara 233  
 Amidoazotoluol 448  
 Ammoniak 441  
 Ammonium bromatum 117  
 Ammonium chloratum 190  
 Ammoniumchlorid 190  
 Ammoniumsalze 188  
 Ammonium sulfoichthyolicum 383  
 a-Monojodisovalerianylharnstoff 296  
 Amylenhydrat 111  
 Amylium nitrosum 213  
 Amylnitrit 212, 213  
 Analgetica 121  
 a-Naphthol 379  
 Anaphylaxie 455  
 Anhydrid 316  
 Anilinfarbstoffe 412  
 Antagonismus 30, 32  
 Antanaemica 276  
 Antaphrodisiakum 324  
 Anthelminthica 362  
 Anthracenderivate 261  
 Antidyspnoica 175  
 Antifebrin 140  
 Antihydrotica 173  
 Antimonverbindungen 354  
 Antineuralgia 122  
 Antipruritika 443  
 Antipyretica 133  
 Antipyrin 122, 123, 134, 138  
 Antipyrinaminomethansulfonsaures  
 Natrium 132  
 Antiseptika 369  
 Antiseptika der aromatischen Reihe 369  
 Aperitol 265  
 Apfelsaure Eisentinktur 280  
 Aphrodisiakum 324  
 Apomorphin 244  
 Apomorphinhydrochlorid 245  
 Apomorphinum hydrochloricum 245  
 Aqua amygdalarum hydrochloricum 185  
 Aqua Calcariae 397  
 Aqua Calcis 397  
 Aqua carbolisata 375  
 Aqua carbolisata pro desinfectione 375  
 Aqua cresolica 376  
 Aqua foeniculi 236  
 Aqua Goulardi 422  
 Aqua Kummerfeldtii 446  
 Aqua Pruni armeniaca 185  
 Aqua Pruni macrophyllae 185

Aque Baelzi 452  
 Arbutin 356  
 Argentum colloidal 405  
 Argentum citricum 405  
 Argentum lacticum 405  
 Argentum nitricum 404  
 Argentum nitricum cum Kalio  
 nitrico 430  
 Argentum proteinicum 404  
 Argyrie 402  
 Argyrose 402  
 Aristochinum 180  
 Aromatica 236  
 Arsenpräparate 286  
 Arsenverbindungen 300, 343  
 Asa foetida 119  
 Aspirin 124, 141, 333  
 Atophan 311, 313  
 Atropin 82, 166, 181, 212, 247  
 Atropinum sulfuricum 83, 171, 181, 212,  
 241  
 Atropinvergiftung 170  
 Äther 86  
 Ätherische Öle 192, 360  
 Ätherschwefelsäuresynthesen 58, 371  
 Äthylbromid 98  
 Äthylchlorid 99, 142, 443  
 Äthylhydrocupreinum 329  
 Äthylmorphin 178  
 Äthylphenylbarbitursäure 109  
 Ätzalkali 426  
 Ätzkalk 396  
 Ätzmittel 426  
 Auramin 125  
 Ausscheidung 63  
 Ausscheidungsnephritis 67  
 Ausscheidungstypus 64  
 Autonomes Nervensystem 156, 157  
 Axungia Porci 451

## B

「バイエル」205號 51, 353  
 「バクチ」水 185  
 麥角 317, 320  
 麥角中毒 317  
 麥角越幾斯 320  
 麥角流動「エキス」320  
 「ベンゾール」282, 369  
 「ベンチールモルフィン」178  
 「ベラドンナ」越幾斯 239  
 「ベラドンナ」劑 238  
 「ベルツ」水 452  
 「ベタイミノアゾリルエチラミン」317  
 「ベタナフトール」379, 380  
 —腸管防腐劑トシテ 241  
 「ビタミン」A 315  
 「ビタミン」B製劑 316  
 「ビスモゲノール」352  
 白檀油 362  
 病原=作用スル藥物 325  
 病的状態=於ケル藥物ノ吸收 23  
 病的状態=於ケル藥物ノ分布 48  
 病的状態=於ケル藥物ノ作用 36  
 病的状態=於ケル藥物ノ排泄 72  
 「ボムベロン」流動「エルゴチン」320  
 「ボロウエルチン」359  
 「ボルニヴァール」118  
 防疫用石炭酸水 375  
 膀胱ヨリノ吸收 12  
 芒硝 252, 253  
 沒食子酸 418  
 「ブレンツカテヒン」376  
 「プロバリン」108  
 「プロミピン」117  
 「プロモフォルム」180  
 「プロムラール」108, 324  
 ブロード氏炭酸鐵丸 280  
 「ブROOMエチル」98  
 「プロモコル」

—鎮靜劑トシテ 117  
 —鎮痒劑トシテ 443  
 「ブROOMエーテル」98  
 「ブROOM」水素酸「ホモアトロピン」  
 172  
 「ブROOM」水素酸「スコボラミン」120  
 部分麻酔 147  
 葡萄酒 97, 238  
 分解 60  
 分泌亢進劑 233  
 分泌抑制劑(痰) 182, 190  
 分泌抑制劑(胃液) 238  
 Balsamum Copaiva 360, 361  
 Balsamum Peruvianum 384  
 Basisch gallussaures Wismut 424  
 Bayer 205 51, 353  
 $\beta$ -Iminoazolyäthylamin 319  
 Benzoësaures Natrium 276  
 Benzol 282  
 Benzoyl-pseudotropin 152  
 Benzylmorphin 178  
 Benzylmorphinum hydrochloricum 179  
 Biogene Amine 60  
 Bismogenolum 352  
 Bismutum subcarbonicum 273  
 Bismutum subgallicum 273, 424  
 Bismutum subnitricum 238, 271  
 Bismutum tribromphenolicum 424  
 Bittermittel 233  
 Bittersalz 155, 252, 253  
 Blasenziehende Präparate 440  
 Blaudsche Pillen 280  
 Bleiacetat 422  
 Bleiessig 422  
 Bleipflaster 423  
 Bleiverbindungen 420  
 Bleizucker 420, 422  
 Blutserum 289  
 Blutstillendes Mittel 282  
 Bolus alba 269

Borax 409, 411  
 Bornyvalum 118  
 Boroglycerinum 411  
 Borovertinum 3 59  
 Borsalbe 411  
 Borsäure 401, 411  
 Borzinksalbe 411  
 Brechweinstein 354, 356  
 Brenzkatechin 376  
 Bromalhydrat 111  
 Bromammonium 115, 117  
 Bromäthyl 98  
 Bromdiäthylacetamid 111  
 Bromdiäthylacetylarnstoff 107  
 Bromide 66  
 Bromipinum 117  
 Bromisovalerianylarnstoff 108  
 Bromkachexie 114  
 Bromkalium 115, 116  
 Bromkaliumvergiftung 114  
 Bromnatrium 115, 117  
 Bromocollum 117, 443  
 Bromoform 180  
 Bromsalze 111  
 Bromural 108  
 Burowsche Flüssigkeit 426  
 $\beta$ -Naphthol 379, 380

## C

「チアン」水銀 342  
 「チミアン」製劑 181  
 「チモール」  
 —腸管防腐劑トシテ 241  
 —利膽劑トシテ 276  
 —驅蟲劑トシテ 364, 365  
 「チオジナミン」449  
 「チオコール」194  
 「チオール」383  
 「チレオグロブリン」308  
 「チレオイデン」221, 311



「チラデン」 311  
「チラミン」 317  
「チロキシ」 308, 311  
蓄積作用 27, 201  
致死量 25  
鎮咳劑 176  
鎮靜劑 111  
鎮痛劑 121  
鎮痒劑 443  
沈降硫黃 446  
丁香油 236  
腸ノ吸收 8  
腸管防腐劑 240  
腸收斂劑 270  
調節的反作用 25  
調節的療法 2  
腔ヨリノ吸收 12  
注腸 11  
注射 17  
中毒量 25  
中樞神経系興奮劑 73  
中樞神経系ニ作用スル藥物 73  
Carbaminsäureäthylester 110  
Carbaminsäureester eines  
Dichlorisopropylalkohols 111  
Carbaminsäuretrichloräthylester 110  
Calcaria chlorata 390  
Calcium 349  
Calcium bromatum 117  
Calciumbromid 117  
Calcium chloratum fusum 287  
Calciumchlorid 287  
Calcium hypochlorosum 390  
Calcium lacticum 287  
Calciumlaktat 287  
Calciumoxyd 396  
Calciumsalze 285  
Camphora 75, 324, 441, 443  
Cannabinol 133  
Cantharides 439

Carbo ossium pulveratus 269  
Carbolzinkliniment 443  
Carminativa 263  
Cascastra sagrada 263  
Caseosan 458  
Cotarnin 324  
Cera alba 451  
Cera flava 451  
Cerium oxalicum 247  
Cetechu 418  
Charta sinapisata 384  
Chemische Umwandlung 53  
Chelidonin 179  
Chinin 52, 140, 210, 322, 325  
Chinidin 210  
Chininderivate 329  
Chinidinum sulfuricum 211  
Chiningruppe 124  
Chininkohlensäureäthylester 180  
Chininkohlensäureester 180  
Chininum hydrochloricum 141, 328  
Chloralamid 111  
Chloralformamid 111  
Chloralhydrat 104  
Chloralismus 103  
Chloralum hydratum 101, 104  
Chloräthyl 99, 142  
Chloreton 111  
Chlorkalk 390  
Chloroform 86, 96, 153  
Chloroform pro narcosi 97  
Chlorsäures Kalium 388  
Chlorzink 430  
Cholagoga 276  
Cholin 166  
Chromsäureanhydrid 433  
Chromtrioxyd 433  
Chrysarobin 378  
Chrysophansäure 261  
Cocain 246

Cocainum hydrochloricum 149  
Codein 177  
Codeinum phosphoricum 178  
Coffein 76, 195, 208  
Coffeinum natriobenzoicum 74, 196  
Coffeinum natrio-salicylicum 77, 196  
Colchicin 313  
Collargol 405  
Coniin 156  
Convallamarin 208  
Copaivabalsam 361  
Ceramium 76  
Corpus pituitarium 320  
Cortex Cascariellae 235  
Cortex chinae 235  
Cortex condurango 234  
Cortex Frangulae 262, 263  
Cortex Granati 369  
Cortex Rhamni Purshianae 263  
Cotarninum hydrochloricum 324  
Credesche Methode 404  
Cresolum crudum 376  
Cubebae 362  
Curarin 156  
Cuprum aluminatum 432  
Cuprum sulfuricum 246, 431

## D

ダーカン氏液 391  
大腸興奮劑 261  
大黃  
——瀉下劑トシテ 261, 262  
——子宮收縮作用 317  
大黃丁幾 262  
大黃越幾斯 262  
大黃舍利別 262  
脱脂乳 438  
「デルマトール」  
——制瀉劑トシテ 273  
——收斂劑トシテ 424  
傳道麻醉 143, 148, 151  
「ドール」散 177  
「ドルミオール」 111  
銅馨 432  
銅中毒ノ療法 432  
銅化合物 430  
Dakinsche Natriumhypochloritlösung 391  
Dampfkalomel 342, 400  
Darmadstringentia 270  
Darmantiseptikum 241  
Decoctum Chinae 235  
Decoctum condurango 235  
Deckmittel 449  
Dermatol 273, 424  
Desinfektion 412  
Desinfektion der Hand 412  
Desinfektion der Instrumente 413  
Desinfektion der Nahtmaterial 413  
Desinfektion der Schleimhaut 413  
Desinfektion der Verbandmaterial 414  
Desinfektion des Operationsfeldes 412  
Desinficientia specifica 325  
Dormiol 111  
Dosis letalis 25  
Dosis maxima pro dosi et pro die 25  
Dosis medicinalis 25  
Dosis toxica 25  
Diacetylmorphin 179  
Diacetylmorphinum hydrochloricum 179  
Diacetyltannin 270  
Dial 110  
Diallylbarbitursäure 110  
Diaphoretica 164  
Diastase 276  
Diäthoxyäthylidiphenylamidin 153  
Diäthylbarbitursäure 105  
Diäthylmalonylharnstoff 105  
Diäthylsulfondimethylmethan 108  
Dickdarmerregende Mittel 261  
Dicodid 179

Dibrombehensaures Calcium 117  
 Digalen 197, 207  
 Digenia simplex 364  
 Digifolin 197, 207  
 Digipuratum 197, 207  
 Digitalis 201, 209  
 Digitalisgruppe 215  
 Digitamin 197  
 Dihydrocodein 179  
 Dihydromorphin 129  
 Dihydrooxycodion 179  
 Dijodbrassidinsäureäthylester 296  
 Dijodhydroxypropan 297  
 Dijodtaririnsäure 296  
 Dimethylamidobenzoylpentanol 152  
 Dimethylaminoantipyrin 139  
 Dimethylxanthin 217  
 Dinatriumphosphat 254  
 Dionin 178, 442  
 Dioxymethylantrachinon 261  
 Dioxypurin 76  
 Diphtherieserum 454, 456  
 Diuretica 215  
 Diuretin 217, 218  
 Duotal 194  
 Dünndarmerregende Mittel 257

## E

「エチルヒドロクブレイン」329  
 「エチルモルフィン」178  
 「エチル」炭酸「キニーネ」180  
 「エメチン」64, 352  
 「エモジン」261  
 「エラルソン」305  
 「エレクトラルゴール」405  
 「エリコリン」356  
 「エルゴチニン」317  
 「エルゴタミン」317, 319  
 「エルゴトキシシン」317, 319  
 「エーテル」86, 97

——「クロロフォルム」トノ比較 92  
 「エーテル」麻醉ノ術式 98  
 「エーテル」硫酸合成 58  
 「エーテル」性類草丁幾 118  
 「エーテル」性油類  
 ——祛痰劑 192  
 ——尿消毒劑 360  
 「エゼリン」161, 163  
 鹽化「アドレナリン」160, 198  
 鹽化「カルシウム」287  
 鹽化鐵溶液 284  
 鹽基性「エチルヒドロクブレイン」329  
 鹽基性「オプトヒン」329  
 鹽剝 390  
 鹽酸「アボモルヒネ」245  
 鹽酸「エチル・モルヒネ」178, 442  
 鹽酸「エメチン」353  
 鹽酸「ヘロイン」179  
 鹽酸「ヒドラスチニン」323  
 鹽酸「ホロカイン」153  
 鹽酸「デオニン」178, 442  
 鹽酸「キニーネ」141, 322, 328  
 鹽酸「コカイン」149  
 鹽酸「コタルニン」324  
 鹽酸「モルヒネ」131, 175  
 鹽酸「ババヴェリン」125  
 鹽酸「ペロニン」179  
 鹽酸「ピロカルピン」165  
 鹽酸「ヨヒンビン」325  
 鹽類下劑 250  
 鹽類作用 232  
 鉛醋 422  
 鉛糖 420, 422  
 壞疽性慢性麥角中毒 319  
 Eisenalbuminatlösung 281  
 Eisenchlorid 284  
 Eisenchloridlösung 284  
 Eisenpräparate 276  
 Eiweisspräparate 314  
 Elarson 305

Elektrargol 405  
 Emetika 243  
 Emetin 64, 352  
 Emetinum hydrochloricum 353  
 Emodin 261  
 Emplastrum cantharidum 440  
 Emplastrum Hydrargyri 341  
 Emplastrum Lithargyri 423  
 Emplastrum Plumbi 423  
 Entgiftungsvorgang 58  
 Epicauta Gorhami 439  
 Epithelauflösendes Mittel 444  
 Erdnussöl 451  
 Erethismus mercurialis 338  
 Erfrischungsmittel 227  
 Ergotamin 317  
 Ergotinin 317  
 Eagotinum Bombelon fluidum 320  
 Ergotismus 318  
 Ergotismus convulsivus 319  
 Ergotismus gangraenosus 319  
 Ergotoxin 317, 319  
 Erikolin 356  
 Ersatz der Blut-und Gewebsflüssigkeit 199  
 Ersatzmittel d. Cocains 150  
 Erwachungsstadium 88  
 Eserin 161, 163  
 Essigsäure Tonerdelösung 426  
 Essigsäure 429  
 Eucaïn 443  
 Euchininum 180  
 Eucodal 179  
 Euphyllinum 219  
 Excitantia 73  
 Expectorantia 182  
 Extrasystole 210  
 Extractum Belladonnae 239  
 Extractum Cascara Sagradae fluidum 263  
 Extractum Condurango fluidum 235

Extractum Colocynthis 260  
 Extractum Cubeborum 362  
 Extractum Filicis 367  
 Extractum Hydrastis fluidum 323  
 Extractum Hypophysis 321  
 Extractum Opii 275  
 Extractum Scopoliae 239  
 Extractum Secalis Cornuti 320  
 Extractum Secalis Cornuti fluidum 320  
 Extractum Strychni 235  
 Extractum Rhei 262  
 Extrasystoläre Arrhythmie 211  
 Exzitationsstadium 87

## F

「ファゴール」194  
 「フェノール」  
 ——消毒劑及局所麻醉劑トシテ 372, 374  
 ——鎮痒劑トシテ 443  
 「フェノルフタレイン」265  
 「フェナセチン」123, 139  
 「フェラチン」281  
 「フィゾスチグミン」161  
 「フィプロリジン」449  
 フォーレル水 304  
 「フォルマリン」405, 407  
 「フォルマリン」水 407  
 「フォルマリン」中毒ノ療法 408  
 「フォルムアルデヒド」405  
 「フォルムアルデヒド」化合物 357  
 「フラングラ」皮 262, 263  
 「フルオレスチン」412  
 「フルオレスセイン」412  
 不完全心臓「ブロック」209  
 不溶性物質 268  
 覆盆子舍利別 316  
 覆方大黃丸 262  
 覆方「ゼンナ」浸 264  
 副交感神經興奮劑 161

副交感神経麻痺剤 166  
 腐蝕剤 426  
 沸騰散 227  
 Fermente 275  
 Ferratinum 281  
 Ferrolactat 280  
 Ferrum lacticum 280  
 Fettarten 315  
 Fette Stoffe 449  
 Fibrolysin 449  
 Filixextract 367  
 Fleischextrakt 314  
 Fleischfresser 224  
 Fleischsaft 314  
 Flores Koso 367, 368  
 Flores Sulfuris 446  
 Flores Zinci 419  
 Fluorescin 412  
 Folia Digitalis 207  
 Folia Hammamelidis 418  
 Folia uvae ursi 356, 357, 377  
 Formalin 405, 407  
 Formaldehyd 405  
 Formaldehydum solutum 407  
 Farmaldehydverbindungen 357  
 Formol 407  
 Folia Sennae 263, 264  
 Fructus Colocynthis 260  
 Fructus Tamarindi 256  
 Funktionelle Therapie 2

## G

含水「ラノリン」451  
 含水炭素製剤 315  
 合成 56  
 「ゲンチアナ」根 234  
 「ゲラチン」288  
 原因療法 1  
 芫菁 439  
 解毒現象 58

解熱剤 133  
 銀化合物 401  
 銀沈著症 240  
 「ゴア」末 378  
 「ゴム」鹽溶液 201  
 五倍子 418  
 五倍子丁幾 418  
 胡麻油 451  
 「グアヤコール」380  
 「グリセリン」267, 452  
 「グルクロン」酸合成 57  
 Gallae 418  
 Galläpfelgerbsäure 418  
 Gallusgerbsäure 418  
 Gallussäure 418  
 Gebrannter Alaun 426  
 Gebrannter Kalk 397  
 Gerbsäurepräparate 270  
 Gelatina alba 288  
 Gelatine 288  
 Gelbe od weisse Phosphor 297  
 Gelbes Wachs 451  
 Gelöschter Kalk 397  
 Gerbsäure 415  
 Gewebimmunität 29  
 Gewöhnung 26  
 Gewöhnung an Gifte 28  
 Glandula Thyroideae siccata 221, 311  
 Glandula Thyroidea pulverata 311  
 Glaubersalz 252, 253  
 Glukuronsäuresynthesen 57  
 Glycerinum 267, 452  
 Glycerinum boricum 411  
 Goapulver 378  
 Gratus-Strophanthin 197  
 Graue Salbe 341  
 Granatrinde 369  
 G. Strophantinum crystallisatum 197  
 Guajacol carbonicum 194  
 Guajacolum 380

Guajakolsulfosaures Kalium 194  
 Gummi Gutti 261  
 Gummi-Salzlösung 201  
 Gussnarkose 98  
 Gutti 261

## H

「ハマメリス」葉 418  
 「ハロゲン」390  
 肺ヨリノ排泄 70  
 肺ヨリノ吸収 14  
 排出型 64  
 排出性腎臓炎 67  
 白阿膠 288  
 白血球破壊剤 282  
 白降汞 401  
 白降汞軟膏 401  
 白蠟 45  
 白色「ワゼリン」452  
 白陶土 269  
 薄荷腦  
 ——腸管防腐剤トシテ 241  
 ——鎮痒剤トシテ 443  
 癩痕軟解剤 449  
 反射的呼吸停止 86  
 破傷風血清 456, 457  
 發汗薬 164  
 發疱膏 440  
 發疱剤 434, 440  
 發煙硝酸 429  
 發生機酸素 387  
 發揚期 87  
 「ヘドナル」110  
 「ヘキサメチレンテトラミン」358  
 「ヘキセトン」76  
 「ヘノボヂ」油 365, 366  
 「ヘレボレイン」208  
 「ヘリドニン」179  
 「ヘロイン」179  
 「ヘルミトール」359  
 變質剤 290  
 扁桃油 451  
 「ヒドラスチン」322  
 「ヒドラスチニン」322  
 「ヒドラスチス」流動「エキス」323  
 「ヒドラスチス」劑 322  
 「ヒドロエルゴチニン」317  
 「ヒドロヒノン」376, 377  
 「ヒマシ」油 257, 258, 267  
 「ヒニチン」210  
 「ヒオスチアミン」167  
 「ヒオスチン」119, 167  
 「ヒポフィジン」198, 306, 322  
 「ヒスタミン」317, 319  
 「ヒョリン」166  
 蕁麻疹 362  
 皮下注射 17  
 皮膚刺戟 174  
 皮膚刺戟剤 83, 433  
 皮膚ヨリノ吸収 13  
 皮膚及粘膜ニ作用スル藥物 369  
 皮膚及粘膜ヨリノ排泄 69  
 被覆剤 449  
 被働的免疫 453  
 平野水 227  
 砒素中毒ノ療法 305  
 砒素化合物  
 ——無機性砒素化合物 300  
 ——有機性砒素化合物 343  
 ——補血剤トシテ 281  
 砒鐵丸 281  
 非特異性療法 458  
 百日咳ニ用ヒラルル藥物 179  
 漂白粉 390  
 表面麻醉剤 148  
 「ホモアトロピン」172  
 補充拮抗作用 33  
 補充療法 3  
 補血剤 276  
 蒼木龍越幾斯 235

蕃木龍丁幾 235  
 縫合材料ノ消毒 413  
 芳香列ノ消毒劑 369  
 芳香丁幾 236  
 芳香劑 236  
 硼酸 409, 411  
 硼酸亞鉛華軟膏 411  
 硼酸「グリセリン」411  
 硼酸軟膏 411  
 硼砂 409, 411  
 抱水「アミレン」111  
 抱水「プロマル」111  
 抱水「クロラール」101, 104  
 抱水「テレピン」191  
 繃帶材料類消毒 414  
 Halogene 390  
 Harnatiseptica 356  
 Harnstoff 220, 221  
 Hautreize 174  
 Heutreizmittel 83, 433  
 Hämostatikum 282  
 Hedonal 110  
 Helleborein 208  
 Helmitolum 359  
 Herba Absinthii 235  
 Heroin 179  
 Heroinhydrochlorid 179  
 Hepar sulfuris 446  
 Hexamethylentetramin 358  
 Hexamethylentetramintriborat 359  
 Hexetonum 76  
 Hg 化合物 208  
 Histamin 317, 319  
 Holocainum hydrochloricum 153  
 Homatropin 172  
 Homatropinum hydrobromicum 172  
 Holzteer 381, 382  
 Höllenstein 404  
 Hustenmittel 176  
 Hydrargyrum salicylicum 342

Hydrargyrum bichloratum 399  
 Hydrargyrum bichloratum ammoniatum 401  
 Hydrargyrum chloratum 222, 257, 342, 400  
 Hydrargyrum chloratum vapore paratum 342, 400  
 Hydrargyrum cyanatum 342  
 Hydrargyrum oxycyanatum 342, 400  
 Hydrargyrum oxydatum flavum 400  
 Hydrargyrum oxydatum via humida paratum 400  
 Hydrargyrum praecipitatum album 401  
 Hydrastin 322  
 Hydrastinin 322  
 Hydrastininum hydrochloricum 323  
 Hydrastispräparate 322  
 Hydroergotin 317  
 Hydrochinon 376  
 Hydrocodeinon 179  
 Hydrogenium peroxydatum 284  
 Hydrogenium peroxydatum solum 388  
 Hyoscinum hydrobromicum 120  
 Hyoscyamin 167  
 Hypnotica 99  
 Hypophyenpräparate 198, 305, 320  
 Hypophysin 198, 322  
 Hyoscin 119, 167

## I

「イオン」作用 232  
 「イヒチオール」382, 383, 419  
 「イヒタルガン」405  
 「インフンディプリン」321  
 「インシュリン」306  
 「イソフォルム」395  
 「イソプラール」111  
 「イスタチン」265  
 「イトロール」403, 405  
 胃ノ吸收力 5

引赤劑 434  
 印度大麻 133  
 硫黄 265  
 硫黄合成 59  
 硫黄華 446  
 硫黄浴 445  
 Ichtharganum 405  
 Ichthyol 381, 382, 383, 419  
 Ichthyolsilberverbindung 405  
 Idiosynkrasie 26  
 Infiltrationsanästhesie 148, 149  
 Infundibulin 321  
 Infusum Sennae compositum 264  
 Inhalationsanästhetika 84, 95  
 Injektion in die serösen Höhlen 23  
 Insulin 306  
 Intramuskuläre Injektion 20  
 Intravenöse Injektion 20  
 Intravenöse Injektion 20  
 Isoform 395  
 Isopral 111  
 Isovaleriansäurediäthylamid 118  
 Istizin 265  
 Ipecacuanha 186  
 Itorol 403, 405

## J

「ジロリン」194  
 「デアール」110  
 「デアセチルモルフィン」179  
 「デアスターゼ」276  
 「デフテリー」血清 454, 456  
 「デガレン」197, 207  
 「デギフォリン」197, 207  
 「デギタミン」197, 207  
 「デギタリス」  
 ——強心劑トシテ 201  
 ——搏動障礙ニ對スル藥劑トシテ 209  
 ——利尿劑トシテ 215  
 「デギタリス」製劑 196

「デギタリス」丁幾 207  
 「デギタリス」葉 207  
 「デギフラツーム」197, 207  
 「デヒドロモルフィン」179  
 「デコデッド」179  
 「デメチルキサンチン」217  
 「デオキシデアミノアルゼノベンゾール」343  
 「デオキシブーリン」76  
 「デオニン」  
 ——鎮咳劑トシテ 178  
 ——皮膚劑載劑トシテ 442  
 「デブレチン」217, 218  
 時間的「ポテンチールング」31  
 自働的免疫 453  
 自律神經系ニ作用スル藥物 156  
 自律神經系 157  
 人工「カルルス」泉鹽 255  
 人工「セルテル」水 227  
 腎臟機能ニ作用スル藥物 215  
 腎臟ヨリノ排泄 63  
 次亞「クロール」酸「ナトリウム」液 391  
 次没食子酸蒼鉛 273, 424  
 次醋酸鉛液 422  
 次硝酸蒼鉛 238, 272  
 次炭酸蒼鉛 273  
 次「ザルチル」酸蒼鉛 273  
 滋養劑 313  
 蒸氣製甘汞 342, 400  
 上皮形成促進劑 448  
 上皮溶解藥 444  
 線蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 366  
 靜脈内注射 20  
 純「アルコール」409  
 循環器ニ作用スル藥物 194  
 重金屬鹽  
 ——腐蝕劑 429  
 ——收斂劑 418  
 ——消毒劑 397  
 重酒石酸「カリウム」254

重質煅製「マグネシア」254  
 重炭酸「ナトリウム」230  
 十二指腸蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 364  
 鞣酸 415  
 鞣酸劑  
 ——腸收斂劑トシテ 270  
 「ゼネガ」根 183  
 「ゼネガ」舍利別 183  
 「ゼカコルニン」320  
 「ゼンナ」葉 263, 264  
 全身麻醉法 98  
 全身止血劑 285  
 Jod 391, 394  
 Jodammonium 295  
 Jodeisensirup 28  
 Jodglyzerin 394  
 Jodipinum 296  
 Jodivalum 296  
 Jodkalium 64, 295  
 Jodklisalbe 296  
 Jodnatrium 295, 296  
 Jodoform 394  
 Jodoformkollodium 395  
 Jodostarinum 296  
 Jodothyrin 308  
 Jodpräparate 290  
 Jodsalze 188  
 Jothion 297  
 Jodthyrinum 311  
 Jodtinktur 394  
 Jodum 394

## K

「カゼオザン」458  
 「カ、オ」脂 457  
 「カコヂル」酸「ナトリウム」305  
 「カマラ」368  
 「カムフル」  
 ——中樞神經系興奮劑トシテ 73, 75  
 ——呼吸中樞興奮劑トシテ 174  
 ——強心劑トシテ 194

——制淫劑トシテ 324  
 ——皮膚刺戟劑トシテ 441  
 ——體內ニ於ケル運命 58  
 「カムフル」酸 173  
 「カムフル」丁幾 441  
 「カムフル」油 75  
 「カムフル・オレフ」油 195  
 「カンナビノール」133  
 「カンタリス」439  
 「カンタリス」硬膏 440  
 「カリ」濾液 428  
 「カリ」石驗 448  
 「カルモチン」108  
 「カルシウム」349  
 「カルシウム」鹽 285  
 「カスカラサクラダ」263  
 「カスカラサクラダ」流動越幾斯 263  
 「カスカラ」235  
 「カストル」油 257  
 「カワ」361  
 過敏性 26, 27  
 蝨蟲驅除ニ用ヒラルル藥物 363  
 灰白軟膏 341  
 海人草 364  
 海仁草 364  
 過「クロール」鐵液 284  
 過「マンガン」酸加里 385, 387  
 過酸化水素  
 ——止血劑トシテ 284  
 ——酸化劑トシテ 387, 388  
 覺醒期 88  
 苛味劑 236  
 角質溶解劑 444  
 浣腸 266  
 灌注麻醉法 89  
 還元 62  
 完全心臓「ブロック」209  
 甘汞  
 ——利尿劑トシテ 222  
 ——腸管防腐劑トシテ 241

——瀉下劑トシテ 256, 257  
 ——驅蟲劑トシテ 342  
 ——消毒劑トシテ 400  
 甘味劑 316  
 寒冷麻醉劑 142  
 間接的止血劑 289  
 乾燥「チオール」383  
 乾燥甲狀腺 221  
 乾燥及粉末甲狀腺 311  
 肝油 315  
 芥子 437  
 芥子泥 437  
 芥子紙 437, 438  
 加里鹽類 219  
 苛性「アルカリ」426  
 苛性「カリ」427  
 煅製「マグネシア」  
 ——胃分泌抑制劑トシテ 238  
 ——瀉下劑トシテ 253, 254  
 煅製石灰 396  
 滑石 238  
 可溶性枸橼發銅 432  
 可溶性蛋白粉 314  
 「ケレン」99, 142  
 桂皮油 236  
 桂皮酸 185, 186  
 痙攣性慢性麥角中毒 399  
 血管收縮劑 159  
 血管擴大劑 212  
 血清 289  
 血清病 455  
 血液補給 199  
 血液及造血臟器ニ作用スル藥物 267  
 健胃丁幾 235  
 健胃劑 233  
 結晶性G「ストロファンチン」197  
 結膜囊ヨリノ吸收 13  
 「キナ」煎 235  
 「キニーネ」  
 ——體內ニ於ケル分布 52

——鎮痛劑トシテ 124  
 ——解熱劑トシテ 140  
 ——局所麻醉劑トシテ 154  
 ——心臓搏動障礙ニ對スル藥劑トシテ 210  
 ——子宮緊縮劑トシテ 322  
 ——「マラリア」特效藥トシテ 325  
 「キニーネ」類 180  
 「キニーネ」誘導體 329  
 「キサランチン」76  
 「キセロフォルム」395, 424  
 稀鹽酸 225  
 期外收縮 210  
 期外收縮性不規則脈 211  
 稀次醋酸鉛液 422  
 器械ノ消毒法 413  
 氣管枝痙攣除去劑 181  
 拮抗作用 30, 32, 34  
 規那丁幾 235  
 規鐵丸 280  
 規那皮 235  
 禁斷症狀 129  
 筋肉内注射 20  
 機能的療法 2  
 生石灰 396  
 生石灰末 397  
 纈草丁幾 118  
 纈草根 117, 118  
 極量 25  
 祛痰丸 191  
 祛痰合劑 190  
 祛痰劑 182  
 局所麻痺 147  
 局所麻醉劑 142  
 局所止血劑 283  
 杏仁水 185  
 協力 30  
 強酸類 428  
 吸着現象 45  
 吸著劑 241

- 吸入剤 190  
 吸入麻酔剤 84, 95  
 吸収防止剤 250  
 嗅入剤 174  
 急性循環機能不全ニ用ヒラルル  
 薬物 194  
 「コアグレン」285  
 「コデイン」177  
 「コフェイン」  
 —中樞神経興奮剤トシテ 76  
 —呼吸中樞興奮剤トシテ 174  
 —強心剤トシテ 195, 208  
 「コカイン」  
 —局所麻酔剤トシテ 142  
 —制吐剤トシテ—246  
 —鎮痒剤トシテ 443  
 「コカイン」中毒 146  
 「コカイン」中毒ノ療法 150  
 「コカイン」ノ代用薬 150  
 「コンヂュランゴ」皮 234  
 「コンヂュランゴ」皮煎 235  
 「コンヂュランゴ」流動越幾斯 235  
 「コンヂュランゴ」酒 235  
 「コンヅアラマリン」208  
 「コニイン」156  
 「コパイババルサム」360, 361  
 「コラミン」76  
 「コロヂウム」452  
 「コロンボ」根 235  
 「コロシント」越幾斯 260  
 「コロシント」實 260  
 「コルヒチン」313  
 「コルラルゴール」405  
 「コロロイド」銀 403, 405  
 「コソ」花 367, 368  
 「コタルニン」324  
 汞毒性口内炎 337  
 汞毒性神経過敏症 338  
 汞毒性震顫 338  
 興奮期 87  
 皓礬 419  
 枯礬 426  
 甲状腺製剤  
 —利尿剤トシテ 221  
 —臓器製剤トシテ 308  
 交感神経及副交感神経 156  
 交感神経興奮剤 157  
 呼吸器系ニ作用スル薬物 174  
 呼吸中樞興奮剤 174  
 呼吸鎮静剤 175  
 混合麻酔 93  
 鑑酸 223  
 鑑泉 227  
 抗神経痛剤 122  
 骨炭末 269  
 「クベバエキス」362  
 「クベバ」子 362  
 クムメルフェルド氏液 446  
 「クラリン」156  
 「クレオソート」  
 —結核剤トシテ 193  
 —腸管防腐剤トシテ 241  
 —外用薬トシテ 380  
 「クレオソート」劑 192  
 クレーデ氏法 404  
 「クレゾール」375  
 「クレゾール」石鹼液 376  
 「クレゾール」水 376  
 「クリザロビン」378  
 「クリザロビン・トラウマチチン」379  
 「クリゾファン」酸 261  
 「クロム」酸 432, 433  
 「クロラール」中毒 103  
 「クロラールフルマミッド」111  
 「クロレトン」111  
 「クロロフォルム」  
 —吸入麻酔剤トシテ 86, 96  
 —「エーテル」トノ比較 92  
 —局所麻酔剤トシテ 153  
 「クロ、フォルム」麻酔ノ術式 97

- 「クロール」亞鉛 430  
 「クロールアミン」391  
 「クロールアムモニウム」190  
 「クロール」中毒ノ療法 391  
 「クロール・エチル」  
 —吸入麻酔剤トシテ 99  
 —局所麻酔剤トシテ 142  
 —鎮痒剤トシテ 443  
 「クロール」酸「カリウム」388, 390  
 「クロール」石灰 390  
 「クロール」石灰水 391  
 「クロトン」油 259  
 驅蟲剤 362  
 驅風剤 266  
 果物 256  
 苦土大黃散 262  
 苦扁桃水 185  
 苦味丁幾 234  
 苦味劑 233  
 苦艾 235  
 枸橼酸 226  
 枸橼酸銀 403, 405  
 枸橼酸「ナトリウム」199  
 Kali causticum 427  
 Kalilauge 428  
 Kalisalze 219  
 Kaliseife 448  
 Kaliumacetatlösung 220  
 Kalium-Aluminiumsulfat 425  
 Kalium bitartaricum 255  
 Kalium bromatum 116  
 Kaliumchlorat 390  
 Kalium chloricum 388, 390  
 Kaliumhydroxyd 427  
 Kalium jodatum 188, 296  
 Kaliumjodid 296  
 Kaliumnitrat 220  
 Kalium nitricum 220  
 Kaliumpermanganat 385, 387  
 Kalium permanganicum 387  
 Kalium sulfuratatum 446  
 Kalium tartaricum 254  
 Kalkmilch 397  
 Kalkwasser 396, 397  
 Kalomel 222, 241, 256, 257, 342, 400  
 Kälteanästhesie 142  
 Kamala 368  
 Kampfer 58, 73, 75, 194, 324  
 Kampfersäure 173  
 Karbolsäure 372, 374, 443  
 Kastoröl 258  
 Kausale Therapie 1  
 Kawa-Kawa 361  
 Kelen 99, 142  
 Keratolytica 444  
 Klystier 266  
 Koagulen 285  
 Kochsalzfeber 200  
 Kochsalzwasser 231  
 Kochsalz 246, 287  
 Kohlehydratepräparate 315  
 Kohlensäure 266, 442  
 Kohlensäurebäder 442  
 Kokain 142  
 Kokainhydrochlorid 149  
 Kokainvergiftung 146  
 Kollodium 452  
 Kolloidales Silber 403  
 Kosoblätter 368  
 Kreosotum 192; 193, 380  
 Kreosotum carbonicum 194  
 Kresole 375  
 Krotonöl 259  
 Kubeben 362  
 Kubebenextrakt 362  
 Kumulation 27, 203  
 Kupfersulfat 245, 246, 431  
 Kupfervitriol 246, 431  
 Kupferverbindungen 430  
 Künstliches Karlsbader Salz 255

## L

Labarraques Bleichwasser 391  
 Lachgas 99  
 Lac sulfuris 446  
 Laktophenin 139  
 Laktylphenetidin 139  
 Lanolin 451  
 Lanolinpasta Dohi 451  
 Lapis 404  
 Lapis divinus 432  
 Lapis mitigatus 430  
 Lapis ophthalmicus 432  
 Lassarsche Pasta 419  
 Lebertran 315  
 Leitungsanästhesie 143, 148, 151  
 Liquor Alumini acetici 426  
 Lipoidtheorie 85  
 Lipojodium 236  
 Liquor arsenicalis 304  
 Liquor Ferri albuminati 281  
 Liquor Ferri sesquichlorati 284  
 Liquor Kali acetici 220  
 Liquor Kali caustici 428  
 Liquor Kalii arsenicosi 304  
 Liquor Kiesoli saponatus 376  
 Liquor Plumbi subacetici 422  
 Liquor Plumbi subacetici dilutus 422  
 Lobelin 82  
 Locale Hämostatikum 283  
 Lockesche Lösung 200  
 Lokalanästhesie 147  
 Lokalanästhetika 142  
 Lösende Expectorantia 182, 188  
 Lösliche Eiweisspulver 314  
 Luestin 342  
 Lumbalanästhesie 148  
 Luminal 109  
 Lysol 375, 376  
 Lytta vesicatoria 439

## M

「マグネシウム」154  
 「マンナ」256  
 「マルツエキス」315  
 「まめばいめう」439  
 豆斑猫 439  
 慢性循環機能不全ニ用ヒラルル藥物  
 201  
 麻醉ノ學說 43, 85  
 麻醉時ノ注意 96  
 麻醉ノ禁忌 95  
 麻醉死 94  
 麻醉用「エーテル」97  
 麻醉用「クロロフォルム」97  
 末梢神經ヲ麻痺セシムル藥物 142  
 「メチレンクレオソート」194  
 「メチレン」青 412  
 「メチル・モルフィン」177  
 「メチル」堇 412  
 「メヂナール」107  
 「メントール」  
 一 腸管防腐劑トシテ 241, 242  
 一 制吐劑トシテ 246  
 一 利膽劑トシテ 276  
 一 鎮痒劑トシテ 443  
 「メルプリン」123  
 「メタクレゾール」375  
 「メタン」誘導體 84  
 「メタオキシ」安息香酸 385  
 「メゾタン」333  
 綿馬「エキス」267  
 綿馬根 366  
 滅菌法 412  
 免疫學的製劑 453  
 「ミグレニン」123  
 「ミルトール」192  
 明礬 425  
 「モルヒネ」  
 一 鎮痛劑トシテ 124

一 呼吸鎮靜劑トシテ 175  
 一 鎮咳劑トシテ 177  
 「モルヒネ」中毒 129  
 「モルヒネ」中毒ノ療法 132  
 「モルヒネ・アトロピン」93  
 「モルヒネ・スコボラミン」93  
 木「テール」381  
 「ムスカリン」166  
 無晶形「ストロファンチン」197  
 無水「アルコール」409  
 Magermilch 458  
 Magenmittel 233  
 Magnesia usta 238, 253, 254  
 Magnesia usta ponderosa 254  
 Magnesiumsulfat 155, 253  
 Magnesium karbonicum 253  
 Megnesium oxydatum 254  
 Magnesumsalze 154  
 Magnesium sulfuricum 155, 253  
 Malzextrakt 315  
 Manna 256  
 Medinal 107  
 Melubrinum 123  
 Menthol 242, 246, 276, 443  
 Merkurichlorid 399  
 Mercurochlorid 257  
 Merkurisalicylsäure 342  
 Merkuochlorid 342  
 Mesotanum 333  
 Metaoxybenzoësäure 385  
 Methanderivate 84  
 Methylenblau 412  
 Methylenkreosot 194  
 Methylisopropylphenol 365  
 Methylmorphin 177  
 Methylpropylcarbinolurethan 110  
 Methylsulfonal 109  
 Methylviolett 412  
 Migränin 123  
 Milchsäures Silber 403

Milchsäure 429  
 Milchzucker 256  
 Mineralsäuren 223  
 Mineralwasser 227  
 Miotica 162  
 Mischnarkosen 93  
 Mittel zur Erregung der Funktionen des  
 Zentralnervensystems 73  
 Mixtura solvens 190  
 Monojodbehensaures Calcium 296  
 Morphin 124  
 Morphinismus 129  
 Morphinum hydrochloricum 131  
 Mucilaginosa 268  
 Muskarin 166  
 Mutterkorn 320  
 Mydriatika 167  
 Myrtol 192

## N

「ナフタリン」  
 一 腸管防腐劑トシテ 241  
 一 消毒劑トシテ 371  
 一 構造式 379  
 「ナフトール」379  
 「ナルコチン」179  
 「ナルコフィン」132  
 「ナルコボン」132  
 鉛中毒ノ療法 423  
 鉛化合物 420  
 「ネマトール」366  
 「ネオサルヴァルサン」349  
 粘滑劑 268  
 粘膜ノ消毒 413  
 「ニコチン」173  
 「ニルバニン」443  
 「ニルヴァノール」111  
 「ニトログリセリン」214  
 二「ナトリウム」燐酸鹽 254  
 肉「エキス」314

肉汁 314  
 肉食動物 224  
 尿酸排出増進剤 311  
 尿素 220, 221  
 尿消毒剤 356  
 乳汁 458  
 乳酸 429  
 乳酸銀 403, 405  
 乳酸「カルシウム」287  
 乳酸鐵 280  
 乳腺ヨリノ排泄 71  
 乳糖 256  
 「ノイロナー」111  
 「ノヴァズロール」222, 343  
 「ノヴィフォルム」424  
 「ノヴォカイン」150  
 「ノヴォヨヂン」395  
 腦下垂體「エキス」  
 腦下垂體製剤  
 一 強心剤トシテ 198  
 一 臓器製剤トシテ 305  
 一 子宮緊縮剤トシテ 320  
 Naphthalin 371, 379  
 Naphthol 379  
 Narbenerweichende Mittel 449  
 Narcophinum 132  
 Narkosetod 94  
 Narkotica der Fettreihe 84  
 Narkotin 179  
 Naszierender Sauerstoff 387  
 Natrium bicarbonicum 230  
 Natriumbikarbonat 230  
 Natrium boracicum 411  
 Natrium bromatum 117  
 Natrium cacodylicum 305  
 Natrium citricum 199  
 Natrium hypochlorosum solutum 391  
 Natrium jodatum 296  
 Natriumnitrit 214  
 Natrium nitrosum 214

Natrium phosphoricum 254  
 Natrium salicylicum 333  
 Natriumsalicylat 333  
 Natriumsulfat 253  
 Natrium sulfuricum 253  
 Nauseose Expectorantia 182  
 Nährpräparate 313  
 Nematol 366  
 Neosalvarsan 349  
 Nervengift 80  
 Neuronal 111  
 Neurorezidive 348  
 Nikotin 173  
 Nirvanin 443  
 Nirvanol 111  
 Nitrite 212  
 Nitrogenium oxydulatum 99  
 Nitroglyzerin 214  
 Novasurol 222, 343  
 Noviformium 424  
 Novocainum 150  
 Novokain 150  
 Novoiodin 395

## O

「オイフィリン」219  
 「オイヒニン」180  
 「オイカイン」152, 443  
 「オイコダール」179  
 「オキシフル」388  
 「オキシカムフル」175  
 「オプトヒン」329  
 「オレフ油」267, 451  
 「オレキシ」235  
 「オルトフォルム」152, 246, 443  
 「オルトクレゾール」375  
 「オルトオキシ」安息香酸 385  
 黄降汞 400  
 黄磷 297  
 黄蠟 451

黄色酸化汞 400  
 黄色「ワゼリン」452  
 遠志 183  
 嘔心性祛痰剤 182  
 Oberflächenanästhetikum 143  
 Obstipantia 267  
 Oleum olivarum 267  
 Oleum amygdalarum 451  
 Oleum anisi 236  
 Oleum arachidis 451  
 Oleum cacao 452  
 Oleum camphoratum 75, 195  
 Oleum caryophyllorum 236  
 Oleum castoris 257  
 Oleum chaulmoograe 452  
 Oleum chenopodii 365  
 Oleum chenopodii anthelminthici 366  
 Oleum cinnamomi 236  
 Oleum Eucalypti 192  
 Oleum Hydnocarpus 452  
 Oleum Jecoris aselli 315  
 Oleum Lini 451  
 Oleum olivarum 451  
 Oleum Ricini 258, 257  
 Oleum Santali 362  
 Oleum Sesami 451  
 Oleum Terebinthinae 439  
 Oleum Terebinthinae rectificatum 191  
 Oleum Zinci 419  
 Olivenöl 267, 451  
 Opium pulveratum 132, 275  
 Optochin 329  
 Optochinum basicum 329  
 Opiumpräparate 124, 273  
 Orexin 235  
 Orexinum tannicum 236  
 Organische Säuren 223  
 Organotherapie 4  
 Organpräparate 305  
 Orthoform 246, 443

Orthoxybenzoësäure 385  
 Ovarialpräparate 311  
 Oxydationen 54  
 Oxydationsmittel 385  
 Oxykamfer 175

## P

パーゲンステッヘル氏軟膏 401  
 「バンギタール」197, 207  
 「バンクレアチン」275  
 「バントボン」132  
 「ババヴェリン」214, 247  
 「バラコヂン」179  
 「バラクレゾール」375  
 「バラオキシ」安息香酸 385  
 「バラルデヒード」111  
 「バラオキシフェニルエチラミン」317  
 「ペプシン」275  
 「ペプトン」314  
 「ペロニン」178  
 「ペルーバルサム」384  
 「ベルツシン」181  
 「ピツグランドール」198, 306, 321  
 「ピクロトキシ」83  
 ピック氏硬膏 422  
 「ピオクタニン」412  
 「ピオクタニン」黄 412  
 「ピオクタニン」青 412  
 「ピラミドン」123, 139  
 「ピロガルロール」377, 378  
 「ピロカルピン」163, 317  
 「ピツイトリン」306, 321  
 「ポドフィルム」脂 260  
 「ポルフィリン」尿 108  
 「ポテンチールング」30  
 「プジカイン」151  
 「プーリン」76  
 「プーリン」體 208  
 「プーリン」誘導體 216  
 「プロテイン」銀 404



- 「プロタルゴール」403, 404  
 Pagenstechers Salbe 401  
 P-Amidobenzoyldiäthylamidoäthanol 150  
 Pangital 197  
 Pankreatin 275  
 Pantoponum 132  
 Papaverin 214, 247  
 Papaverinum hydrochloricum 215  
 Paracodin 179  
 Paraffinum liquidum 452  
 Paraffinum solidum 452  
 Parajodanisol 395  
 Paraldehyd 111  
 Paraoxybenzoesäure 385  
 Parasympathische Nerven 156  
 Paratoluolsulfosäurechloramminatrium 391  
 Partieller Block 209  
 Passive Immunität 453  
 Pasta Caustica Viennensis 428  
 Pastilli Hydrargyri bichlorati 400  
 Pepsin 275  
 Peptone 314  
 Per Klyisma 11  
 Peronin 178, 179  
 Pertussin 181  
 Perubalsam 384  
 Pflanzenfresser 224  
 Phenacetinum 123, 139  
 Phenol 190, 372, 374  
 Phenolphthalein 265  
 Phenylchinolincarbonsäure 312  
 Phenylum salicylicum 359  
 Phosphor 297, 299  
 Physiologische Kochsalzlösung 200  
 Physostigmin 161, 163  
 Physostigmin-oder Eserinsalicylat 163  
 Pickisches Pflaster 422  
 Pikrotoxin 83  
 Pilocarpinhydrochlorid 165  
 Pilocarpinum hydrochloricum 165  
 Pilokarpin 163  
 Pilulae Aloes 264  
 Pilulae Aloës et Ferri 264, 280  
 Pilulae Aloës et Jalapae 265  
 Pilulae Asiaticae 304  
 Pilulae Expectorantes 191  
 Pilul. Ferr. Arsenic. 281  
 Pilulae Ferri carbonici Blaudi 280  
 Pilulae Ferri et Chinini 280  
 Pilulae Rhei compositae 262  
 Pituglandol 199, 321  
 Pix liquida 382  
 Plumbum aceticum 422  
 Porphyriurie 108  
 Potenzierung 30  
 P-Oxyphenyläthylamin 317, 319  
 Primäres Psikaintartrat 151  
 Protargol 403, 405  
 Psikain 151  
 Pulv. aerophorus 227  
 Pulverisiertes Eiweiss 314  
 Pulvis Infantum 262  
 Pulvis Doveri 177  
 Pulvis Ipecacuanhae opiatu 177  
 Pulvis Magnesia cum Rheo 262  
 Purin 76  
 Purinderivate 216  
 Purostrophanthin 197  
 Pyramidon 123, 139  
 Pyrazolonum phenyldimethylicum 123, 138  
 Pyoctanium caeruleum 412  
 Pyoctanium aureum 412  
 Pyoktanin 412  
 Pyrogallol 377, 378  
 Pyrogallussäure 377  
 Pyridinbetacarbonsäurediäthylamid 76

## Q

- Quecksilber 334  
 Quecksilberchlorid 399  
 Quecksilberchlorür 257  
 Quecksilbercyanid 342  
 Quecksilbertherapie 65  
 Quecksilberpflaster 341  
 Quecksilbersalicylat 342  
 Quecksilberverbindungen 397
- R**
- 「ラキサトール」265  
 「ラクトールフェネチデン」139  
 「ラクトフェニン」139  
 「ラノリン・パスタ」451  
 ラッサル氏「パスタ」419  
 落花生油 451  
 卵巣製剤 311  
 「レグリン」263  
 「レミジン」329  
 「レゾルチン」  
 — 腸管防腐剤トシテ 241, 242, 243  
 — 消毒剤トシテ 276, 377  
 — 鎮痒剤トシテ 443  
 「リチネ」油 258  
 リンガー氏液 19, 220  
 「リポイド」説 85  
 「リポヨチン」296  
 「リヴァノール」412  
 「リゾール」375, 376  
 燐 297, 299  
 燐中毒 298  
 燐中毒ノ療法 299  
 燐酸 226  
 燐酸「コデイン」178  
 燐酸「ナトリウム」254  
 林檎酸鐵丁幾 280  
 利尿劑 215  
 利膽劑 276  
 流動「チオール」383  
 流動「パラフィン」452  
 流動石炭酸 375  
 流動蘇合香 384  
 硫化「アルカリ」類 445  
 硫化「カリウム」446  
 硫化水素 445  
 硫苔  
 — 運動神經麻酔劑トシテ 155  
 — 瀉下劑トシテ 252, 253  
 硫酸亞鉛 419  
 硫酸「アルミニウム」426  
 硫酸「アトロピン」  
 83, 171, 181, 212, 241, 247  
 硫酸銅 245, 246, 431  
 硫酸「ヒニチン」211  
 硫酸「マグネシウム」155, 252, 253  
 硫酸「ナトリウム」252, 253  
 硫酸「スバルテイン」209  
 龍膽 234  
 「ロベリア」草 82  
 「ロベリン」82, 174  
 ロック氏液 200  
 蘆薈 264, 317  
 蘆薈丸 264  
 蘆薈鐵丸 264, 280  
 蘆薈「ヤラッパ」丸 265  
 蘆薈丸 265  
 礪砂 190  
 蓑苔劑 238, 268  
 蓑苔越幾斯 239  
 「ルエスチン」342  
 ルゴール氏液 394  
 「ルミナール」109  
 Radix Colombo 235  
 Radix Gentianae 234  
 Radix Gentianae scabrae 234  
 Radix Ipecacuanhae 187  
 Radix Polygalae 183  
 Radix Rhei 261  
 Radix Senegae 183  
 Radix Valerianae 117, 118

Rauchende Salpetersäure 429  
 Reduktionen 62  
 Reflektorischer Atmungsstillstand 86  
 Regionäre Anästhesie 147  
 Regulatorische Gegenwirkungen 25  
 Regulatorische Therapie 2  
 Regulin 263  
 Reizende Expectorantia 182  
 Resina Jalapae 259, 260  
 Resina Podophylli 260  
 Resina Scammonii 260  
 Resorptionshindernde Mittel 250  
 Resorcin 242, 243, 246, 276, 377, 443  
 Rhabarber 261  
 Rhizoma Filicis 366  
 Rhizoma Rhei 262  
 Riechmittel 174  
 Ringersche Lösung 19, 200  
 Rivanol 412  
 Rizinusöl 257  
 Roter amorpher Phosphor 297  
 Rubefacientia 434  
 Rückenmarksanästhesie 148

## S

「サッカリン」316  
 「サントニン」363  
 「サルヴァルサン」51, 343  
 「サヨチン」396  
 催淫劑 324  
 催眠劑 99, 324  
 菜食動物 224  
 醋剝水 220  
 醋酸 429  
 醋酸「アルミニウム」425  
 醋酸「アルミニウム」液 426  
 醋酸礬土液 426  
 醋酸鉛 422  
 醋酸「カリウム」液 220

醋酸「ナトリウム・テオプロミン」218  
 醋酸「ナトリウム・テオフィリン」219  
 散瞳劑 167  
 酸化 54  
 酸化「アチン」汞 342, 400  
 酸化亞鉛 418, 419  
 酸化「カルシウム」396  
 酸化劑 385  
 酸素 175, 176  
 酸劑 222  
 晒粉 390  
 「セドプロール」117  
 「セルテル」水 227, 246  
 生理的食鹽水 200  
 生殖器ニ作用スル藥物 316  
 制淫劑 324  
 制汗劑 173  
 制瀉劑 267  
 制吐劑 246  
 生物的「アミン」60  
 清涼劑 227  
 青酸含有劑 183  
 青酸汞 342  
 精製「ゴア」末 378  
 精製硫黃 266, 446, 458  
 精製酒石 254  
 精製「テレピン」油 191  
 石灰乳 397  
 石灰水 396, 397, 443  
 石鹼 267, 446  
 石炭酸  
 — 氣管枝分泌抑制劑トシテ 190  
 — 消毒劑トシテ 372, 374  
 — 鎮痒劑トシテ 443  
 石炭酸亞鉛華糊膏 443  
 石炭酸水 375  
 脊髓麻醉 148  
 石炭酸及「ザリチル」酸類 369  
 赤燐 297  
 鷓骨麻醉 148

脂肪類 315  
 脂肪列ノ麻醉劑 84  
 脂肪性物質 449  
 刺戟性祛痰劑 182  
 止血劑 282  
 子宮緊縮劑 316  
 心房「フリムメルン」209  
 心搏頻數 210  
 心臟搏動障礙ニ作用スル藥物 209  
 新陳代謝ニ作用スル藥物 290  
 浸潤麻醉 148  
 神經毒 80  
 神經再發症 348, 349  
 神效石 432  
 眞性不眠症 100  
 瀉下劑 247  
 菖蒲丁幾 236  
 小腸興奮劑 257  
 小兒散 262  
 消毒法  
 — 手ノ消毒法 412  
 — 手術部ノ消毒法 413  
 — 器械ノ消毒法 413  
 — 縫合材料ノ消毒法 413  
 — 繃帶材料類ノ消毒法 414  
 消毒劑 369  
 消化管ヨリノ排泄 67  
 消化器ニ作用スル藥物 222  
 消化酵素 275  
 消石灰 397  
 漿液腔内注射 23  
 薑根丁幾 236  
 笑氣 99  
 昇汞 397, 399  
 昇汞錠 400  
 猩紅軟膏 448  
 猩紅赤 448  
 症候療法 3  
 植物性神經系 157  
 植物性神經系ニ作用スル藥物 156

食鹽  
 — 吐劑トシテ 246  
 — 止血劑トシテ 287  
 食鹽熱 200  
 食鹽泉 231  
 食鹽溶液 267  
 樟腦 443  
 樟腦精 441  
 硝酸 429  
 硝酸銀  
 — 消毒劑トシテ 403, 404  
 — 腐蝕劑トシテ 429  
 硝酸銀加硝石 430  
 硝酸銀中毒ノ療法 405  
 硝酸加里 220  
 硝酸「ストリキニーネ」81, 199, 212  
 焦性沒食子酸 377, 378  
 臭化物 66  
 臭素惡液質 114  
 臭素「アムモニウム」115, 117  
 臭素鹽類 111  
 臭素「カルシウム」117  
 臭素加里 115, 116  
 臭素加里中毒 114  
 臭素加里中毒ノ療法 117  
 臭素「ナトリウム」115, 117  
 臭素劑 247, 324  
 臭素瘡 114  
 習慣性 26, 28  
 習慣性ノ原因 28  
 縮瞳劑 162  
 收斂性遠達作用 286  
 收斂劑 268, 414  
 萘酸「セリウム」247  
 酒精 409  
 酒石酸 226  
 酒石酸「カリウム」254  
 「ソーダ」水 227  
 蒼鉛化合物 423  
 蒼鉛劑 271, 350

蘇合香「バルサム」384  
 相乗 30  
 粗製「クレゾール」376  
 組織免疫 29  
 「スカムモニウム」脂 260  
 「スコポラミン」  
 — 鎮静劑トシテ 119  
 — 所在 167  
 — 制吐劑トシテ 247  
 「スコポラミン・モルヒネ」迷朦睡眠  
 120  
 「スバルテイン」208  
 「ストリキニーネ」  
 — 中樞神経系興奮劑トシテ 79  
 — 強心劑トシテ 199  
 — 心臓搏動障礙ニ對スル藥劑  
 トシテ 211  
 「ストリキニーネ」中毒 80  
 「ストリキニーネ」中毒ノ療法 81  
 「スツイルライン」208  
 「ストロファンチン」196  
 「ストロファンツス」207  
 「ストロファンツス」丁幾 208  
 「ストヴァイン」152  
 水銀中毒ノ療法 401  
 水銀化合物 397  
 水銀硬膏 341  
 水銀軟膏 341  
 水銀療法 65  
 水銀劑 334  
 水酸化加里 427  
 水揚酸曹達 332  
 Sabromin 117  
 Säuren 222  
 Saccharina 316  
 Saccharum lactis 256  
 Sajodinum 296  
 Sakralanästhesie 148  
 Sal Carolinum factitium 255  
 Salicylsäures Antipyrin 123

Salicylsäure 384, 385  
 Salicylsäuremethyloxymethylester 333  
 Salicylsäurephenyle ter 359  
 Salicylsäurepräparate 124, 141  
 Salicylseifenpflaster 422  
 Salicylverbindungen 359  
 Salinische Laxantien 250  
 Salipyrinum 123  
 Salmiak 190  
 Salol 241, 242, 359  
 Salolstein 359  
 Salpetersaures Kalium 220  
 Salpetersäure 429  
 Salvarsan 51, 349  
 Salze d. schweren Metalle 418, 429  
 Salzsaures Cotarnin 324  
 Salzsaures Di-p-anisylmonoparaphenetyl-  
 guanidin 153  
 Salzwirkung 232  
 Sandelöl 362  
 Santonin 363  
 Sapo Jalapinus 260  
 Saponine 182  
 Sapo Kalinus 448  
 Sapo Medicatus 448, 267  
 Salicylsäurepräparate 329  
 Sauerstoff 176  
 Scharlachrot 448  
 Scharlachsälbe 448  
 Schilddrüsenpräparate 221, 308  
 Schlafmittel 324  
 Schmierkur 339  
 Schwefelalkalien 445  
 Schwefel 265  
 Schwefelbäder 445  
 Schwefelblumen 446  
 Schwefelleber 446  
 Schwefelmilch 446  
 Schwefelsynthesen 59  
 Schwefelwasserstoff 445

Schweinefett 451  
 Scillain 208  
 Scopolaminum hydrobromicum 120  
 Scopoliapräparate 238  
 Secacornin 320  
 Secale cornutum 317, 320  
 Secalevergiftung 318  
 Sedativa 111  
 Sedobrolum 117  
 Seife 267, 446  
 Sekretionsbeschränkendes Mittel 190  
 Semen Sinapis 437  
 Senf 437  
 Senfpapier 437, 438  
 Selterswasser 227  
 Serum antidiphthericum 456  
 Serum antitetanicum 457  
 Serumkrankheit 455  
 Silbernitrat 403, 404, 429  
 Silberverbindungen 401  
 Sirolin 194  
 Sirupus Aurantii Corticis 236, 316  
 Sirupus Ferri Jodati 281  
 Sirupus Rubi 316  
 Sirupus Senegae 183  
 Sirupus simplex 316  
 Skopolamin 119, 167  
 Skopolamin-Morphin-Dämmerschlaf 120  
 Skopolamin-oder Hyoscinhydrobromid  
 120  
 Sodawasser 227  
 Solutio Lugoli 394  
 Solutio Natrii chlorati physiologica 200  
 Solutio Natrii hypochlorosi 391  
 Somnifen 111  
 Spaltungen 60  
 Spartein 208  
 Sparteinsulfat 209  
 Sparteinum sulfuricum 209  
 Spezifisch desinfizierende Mittel 325

Spiritus 409  
 Spiritus camphoratus 441  
 Spiritus Ammoniae foeniculatus 189  
 Starke Säuren 428  
 Sterilisation 412  
 Steinkohlenteerbenzin 371  
 Stibium Kalio-tartaricum 356  
 Stickoxydul 99  
 Stomachica 233  
 Stomatitis mercurialis 337  
 Stopfmittel 267  
 Storax 384  
 Stovain 152  
 Stronthiumsälz der Chlorarsenobeh-  
 enolsäure 305  
 Strophanthin 196  
 Strophanthinum amorphum (Boehringer)  
 197  
 Strophanthus 207  
 Strychnin 79, 199, 211  
 Strychninnitrat 81  
 Strychninum nitricum 81, 199, 212  
 Strychninvergiftung 80  
 Styrax 384  
 Styraxbalsam 384  
 Styrax liquidus 384  
 Subkutane Injektion 17  
 Sublimat 397  
 Substitutionsantagonismus 33  
 Substitutionstherapie 3  
 Sulfonal 108  
 Sulfur depuratum 446, 458  
 Sulfur sublimatum 446  
 Sulfur praecipitatum 446  
 Suprarenin 157, 160  
 Süßschmeckende Mittel 316  
 Sympathische Nerven 156  
 Symptomatische Therapie 3  
 Synergismus 30  
 Synthesen 56

## T

- 「タンナルビン」271  
「タンニゲン」270  
「タンニン」酸 284, 418  
「タンニン」酸「オレキシン」236  
「タマリンド」實 256  
大風子油 452  
體溫調節中樞 136  
體溫調節ニ作用スル藥物 133  
單鉛硬膏 423  
單軟膏 451  
單細胞動物ノ免疫 29  
單舍利別 316  
炭末類 269  
炭酸 226, 442  
炭酸「アルカリ」238  
炭酸「グアヤコール」194  
炭酸「クレオソート」194  
炭酸「マグネシウム」253  
炭酸浴 442  
蛋白ノ粉末 314  
蛋白製劑 314  
蛋白鐵液 281  
「テアチロン」218  
「テオチン」217, 218, 219  
「テオフィリン」217, 218, 219  
「テオブロミン」208, 217  
「テバイン」179  
「テレピン」油 190, 191, 438, 439  
「テール」381, 443  
「テールバスタ」382  
「テトロドトキシシン」156  
點滴注腸 11  
鐵劑 276  
「トリブーム」石炭酸蒼鉛 424  
「トレポール」352  
「トリゲミン」123  
「トリクロール」醋酸 429  
「トリメチルキサンチン」76  
「トリオナール」109  
「トリパフラヴィン」412  
「トロバコカイン」151  
橙皮丁幾 236  
橙皮舍利別 236, 316  
吐根 186, 187  
吐酒石 354, 356  
吐酒石中毒ノ療法 356  
吐劑 243  
特異體質 26  
特殊消毒劑 325  
豚脂 451  
藤黃 261  
塗擦療法 339  
「ツメノール」383, 419, 443  
「ツトカイン」152  
Tachykardie 210  
Talcum 238  
Tannalbin 271  
Tannigen 270  
Tannin 418  
Tanninalbuminat 271  
Tartarus depuratus 255  
Tartarus stibiatus 356  
Tebain 179  
Teer 381  
Teerpasta Dohi 382  
Terpentin 190  
Terpentinöl 438  
Terpinhydrat 191  
Terpinum hydratum 191  
Tetanusserum 456  
Tetraborsures Natrium 411  
Tetrabrenzkatechinwismut 424  
Tetramethyldiamidobenzoylpentanol 152  
Theacylon 218  
Theobromin 208, 217  
Theobrominum natrioaceticum 218  
Theobrominum natrio-salicylicum 218  
Theocin 217, 218, 219

- Theocinum natrio-aceticum 219  
Theorie der Narkose 43, 85  
Theophyllin 217, 218, 219  
Theophyllin-Äthylendiamin 219  
Theophyllinum natrio-aceticum 219  
Thiokol 194  
Thiolum 383  
Thiolum liquidum 383  
Thiolum siccum 383  
Thiosinamin 449  
Thymol 276, 364, 365  
Thymian 181  
Thymus vulgaris 181  
Thyradenum 311  
Thyreoglobulin 308  
Thyreoidin 221  
Thyreoidinpräparate 311  
Thyroxin 309, 311  
Tinct. Stomachic. 235  
Tinct. Strophanti 208  
Tinctura amara 234  
Tinctura aromatica 236  
Tinctura Aurantii Corticis 236  
Tinctura Calami 236  
Tinctura Chinae 235  
Tinctura Callarum 418  
Tinctura Digitalis 207  
Tinctura Ferri pomati 280  
Tinctura Jodi 394, 440  
Tinctura Opii 275  
Tinctura Strychni 235  
Tinctura Valerianae 118  
Tinctura Valerianae aetherea 118  
Tinctura Zingiberis 236  
Tremor Mercurialis 338  
Trepolum 352  
Tribromphenolwismut 395, 424  
Trichloressigsäure 429  
Trichlorisopropylalkohol 111  
Trichlormethan 96  
Trichlorurethan 110  
Trigemin 123  
Trihydro-trijod-oxy-indol-propionsäure 311  
Trional 109  
Trimethylbenzoyloxypiperidin 152  
Trimethylxanthin 76  
Trioxymethylantrachinon 261  
Tropakokain 151  
Tropfenklystier 11  
Trypaflavin 412  
Tumenol 383, 419, 443  
Tutocain 152  
Tyramin 317

## U

- ウキーンナ 腐蝕「バスタ」427  
ウイルソン氏「バスタ」419  
「ウラミノ」酸合成 59  
「ウレタン」110  
「ウロトロピン」357, 358  
「ウルソン」356  
「ウヴァウルシ」葉 356, 357, 377  
茴香水 236  
運動神經ヲ麻痺セシムル藥物 154  
Ung. Cinereum 341  
Unguentum acidi borici 411  
Unguentum Hydrargyri album 401  
Unguentum Hydrargyri cinereum 341  
Unguentum Kalii Jodati 296  
Unguentum simplex 451  
Unspezifische Therapie 458  
Umstimmende Mittel 290  
Uraminosäuresynthesen 59  
Urea 221  
Urethan 110  
Urotropin 357, 358  
Urson 356  
Uterustonica 316  
Übermangansaures Kalium 385, 387

Überempfindlichkeit 26

## V

「ヴァリドール」118  
 「ヴァリール」118  
 「ヴェラモン」123  
 「ヴェラトリン」154  
 「ヴェロナール」105, 107  
 「ヴェロナール・ナトリウム」107  
 「ヴォルンタール」110  
 Vakzine 457  
 Valeriansäurebornylester 118  
 Validolum 118  
 Valylum 118  
 Tselinum album 452  
 Vaselineum flavum 452  
 Vaselineum oxydatum 452  
 Vasodilatoria 212  
 Vasogenum 452  
 Vegetatives Nervensystem 156, 157  
 Veramon 123  
 Veratrin 154  
 Veronal 105, 107  
 Veronalnatrium 107  
 Verteilung 42  
 Vesicantia 434  
 Vinum 79  
 Vinum Condurango 235  
 Vollständiger Herzblock 209  
 Voluntal 110  
 Vorhof-Flimmern 209

## W

「ワゾゲン」452  
 「ワクチン」類 457  
 Wasserhaltiges Wollfett 451  
 Wasserstoffsuperoxyd 337  
 Weißer Quecksilberpräzipitat 401  
 Wein 79  
 Weinsaures Antimonykalium 356

Weinsäure 226  
 Weisses Wachs 451  
 Wiener Ätzpasta 428  
 Wilson'sche Pasta 419  
 Wismutoxyjodidgallat 424  
 Wismutpräparate 271, 350, 423  
 Wurmmittel 362

## X

Xanthin 76  
 Xeroform 395, 424

## Y

「ヤラッパ」石鹼 260  
 「ヤラッパ」脂 259, 260  
 「ヤトレン」395  
 「ヤトレン・カゼイン」458  
 薬物投與ノ場所 4  
 薬物ノ体内吸収 4  
 薬物ノ分布 42  
 薬物ノ固着 42  
 薬物ノ化學的變化 53  
 薬物ノ体外排出 63  
 薬物ノ分布ト作用トノ關係 46  
 薬物ノ用量 24  
 薬用量 25  
 薬用石鹼 267, 443  
 「ヨチオン」297  
 「ヨードスタリン」296  
 「ヨヒンピン」325  
 「ヨヂピン」296  
 「ヨヂヴァール」296  
 「ユーカリプス」油 192  
 沃度 391, 394  
 沃度「アムモニア」295  
 沃度丁幾 394, 440  
 沃度「チリン」308, 311  
 沃度中毒ノ療法 394  
 沃度鹽類 188  
 沃度「フォルム」394

沃度「フォルム」中毒ノ療法 395  
 沃度「フォルム・コロヂウム」395  
 沃度「グリセリン」394  
 沃度加里  
 — 体外排出 64  
 — 溶解性祛痰劑トシテ 188  
 — 變質劑トシテ 295, 296

沃度加里軟膏 296  
 沃度劑 290  
 沃度「ナトリウム」295, 296  
 沃度鐵舍利別 281  
 溶解性祛痰劑 182, 188  
 用量ト作用トノ關係 24  
 腰椎麻酔 143  
 有機酸 223  
 Yatren 395  
 Yatrenkasein 458  
 Yohimbin 325  
 Yohimbinum hydrochloricum 325

## Z

「ザプロミン」117  
 「ザボニン」類 182  
 「ザリピリン」123  
 「ザリチル」化合物 359  
 「ザリチル」酸  
 — 消毒劑トシテ 384, 385  
 — 角質溶解劑トシテ 444, 445  
 「ザリチル」酸「アンチピリン」123  
 「ザリチル」酸「フィゾスチグミン」163  
 「ザリチル」酸「フェニールエステル」359  
 「ザリチル」酸系 342  
 「ザリチル」酸「メチールエステル」333  
 「ザリチル」酸「ナトリウム」  
 — 利膽劑トシテ 276  
 — 特殊消毒劑トシテ 332

「ザリチル」酸「ナトリウム・コフェイン」77, 196  
 「ザリチル」酸「ナトリウム・テオブロミン」218  
 「ザリチル」酸石鹼硬膏 422  
 「ザリチル」酸水銀 342  
 「ザリチル」酸劑  
 — 鎮痛劑トシテ 124  
 — 解熱劑トシテ 141  
 — 特殊消毒劑トシテ 329  
 「ザロール」  
 — 腸管防腐劑トシテ 241, 242  
 — 尿消毒劑トシテ 359  
 「ザロール」結石 359  
 撒曹 332  
 柘榴根皮 369  
 「ゾムニフェン」111  
 臓器療法 4  
 臓器製劑 305  
 「ズルフォイヒチオール」酸  
 「アムモニウム」383  
 「ズルフォナール」108  
 Zeitpotenzierung 31  
 Zincum Amylum 419  
 Zincum chloratum 430  
 Zincum oxydatum 419  
 Zincum sulfuricum 419  
 Zimtsäure 186  
 Zinkchlorid 430  
 Zinkoxyd 418, 419  
 Zinkpasta 419  
 Zinksulfat 419  
 Zinkverbindungen 418  
 Zinkvitriol 419  
 Zitronensaures Natrium 199  
 Zitronensaures Silber 403  
 Zitronensäure 226  
 Zusammenziehende Mittel 414

50-302



1200501263749

終